

目次

○御殿場市の概要

1	御殿場市の沿革	1
2	御殿場市域と人口・世帯数	6

○教育委員会

1	委員	7
2	歴代教育委員	8
3	歴代教育委員長	9
4	歴代教育長	9
5	平成 29 年度教育委員会会議	10
6	教育委員会機構及び事務分掌	12

○教育行財政

1	平成 30 年度御殿場市教育施策	14
2	平成 30 年度御殿場市一般会計予算	21
3	平成 30 年度教育費予算	22
4	教育費の推移	23
5	児童・生徒一人当たりの教育費	23

○学校教育

1	学校教育	24
①	平成 30 年度御殿場市教育委員会学校教育課教育構想	24
②	御殿場市教育委員会学校教育課ランドデザイン	26
③	平成 30 年度 事業一覧表	27
④	学校・園一覧（平成 30 年 5 月 1 日現在）	29
	【幼稚園】	29
	【小学校】	37
	【中学校】	47
⑤	児童・生徒・園児数の推移	53

⑥	中学校卒業者の進路状況	55
⑦	日本スポーツ振興センター	56
⑧	育英奨学金	57
⑨	平成 29 年度就学奨励援助	57
⑩	小・中学校の入学状況	58
⑪	施設の整備状況	59
2	所管外学校等	61

○学校給食

1	学校給食	62
①	主要事業	62
②	学校給食配食校変遷一覧表	63
③	施設の概要	64
④	学校給食の実施状況	67
⑤	児童・生徒一人当たり栄養摂取状況	68

○社会教育

1	社会教育	69
①	主要事業	69
②	平成 30 年度事業一覧表	71
2	図書館	80
①	主要事業	80
②	平成 30 年度事業一覧表	81
③	施設の概要	83
④	所蔵資料	84
⑤	平成 29 年度の利用状況	85

○資料

1	事業年譜	88
2	各種委員名簿	103
3	教育施設位置図	115
4	防災計画	116

御殿場市の概要

1 御殿場市の沿革

・はじめに

御殿場市は静岡県の北東部にあって、我が国の最高峰である富士山の東麓に位置し、美しい自然に恵まれた緑豊かな高原の都市である。かつては東海道本線として日本の近代化を担った JR 御殿場線、東京と沼津を結ぶ国道 246 号が市内を縦断し、小田原と富士吉田を結ぶ国道 138 号が市内を横断している。これら陸上交通は御殿場インターチェンジを介して市内を縦断する日本経済の大動脈「東名高速道路」と結ばれていることから、御殿場市は太平洋ベルトの東西の交通路と甲信地方との南北の交通路が合流する陸上交通の要衝となっている。

東名高速道路により東京と約 1 時間で結ばれ、都心との間に高速バスや JR・小田急線の特急が運行されていることから、市民には進学や就職、買い物など多くの点に首都圏への強い志向が見られる。

更に、平成 24 年に新東名高速道路が御殿場 JCT から三ヶ日 JCT まで開通したことにより、首都圏のみならず中京圏からの観光客が富士山や箱根といった周辺地域へ足をのぼす際の中継地、あるいは周辺地域を訪問した後の目的地として御殿場市を経由するため、国内外の観光交流客の増加へ繋がっている。

・御殿場の自然

御殿場市は海から内陸へ約 30km の距離に位置し富士山、箱根外輪山、さらには愛鷹山、丹沢山地と三方を山に囲まれた市中心部で標高約 450m を測る高冷地であり、県内では珍しい高原都市である。

富士山・愛鷹山と箱根外輪山の間は南の駿河湾の方向へ向けて開けた地形のため湿気を含んだ南風が入りやすく、また、富士山は標高 3,776m の独立峰が駿河湾から直接そびえ立つような地形であることから周辺は気流の変化が激しい。このような理由から富士山東麓は雲や霧が発生しやすく、年間降水量は 2,500 ミリ前後、多い年には 3,000 ミリを超える多雨で多湿な地域となっている。冬季は高冷地のため最低気温が氷点下となることが多く、太平洋側の典型的な気候のため乾燥し降水量は少ないが、冬の気圧配置が崩れると積雪が見られる。

市内の河川は、富士山と箱根外輪山からの湧水を水源とし、鮎沢川に代表される相模湾へ注ぐ酒匂川

水系と黄瀬川に代表される駿河湾へ注ぐ狩野川水系に分かれる。両水系の分水界は概ね富士山頂と箱根外輪山の丸岳を結ぶ線である。

富士山周辺は地質学的には南部フォッサマグナ地域に当たり、ユーラシアプレート・北米・フィリピン海プレートの会合部に位置する。数十万年前には箱根火山・愛鷹火山・先小御岳（せんこみたけ）火山が活動を開始し、箱根火山はカルデラと外輪山を形成しながら現在も活動を続け、愛鷹火山は約 10 万年前までに活動を終えている。先小御岳火山とは現在、富士山がある場所に最初に出現した火山であり年代は判然としないがこの火山に重なるように小御岳火山が出現し、さらに古富士火山、新富士火山と順に重なるように火山が出現し現在に至っている。

この地域の現在の地形を形成する直接的な要因は、約 1 万 7 千年前から始まる新富士火山の活動である。国指定天然記念物駒門風穴や黄瀬川の河床に見られ

る溶岩は新富士溶岩流と呼ばれる約 1 万年前に噴出した溶岩流である。また、富士山の山体崩壊により約 2,900 年前に発生した御殿場岩屑なだれは市内の広い範囲に堆積し、末端は足柄平野や駿河湾沿岸

部まで達した。御殿場岩屑なだれは、流れ下りながら市内各所に流れ山と呼ばれる塚を形成する一方、堆積層が水の浸透を妨げることから御殿場インター周辺には広大な沼地が形成された。

・原始から古代へ（御殿場のあけぼの）

御殿場市内において、現段階では旧石器時代の遺跡は発見されていない。現段階で最も古い遺跡は箱根外輪山の中腹で発見された縄文時代早期（6～7 千年前）の山の神遺跡である。縄文時代は気候が比較的温暖で富士山の火山活動も比較的穏やかであったらしく、広く関東一円に富士山から噴出した火山灰が風化した富士黒土層が形成された。その後、縄文時代晩期頃には富士山は火山活動が活発化し盛んにスコリアを噴出したり山体崩壊や岩屑なだれも発生したりしたため、この地域は一時的に人々が定住するのは困難な環境となったと思われる。

弥生時代に入ると再び人間の痕跡が見られるようになるが、遺跡の発見例が少なく他地方のように水田稲作が営まれていたことを示す遺跡は今のところ発見されていない。古墳時代になると先に述べた沼地の周辺に集落が形成されるようになり、この頃の代表的な遺跡として集落遺跡の中田遺跡、古墳とし

て大沢原古墳群がある。

8 世紀以降、律令制度による中央集権体制が確立すると都と地方を結ぶ官道が整備されていった。この地域は、都と相模国以東の諸国及び甲斐国を結ぶ古代東海道の要衝であったため、駿河国で最も大きな駅、横走（よこばしり）駅がおかれた。この頃の代表的な遺跡として永原追分遺跡がある。

平安時代は、有史時代に入って富士山の火山活動が活発であった時期であり、小規模な噴火の記録もあるが大きなものでは延暦 19(800)年、貞観 6(864)年、永保 3 (1083) 年の 3 回の噴火記録が残っている。

11 世紀頃から、この地域は大沼藍沢御厨という伊勢神宮の荘園となる。御厨（みくりや）という非行政広域地域名の起源はここにある。この御厨を掌握していたのは、後に東国の動乱に介入して西相模へ進出し勢力拡大を図った大森氏である。

・鎌倉時代から戦国時代へ（中世の御殿場）

鎌倉幕府成立後、建久 4 (1193) 年には、富士山麓を舞台に將軍源頼朝による富士の巻狩が行なわれ、市内にはこの巻狩に因んだ多くの伝説や地名が残っている。

承久 3 (1221) 年の承久の乱では、幕府軍が勝利し討幕計画に参画した貴族は捕えられ鎌倉へ護送されることとなったが、この地域にさしかかると藤原光親が籠坂峠で、藤原宗行が藍沢原で処刑されてしまったという悲話が伝えられている。

時は過ぎ鎌倉幕府が倒れ、後醍醐天皇が「建武の新政」を始めるが 2 年余りで瓦解する。中先代の乱鎮圧のため鎌倉に入り乱を平定した足利尊氏が東国

を拠点に新政府へ反旗をひるがえすと、後醍醐天皇は新田義貞を総大将とした官軍を東進させた。両軍はこの地域で衝突し、竹之下（小山町）で官軍を撃ち破った足利尊氏は官軍を追ってこの地域を南下し、最終的には三島の新田義貞の本営を攻め、官軍を総崩れに追い込んだ。永原には、竹之下の戦いに敗れて退却する官軍と後を追う足利尊氏の軍勢が戦ったという永原古戦場の言い伝えがある。

室町幕府が成立すると、駿河国は守護大名の今川氏の領国となり、この地域は今川氏の被官である大森氏が支配していた。大森氏に関しては、大森頼春（道光）が応永 29 (1422) 年に寄進した石灯籠（市

指定文化財)が二岡神社境内に残っている。

大森氏は頼春の時代に東国支配の拠点「鎌倉府」の内紛である上杉禪秀の乱に介入して西相模へ進出し、小田原を本拠地に東へ勢力拡大を図ったため、この地域は大森氏に代わり同族の葛山(かずらやま)氏の支配地となった。

戦国大名として有名な北条早雲は、今川家継嗣問題の内紛に介入して勢力を拡大し後北条氏の基礎を築いた人物である。この内紛は、文明7(1475)年に遠江国の横地氏・勝間田氏を攻めた今川義忠が帰路、残党に討たれてしまったことに起因する。印野の勝間田氏は、勝間田城を有した遠江国の国人領主「勝間田氏」の子孫と言われ、今川義忠に敗れて富士山麓へ落ち延びたと伝えられている。北条早雲は15世紀末に伊豆一国を平定し、さらに小田原城

を攻略して大森氏を滅亡させ、以後、後北条氏は小田原城を拠点に関東一円に勢力を伸ばしていった。

この地域は駿河・甲斐・相模の境界地帯であると共に交通の要衝であったことから、しばしば戦国大名が衝突し幾多の戦いに巻き込まれた。旧東海道(足柄街道)に面して立地する深沢城跡は今川氏の築城といわれているが、後に後北条氏の支城となり永禄12(1569)年から天正8(1580)年にかけて武田氏と後北条氏が争奪戦を繰り広げた城である。籠城する後北条方に対して包囲する武田方が開城を迫った矢文が有名であり、丸馬出(まるうまだし)と三日月堀を備えるなど武田氏が領有した時期の武田流築城術が色濃く残る城跡であることから県指定史跡となっている。

・江戸時代(近世の御殿場)

関ヶ原の合戦に勝利した徳川家康は征夷大將軍となり江戸幕府を開いた。沼津代官は元和2(1616)年にこの地域の土豪「芹澤将監」に対し家康が使う御殿の造営及びその周辺に新町を建設することを命じたといわれている。家康が実際に御殿を使用することはなかったが、御殿を中心に御殿新町が生まれた。今日の「御殿場」という地名はこの「御殿」に由来している。

寛永10(1633)年にこの地域は稲葉氏が支配する小田原藩領に組み込まれ、以後、宝永噴火により幕領化された時期を除いて慶応4(1868)年の静岡藩引き渡しまで小田原藩領となる。江戸時代に入って100年も経つと、江戸の商人が技術力と経済力を身につけ、この地域でも町人請負新田が開かれたが、標高が高く痩せた土壌で水が乏しい或いは恵まれていても湧水や溪流の水をそのまま使う冷水掛りであったことから水稻の生産効率は高くはなかった。そのため、当時の人々は水稻耕作や畑作以外に山野へ入り稜(まぐさ)を採取して馬を養い駄賃を稼いだり、薪炭を生産して小田原城下へ運んで現金化したるなどの農間余業で、農業生産力の低さを補填していた。

そのような脆弱な村々を襲ったのが宝永4(1707)

年の富士山宝永噴火である。膨大な火山噴出物はこの地域の田畑を埋め山野を覆い尽くした。領主の大久保氏は被災した領地の自力復興を断念して上知し、被災地は幕領として関東郡代伊奈半左衛門忠順(ただのぶ)が復興に着手した。伊奈半左衛門の主たる任務は、小田原藩が長年をかけて開発した穀倉地帯にして東海道の通過点でもある足柄平野を復興させるための酒匂川普請であった。そのため、この地域の砂除川浚(すなよけかわざらい)が公儀御普請で行なわれることはなく、自力復興に委ねられていた。その後、火山噴出物の堆積が浅い村から順次私領へ戻され延享4(1747)年までに御殿場市内の村々は小田原藩領へ戻った。

被災から80年も経つと御厨地方も足柄平野も一定の復興を見せるが、被災以前の状態に戻ることはなかった。時代は天明を迎え地震、飢饉など全国的に自然災害が頻発し社会不安が広がっていた。この地域の村々は宝永噴火の後遺症を引きずり困窮を極めていた。天明3(1783)年は、前年からの天候不順続きでこの地域は大飢饉に襲われ、11月に約30カ村の農民は年貢減免を願い大挙して小田原へ繰り出した。これが御厨一揆であるが、指導者の死罪など厳しい処置がとられたにも関わらず年貢は思った

ほど軽減されず農民は失望した。

この時代に生まれ、混乱が続く天保年間に小田原藩領や広く関東周辺に報徳仕法を広め農村復興に努め成果を挙げているのが「二宮金次郎」の名で有名な二宮尊徳である。この地域でも村々は村の立て直しや困窮した家の再興のため報徳仕法に取り組んだ。しかし、報徳仕法の成功による農民の自覚と経済力の高まりが藩政批判に結びつくことを恐れた小田原

藩の方針により、弘化3（1846）年に報徳仕法は中止となった。

幕末になると、江戸－京都間の人馬の往来が頻繁となり、年貢に加え助郷役（すけごうやく）の負担もますます増大した。慶応4（1868）年に討幕軍が江戸城に入り明治新政府が樹立されると、当地は小田原藩の支配下を離れ徳川家達が藩主である静岡藩に編入された。

・明治から昭和へ（近代の御殿場）

明治4（1871）年廃藩置県が実施されると、静岡藩は静岡県となった。明治12（1879）年には沼津に郡役所が置かれ郡制が敷かれ、新しい時代の波は御殿場村にもガス燈を灯らせることになった。また、伴野佐吉らの努力より明治16（1883）年に富士山東表口登山道が開かれ、その後の別荘地化と相まってこの地域は観光地として大いに宣伝されるようになった。

明治22（1889）年は画期的な年であった。2月1日に東海道本線が開通し、御殿場停車場（御殿場駅）が設置された。4月には御厨町、富士岡村、原里村、印野村、玉穂村、高根村が発足した。一方、農作業の改良が図られ、養蚕や竹行李にも積極的に取り組み、小規模ながら萩原・保土沢・神場などに製糸場が作られた。明治31（1898）年には新橋－須走間に御殿場馬車鉄道が走り、大量の物資が運ばれ特に夏期には登山客でにぎわった。この頃になると、かつて藩の方針により姿を消した報徳仕法が各村で「報徳社設立」という形で再興された。

大野原は、この地域の人々にとって豊富な植物資

源を得るための入会地である一方、緩傾斜地が広がり小高い丘が点在する地形から近代に入ると陸軍の砲兵隊が実弾射撃の適地として実戦訓練の演習に使用するようになった。本格的な使用は日清戦争後の明治29（1896）年の東京湾要塞砲兵隊の実弾演習に始まり、明治42（1909）年には大野原を陸軍の演習場として使用することについて協定が結ばれ、同時に滝ヶ原・板妻に廠舎が作られた。軍拡を進める当時の事情から、早くも翌年には演習場拡張のため印野村内の3部落接収の計画が持ち上がった。地元と陸軍省の交渉は約7ヶ月にも及び、最終的に印野村内の北畑部落を原里村川島田へ部落のまとまりをもって移転することで妥結したのは明治45（1912）年であった。これ以後、この地域は演習場を中心に日本陸軍との関係を深めることとなった。

大正2（1913）年原里村印野村組合が解散し、翌3（1914）年には御厨町が御殿場町と改称する。その後、大正12（1923）年の関東大震災、昭和5（1930）年からの大恐慌、第二次世界大戦とこの地域の人々は苦難の時代を経験することとなった。

・戦後（御殿場市の誕生）

昭和20（1945）年8月に第二次世界大戦が終戦を迎えると、GHQの占領下で武装解除と軍事施設の接収が行なわれ、新憲法制定をはじめ様々な民主化政策が実施された。教育では昭和22（1947）年の六三制教育発足により新制中学校が誕生し、昭和

27（1952）年にはこの地域の町村にも教育委員会が設置されたが、その一方で、米軍が旧陸軍施設を接収し駐留して以降の風紀・治安の問題が深刻な社会問題となり教育にも暗い影を落としていた。

昭和28（1953）年9月「町村合併促進法」が制

定され、御殿場町・富士岡村・原里村・玉穂村および印野村が合併し、昭和 30 年 2 月 11 日、人口約 36,000 人の御殿場市が誕生した。翌 31(1956)年 1 月 1 日に、高根村が村をあげての希望により編入され、さらに 32(1957)年 9 月 1 日、小山町の古沢地区が編入され現在に至っている。

GHQ に接収されていた旧陸軍の演習場は、昭和 32(1957)年に米軍が一部を残して引き揚げたことから昭和 34(1959)年に地元関係者との間で「東富士演習場使用協定」が結ばれ、翌年旧陸軍の三廠舎には陸上自衛隊が常駐するとともに、演習場は自衛隊と米軍によって使用されることになった。同時に、周辺住民の生活安定と福祉向上のために、国から生活環境改善のため助成が行われるようになった。

市制発足後、当地の発展は著しく、昭和 40 年代の高度経済成長と特に昭和 44(1969)年の東名高速道路の開通により市の様相が一変した。わずかな地場産業と農業・観光が主であった当地に年々各種中小企業が進出し、更に昭和 59(1984)年には駒門工業専用地域に 10 社余の大企業が誘致され、また平成 14(2002)年には神場南工業団地も完成し、数十の企業が誘致され首都圏を取りまく工業地域としての発展が著しい。

また、恵まれた自然環境のもとに都市開発が進められ土地区画整理事業も昭和 59(1984)年に二の岡地区、続いて平成 6(1994)年に東田中・鮎沢地区が完成し、また昭和 62(1987)年から駅前再開発事業も進められ新たな駅舎が誕生した。平成 13 年度からは、御殿場駅富士山交流センターの整備に着手した。公園整備も盛んに進められ、平成 15(2003)年 4 月には秩父宮記念公園、永原公園、神場南公園を開園した。こうした開発に伴い人口も次第に増加し、平成 21(2009)年 4 月には 90,000 人余を擁するに至った。

平成 23 年 4 月に御殿場市富士山交流センター、通称名「富士山樹空の森」を開園した。この施設は、富士山情報の発信や地域交流スペース等地域活性の場を設ける形の新たな観光公園施設で、小・中学生の富士山学習の場としても利用している。

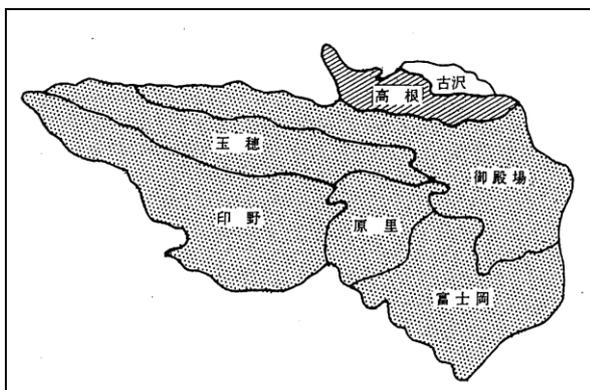
御殿場市は富士山の麓にあって、美しい景観をはじめ、富士山から多くの恵みを受け、御殿場市民の

生活・文化と密接に関わっている。富士山御殿場口は他の登山道に比べ、自動車で登ることのできる五合目の位置が低いため、砂走りを楽しむ下山道として多くの登山者に利用されている。市民に愛される富士山は平成 25 年 6 月 22 日、第 37 回ユネスコ世界遺産委員会において世界文化遺産への登録が決定した。平成 27 年には市制 60 周年を迎え、各記念事業が行われた。その中で、御殿場市から見る富士山の魅力を内外に発信するために富士山眺望遺産 5 か所を認定した。

そして、記念すべき 2020 年東京オリンピック・パラリンピックにおいて、自転車競技の一つであるロードレースのコースとして、御殿場市内を通ることが決定した。これにより、御殿場市の魅力を世界に発信する機会を得た。

このように、富士山と共生しながら「真の子育て支援日本一のまち」を目指し、日々進んでいる。

2 御殿場市域と人口・世帯数



昭和 30 年 2 月 11 日

御殿場町・富士岡村・玉穂村・印野村を廃し
市制を施行

昭和 31 年 1 月 1 日

駿東郡高根村を編入

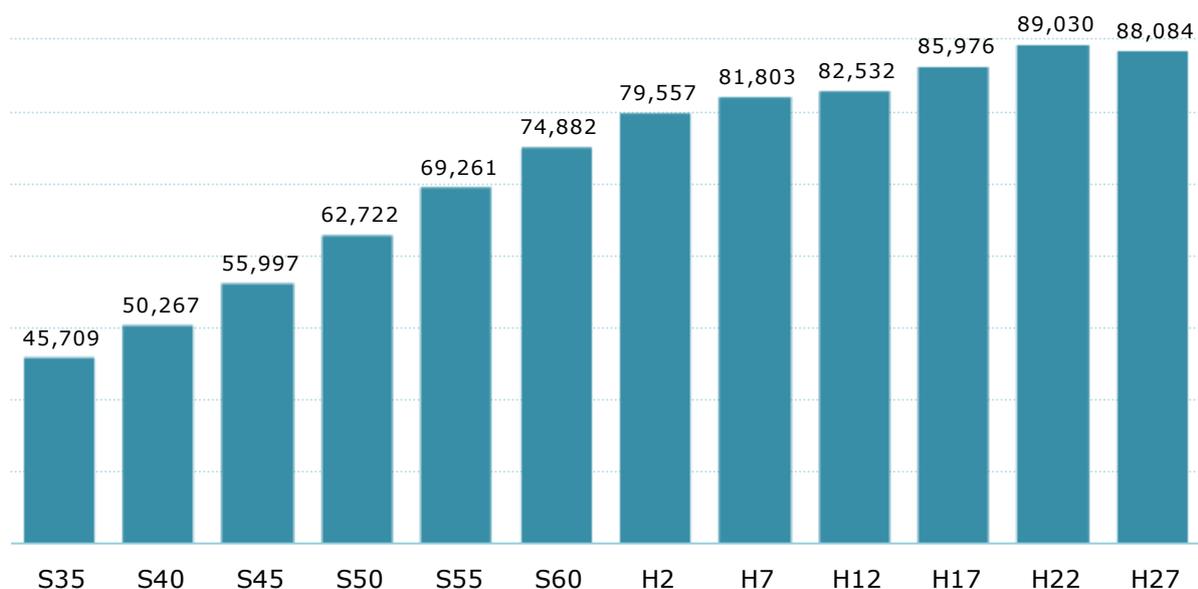
昭和 32 年 9 月 1 日

駿東郡小山町大字古沢を編入

平成 30 年 3 月 31 日現在（外国人登録者を含む）

人口	世帯数	面積	広ぼう	位置（市庁舎）
88,494 人	36,450 世帯	194.90 km ²	東西 24 km 南北 16 km	東経 138°56'06" 北緯 35°18'31" 海拔 459.8m

国勢調査人口の推移



教育委員会

1 委員

(組織)

教育委員会は、教育長及び5人の委員をもって組織する。

(任命)

教育長は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て、任命する。

委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命する。



2 歴代教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日
勝又 倭一	S30.2.11	～ S31.9.30
	S40.3.27	～ S45.9.30
芹沢 正	S30.2.11	～ S31.2
菅沼 義之	S30.2.11	～ S31.2
石田 善一	S30.2.11	～ S31.2
萩倉 千佐恵	S30.2.11	～ S31.2
池田 晋	S30.2.11	～ S31.2
杉山 鷺雄	S31.1.1	～ S31.9.30
小野 三郎	S31.2	～ S31.9.30
小宮山 嘉六	S31.2	～ S31.9.30
江藤 誠之	S31.2	～ S31.9.30
横山 茂理江	S31.10.1	～ S42.3.28
杉山 俊郎	S31.10.1	～ S40.3.22
芹澤 敏	S31.10.1	～ S33.8.13
根上 津奈子	S31.10.1	～ S40.9.30
勝間田 実	S33.10.1	～ S34.9.9
勝間田 武衛	S34.10.1	～ S40.3.22
鈴木 孫肇	S40.3.27	～ S46.9.30
鈴木 俊助	S40.10.1	～ S52.9.30
杉山 嘉寿夫	S42.3.18	～ S51.9.30
岡田 弘	S45.10.1	～ S53.9.30
萩倉 鉄雄	S46.10.1	～ S50.6.7
杉山 藤雄	S50.7.6	～ S58.9.30
林 皓一郎	S51.10.1	～ S59.9.30
勝俣 美雄	S53.10.1	～ S57.9.30
永井 三郎	S52.10.1	～ S57.11.11

※池田晋委員と江藤誠之委員は議会選出

氏名	就任年月日	退任年月日
幾田 裕男	S57.10.1	～ H2.9.30
根上 眞一	S57.12.23	～ H5.9.30
磯邊 岩夫	S58.10.1	～ H3.9.30
岩田 吉彦	S59.10.1	～ H4.9.30
芹澤 英夫	H2.10.1	～ H10.9.30
勝又 邦俊	H3.10.1	～ H11.9.30
旭 英順	H4.10.1	～ H12.9.30
横山 桂子	H5.10.1	～ H13.9.30
森岡 和鶴子	H10.10.1	～ H18.9.30
中村 貞治	H11.10.1	～ H15.9.30
杉山 正一郎	H12.10.1	～ H17.5.18
石田 和久	H13.10.1	～ H17.9.30
勝又 正敏	H17.6.15	～ H20.9.30
鈴木 芳隆	H18.10.1	～ H22.9.30
勝間田 喜明	H15.10.1	～ H23.9.30
嶋田 征子	H17.10.1	～ H25.9.30
大胡田 幸子	H20.10.1	～ H24.9.30
稲葉 宏道	H22.10.1	～ H26.3.31
小見山 司朗	H23.10.1	～ H27.9.30
岩瀬 こずえ	H24.10.1	～ H28.9.30
福島 東	H25.10.1	～ H29.9.30
勝又 英和	H26.7.1	～ 現在
勝又 綾子	H27.10.1	～ 現在
芹澤 えつ子	H28.10.1	～ 現在
佐藤 朋裕	H28.10.1	～ 現在
大西 孝明	H29.10.1	～ 現在

3 歴代教育委員長

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
勝又 倭一	S30.2.11	～ S31.9.30	芹澤 英夫	H5.10.1	～ H9.9.30
	S40.3.27	～ S45.9.30		旭 英順	H9.10.1
江藤 誠之	S31.2	～ S31.9.30		H11.10.1	～ H12.9.30
横山 茂理江	S31.10.1	～ S39.9.30	勝又 邦俊	H10.10.1	～ H11.9.30
	S40.4.1	～ S42.2.28	横山 桂子	H12.10.2	～ H13.9.30
杉山 俊郎	S39.10.1	～ S40.3.22	中村 貞治	H14.10.1	～ H15.9.30
岡田 弘	S45.10.5	～ S53.9.30		H13.10.1	～ H14.9.30
勝俣 美雄	S53.10.1	～ S57.9.30	森岡 和鶴子	H15.10.1	～ H18.9.30
杉山 藤雄	S57.10.1	～ S58.9.30	勝間田 善明	H18.10.1	～ H23.9.30
林 皓一郎	S58.10.1	～ S59.9.30	嶋田 征子	H23.10.1	～ H25.9.30
磯邊 岩夫	S59.10.1	～ S63.9.30	稲葉 宏道	H25.10.1	～ H26.3.31
幾田 裕男	S63.10.1	～ H2.9.30	小見山 司朗	H26.7.1	～ H27.9.30
根上 眞一	H2.10.1	～ H5.9.30	勝又 英和	H27.10.1	～ H28.3.31

※平成27年4月1日から施行された改正地方教育行政法による新たな教育委員会制度への移行に伴い、平成28年3月31日をもって教育委員長職は廃止された。

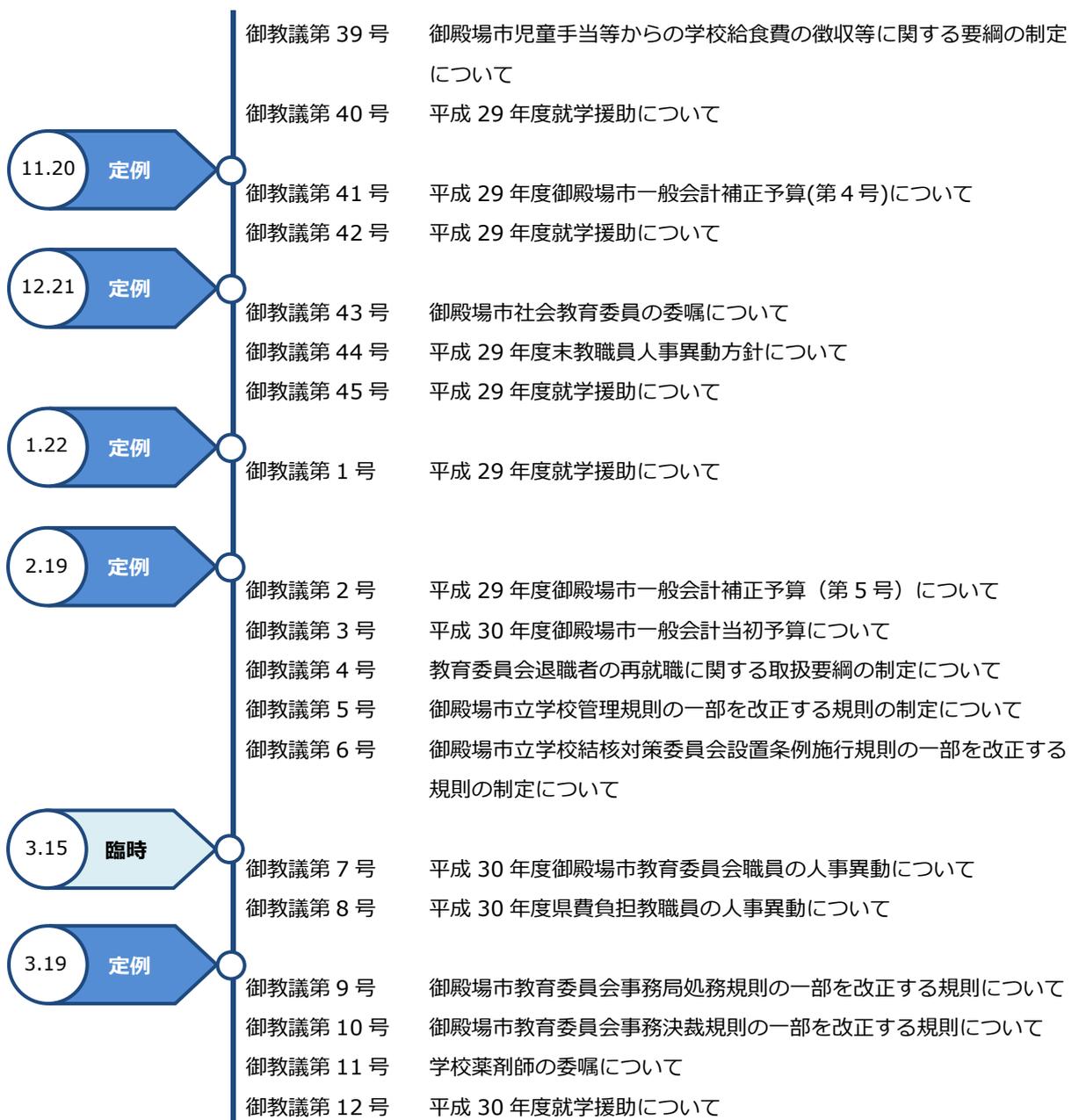
4 歴代教育長

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
勝又 秀丸	S30.4.13	～ S39.9.30	吉川 桂二	H8.10.1	～ H12.9.30
土屋 一夫	S39.10.1	～ S47.9.30	細谷 旭	H12.10.2	～ H16.9.30
土屋 隆	S47.10.1	～ S55.9.30	三井 米木	H16.10.1	～ H24.9.30
芹澤 栄一	S55.10.1	～ S63.9.30	勝又 将雄	H24.10.1	～ H28.3.31
鈴木 賢治	S63.10.1	～ H8.9.30	※勝又 将雄	H28.4.1	～ 現在

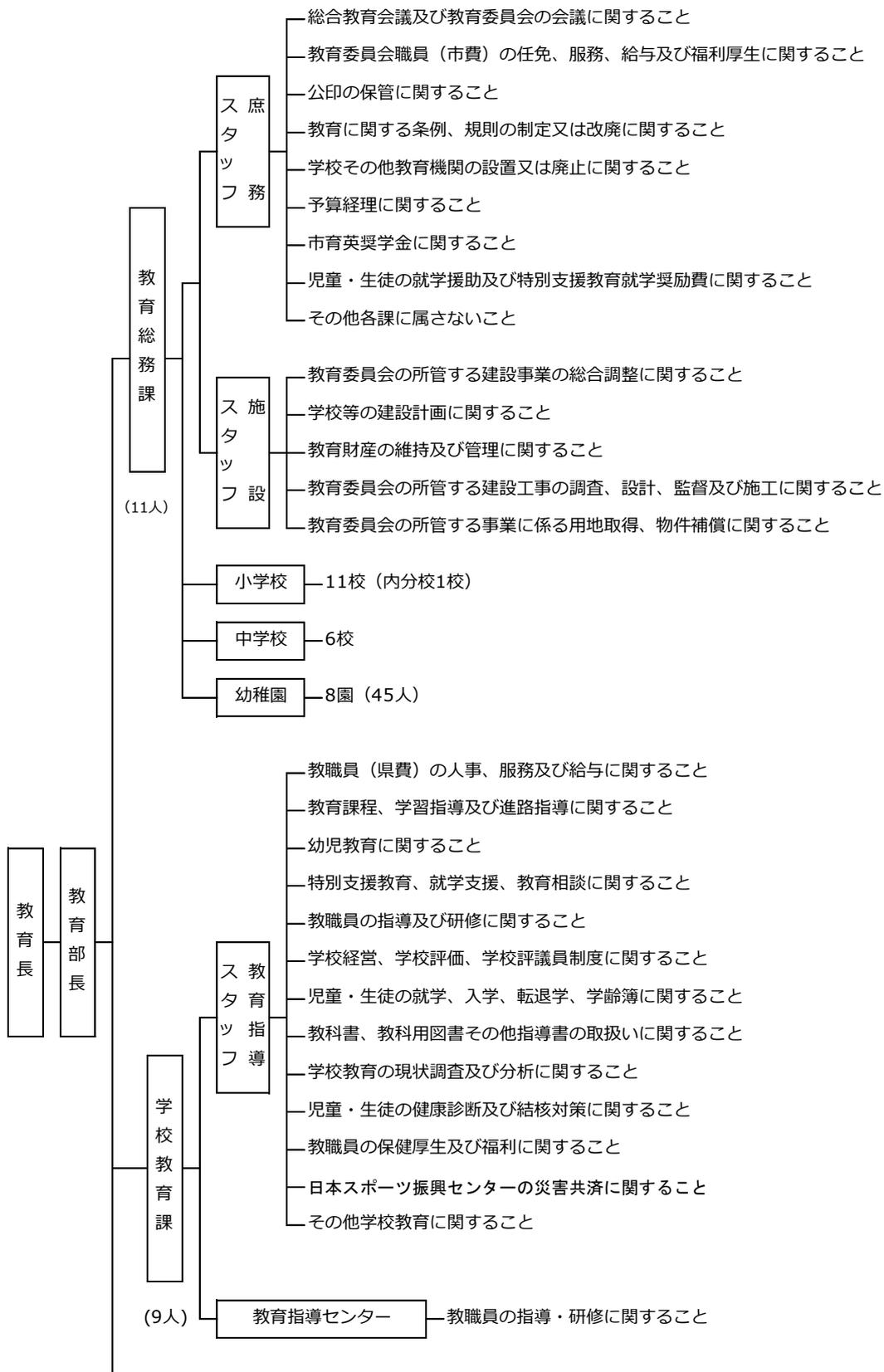
※平成27年4月1日から施行された改正地方教育行政法による新たな教育委員会制度への移行に伴い、平成28年4月1日より新教育長に任命された。

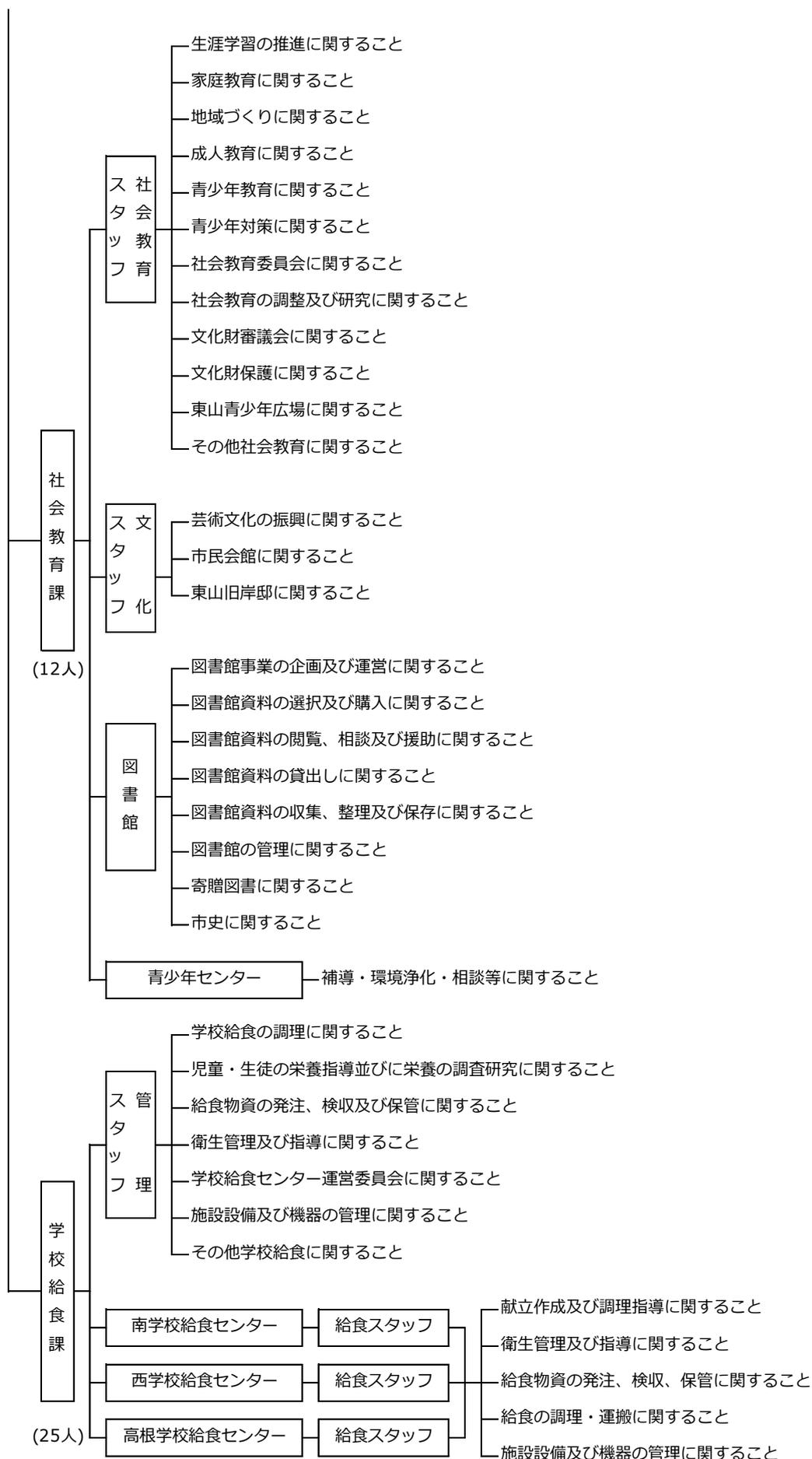
5 平成29年度教育委員会会議

4.20 定例	御教議第 17 号	平成 29 年度教育施策について
	御教議第 18 号	社会教育委員の委嘱について
	御教議第 19 号	平成 29 年度就学援助について
5.22 定例	御教議第 20 号	御殿場市学校教育情報化推進基本計画策定庁内検討委員会設置規程の制定について
	御教議第 21 号	御殿場市立学校設置審議会委員の委嘱について
	御教議第 22 号	御殿場市就園支援委員会委員の委嘱又は任命について
	御教議第 23 号	御殿場市就学支援委員会委員の委嘱又は任命について
	御教議第 24 号	御殿場市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
	御教議第 25 号	御殿場市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について
	御教議第 26 号	御殿場市いじめの防止等対策推進委員会委員の委嘱又は任命について
	御教議第 27 号	平成 29 年度就学援助について
6.21 定例	御教議第 28 号	御殿場市立図書館協議会委員の委嘱又は任命について
	御教議第 29 号	社会教育指導員の任命について
	御教議第 30 号	平成 29 年度就学援助について
7.20 定例	御教議第 31 号	平成 29 年度御殿場市教育委員会自己点検・評価について
	御教議第 32 号	平成 30~31 年度使用の小学校教科用図書の採択について
	御教議第 33 号	平成 29 年度就学援助について
8.21 定例	御教報第 1 号	平成 28 年度御殿場市一般会計決算(教育費)について
	御教議第 34 号	平成 29 年度御殿場市一般会計補正予算(第 2 号)について
	御教議第 35 号	御殿場市図書館等将来構想策定庁内検討委員会設置規程の一部を改正する訓令甲の制定について
	御教議第 36 号	平成 29 年度特別支援教育就学奨励費について
	御教議第 37 号	平成 29 年度就学援助について
9.19 定例	御教議第 38 号	平成 29 年度就学援助について
10.23 定例		



6 教育委員会機構及び事務分掌





教育行財政

1 平成 30 年度御殿場市教育施策

・基本方針・

本年度の御殿場市の教育は、「御殿場市教育大綱」の政策方針である、「富士山のように大きな心を持った人づくり」の実現に向けて、「御殿場市教育振興基本計画」に掲げる各種施策を推進します。

学校教育では、児童・生徒、保護者や地域との信頼関係を築き、安全安心な学校生活の中で、確かな学力の向上、幼・保・こども園及び小・中の連携・一貫を基盤に、特別支援教育、道徳教育、生徒指導の充実、情報教育の推進、人間形成の基礎を育てる幼稚園教育の充実、そしてそれらを推進する力となる教職員の資質向上に努めます。また、小中学校の施設整備、教育備品等の整備を計画的に推進します。

社会教育では、生涯学習と地域づくりの推進を図るとともに、家庭教育力の向上に努めます。また、青少年補導、はればれダイヤル相談事業、放課後子ども教室等の事業を引き続き推進し、青少年の健全育成に取り組めます。図書館は、市民の生涯学習や情報の拠点として、引き続き蔵書の充実を図るとともに、利用者サービスの更なる向上に努めます。

芸術文化の振興は、文化施設の有効活用を図るとともに、「ごてんば市民芸術祭」や「富士山の麓で歌う第九演奏会」など、市民を主役とした各種事業を推進します。また、文化財の保全管理に努めるとともに、歴史的資料等の掘り起しのための調査や研究を進めます。世界文化遺産富士山の保全には、国・県・関係市町及び市民団体と連携・協力して取り組めます。

学校給食は、徹底した衛生管理のもと、安全安心かつ魅力ある給食づくりに努めます。また、「ごてんばこめこカレー」の提供等を通じて給食の時間を充実した体験の場とし、楽しい食習慣の育成に努めます。西及び高根学校給食センターは、整備計画報告書を基に、地元の意見を伺いながら既存施設の改修や改築構想を含めた最善な整備方針の策定に取り組めます。

市民総がかりによる子育て支援の輪を広げるため、「子ども条例」及び「子ども条例行動計画」の周知、働きかけを積極的に行い、特に「いじめ」については、「御殿場市いじめ防止基本方針」を基に、いじめの未然防止とともに早期発見、早期解決を図り、子どもたちが安心して学校生活を送れるように引き続き努めます。

・重点政策・

- | | | |
|--------------|------------------|---------------|
| 1, 人を育む環境の充実 | 2, 生涯学習と知育活動の推進 | 3, 芸術・文化活動の振興 |
| 4, 歴史と文化の継承 | 5, 多文化共生と国際交流の推進 | |

重点政策 1 人を育む環境の充実

主要施策 1 乳幼児期における教育の充実

- 幼稚園教育充実のための支援
- 幼稚園指導員の配置による幼児教育の充実
- 乳幼児期の豊かな育ちの支援

主要施策 2 豊かな感性を育む教育の充実

- 社会性とモラルを育む教育活動の充実
- 学校等の連携・一貫教育の実施
- 各補助者等による支援事業の充実
- 個々のニーズに応じた教育支援体制の整備
- いじめの未然防止・早期発見等に向けた対応の充実

主要施策 3 確かな知性を育む教育の充実

- 情報教育の推進
- 地域に根ざした環境教育の推進
- 全国学力・学習状況調査の活用
- 子どもたちと向き合う時間を拡充するための学年事務加配

主要施策 4 健やかな心身を育む健康教育の充実

- 子どもたちの心身の健康を支える保健室経営と学校専門相談医の活用
- 運動習慣の定着
- 食育の充実

主要施策 5 キャリア教育の充実

- 職場体験を通じた社会人・職業人としての「生きる力」の育成
- 夢とあこがれを育てる夢創造事業の実施

主要施策 6 開かれた学校・魅力ある学校づくりの推進

- 教育課程の改善を目指した自己評価・学校関係者評価の実施
- 中学校区ごとの育ちの目標の共有化と目標実現のための取組の実施
- 教育相談体制の充実
- 就学援助制度等の推進
- 御殿場型コミュニティ・スクールの推進

主要施策7 教職員・指導者の人材確保・育成

- 御殿場市教育フォーラム等の各種研修会の実施
- 市研究指定校による研究推進・自主発表会の開催
- 教育指導センターの円滑な運営
- 指導主事の指導・支援による校内研修の活性化

主要施策8 学校などの教育施設・設備の充実

- 校舎改築事業（西中学校）
- プール改築事業（富士岡小学校）
- 環境整備事業（朝日小学校、南中学校、原里中学校、高根地区児童屋内体育施設）
- ICTを活用した教育の推進を整備計画の策定

主要施策9 学校給食の充実

- 地場産品の利用促進
- 給食だより・給食献立表の発行
- 安全・安心な学校給食の提供

主要施策10 高等教育等の支援の推進

- 魅力ある高等教育・学術の支援

主要施策11 家庭教育力、地域教育力の向上

- 各種講座等の開催による家庭教育力の向上
- 放課後子ども教室等地域教育力の向上

主要施策12 青少年の健全育成

- 補導、青少年相談等青少年センター事業の推進
- 青少年のための科学の祭典等体験の場の提供

重点政策2 生涯学習と地域活動の推進

主要施策1 学習機会の提供、学習成果の発信

- 市民大学等学習機会の提供
- ごてんばDONDON等学習成果の発信

主要施策2 地域づくり活動の支援

- 地域づくり活動にかかる人材育成
- 地域づくり活動学習講座の開催

主要施策3 社会教育関係団体等の活動支援

- 社会教育関係団体の育成
- 生涯学習に取り組む団体の支援

主要施策4 図書館機能の充実

- 蔵書の充実と読書の推進
- 各種サービスの充実
- ボランティア及び近隣図書館・学校図書館との連携
- 調査研究事業の実施
- 図書館整備構想の策定

重点政策3 芸術・文化活動の振興

主要施策1 芸術・文化活動機会の充実

- 芸術・文化に関する鑑賞機会の充実
- 芸術・文化活動の創作や発表の機会の充実
- 次世代の担い手対策の充実

主要施策2 芸術・文化活動体制の強化

- 活動団体の体制強化
- 地域及び企業、他分野との連携

主要施策3 芸術・文化活動基盤の確保

- 文化施設の機能向上
- 文化施設の有効活用
- 文化施設の施設管理者との連携強化

主要施策4 芸術・文化に関する情報の発信

- 芸術・文化活動に関する情報提供と情報発信
- ICTを活用した情報発信と利便性の向上

重点政策 4 歴史と文化の継承

主要施策 1 歴史と文化の調査・研究と支援

- 文化財保護の啓発
- 指定文化財の保護と活用
- 埋蔵文化財の調査と保護
- 神社棟札調査の継続

主要施策 2 文化財等の公開・展示と活用

- 阿部雲気流博物館資料の整備・活用
- 文化財に親しむ市民の拡大

主要施策 3 世界遺産富士山の保全と調査・研究

- 世界遺産富士山の保全
- 世界遺産富士山の保全に向けた活動の支援

主要施策 4 郷土資料館の整備

- 郷土資料館の検討
- 民俗資料収蔵庫内資料の整理・活用

重点政策5 多文化共生と国際交流の推進

主要施策1 多文化共生の推進

- 外国人児童生徒適応指導のための人員の配置
- 外国人児童生徒の支援・指導の充実
- 多文化を理解する教育の推進

主要施策2 国際化に対応できる人材の育成

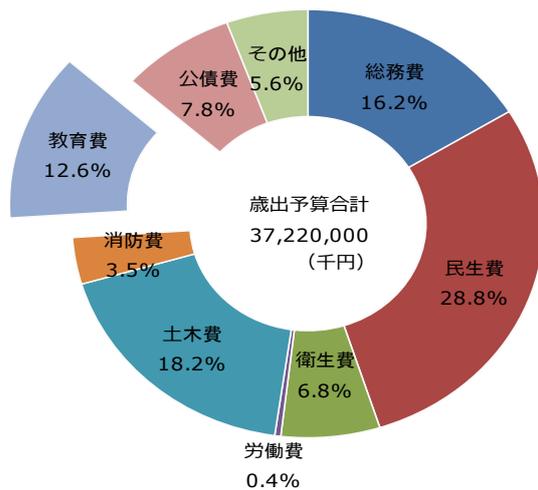
- 語学力・コミュニケーション能力等の向上
- 青少年海外教育交流事業の推進
- ボランティアの充実
- 国際理解の推進

2 平成30年度御殿場市一般会計予算

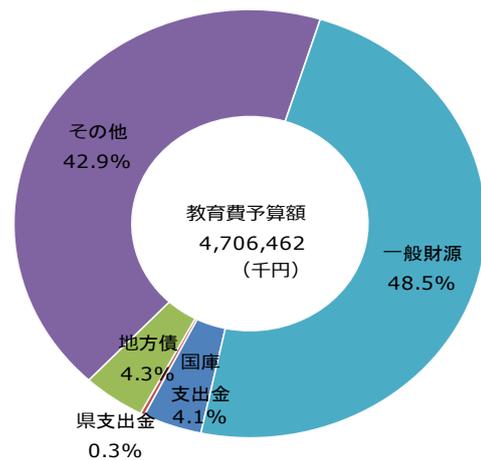
(単位：千円)

区分	本年度 予算額	前年度 予算額	本年度予算額の財源内訳			
			特定財源			一般財源
			国県支出金	地方債	その他	
議会費	234,112	233,269	0	0	504	233,608
総務費	6,043,614	5,534,240	662,844	676,700	1,652,347	3,051,723
民生費	10,733,343	10,818,229	4,089,833	23,900	1,653,946	4,965,664
衛生費	2,518,550	2,831,859	25,122	0	256,843	2,236,585
労働費	153,977	209,048	800	0	170	153,007
農林水産業費	766,682	873,868	220,434	42,600	105,241	398,407
商工費	998,785	526,650	270,830	0	119,381	608,574
土木費	6,768,156	7,276,891	1,289,092	1,373,000	2,130,605	1,975,459
消防費	1,312,210	1,417,198	35,101	18,900	63,550	1,194,659
教育費	4,706,462	4,100,600	121,998	205,300	2,053,958	2,325,206
災害復旧費	192	192	0	0	0	192
公債費	2,904,793	2,983,752	0	0	49,584	2,855,209
諸支出金	1	1	0	0	0	1
予備費	79,123	74,203	0	0	0	79,123
歳出合計	37,220,000	36,880,000	6,716,054	2,340,400	8,086,129	20,077,417

区別歳出予算比率



教育費の財源内訳

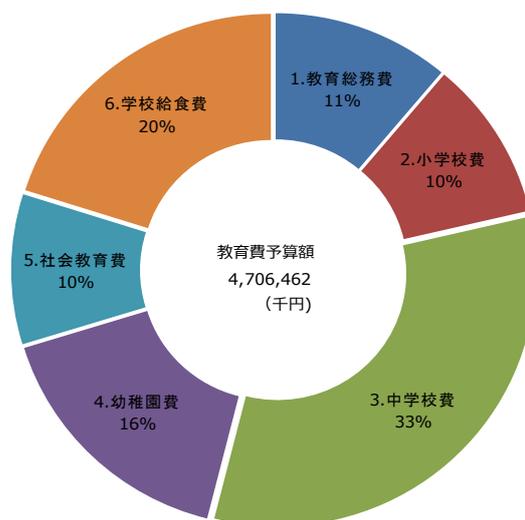


3 平成 30 年度教育費予算

(単位：千円)

	今年度 予算額	昨年度 予算額	昨年度比	特定財源			一般財源
				国・県支出金	地方債	その他	
10.教育費	4,706,462	4,100,600	605,862	121,998	205,300	2,053,958	2,325,206
1.教育総務費	523,893	493,146	30,747	1,035	0	124,743	398,115
1.教育委員会費	2,999	2,985	14	0	0	0	2,999
2.事務局費	258,239	232,506	25,733	0	0	41,980	216,259
3.教育指導費	262,655	257,655	5,000	1,035	0	82,763	178,857
2.小学校費	481,947	865,511	△ 383,564	1,442	9,000	120,559	350,946
1.学校管理費	345,146	726,649	△ 381,503	0	9,000	80,189	255,957
2.教育振興費	136,801	138,862	△ 2,061	1,442	0	40,370	94,989
3.中学校費	1,533,192	297,943	1,235,249	85,257	196,300	957,468	294,167
1.学校管理費	721,966	199,290	522,676	53,282	149,000	305,580	214,104
2.教育振興費	76,461	80,758	△ 4,297	1,133	0	18,892	56,436
3.西中学校校舎改築事業費	734,765	17,895	716,870	30,842	47,300	632,996	23,627
4.幼稚園費	767,706	808,221	△ 40,515	32,062	0	317,377	418,267
1.幼稚園費	721,133	754,827	△ 33,694	20,140	0	317,377	383,616
2.私立幼稚園就園奨励費	46,573	53,394	△ 6,821	11,922	0	0	34,651
5.社会教育費	452,383	660,305	△ 207,922	2,202	0	96,736	353,445
1.社会教育総務費	194,033	193,904	129	2,152	0	77,469	114,412
2.文化財費	7,689	9,420	△ 1,731	50	0	842	6,797
3.図書館費	88,028	90,092	△ 2,064	0	0	5,241	82,787
4.芸術文化振興費	162,633	366,889	△ 204,256	0	0	13,184	149,449
6.学校給食費	947,341	975,474	△ 28,133	0	0	437,075	510,266
1.給食センター運営費	947,341	975,474	△ 28,133	0	0	437,075	510,266

区別歳出予算比率

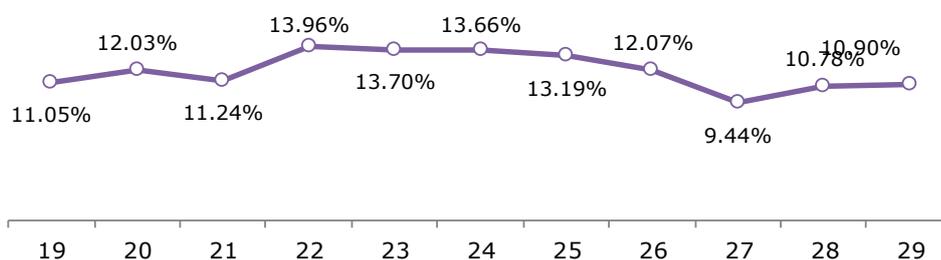


4 教育費の推移

(単位：千円)

年度	一般会計決算額	教育費決算額	比率
19	31,991,348	3,536,210	11.05%
20	31,934,935	3,842,279	12.03%
21	33,887,846	3,808,365	11.24%
22	35,492,893	4,953,195	13.96%
23	37,181,412	5,093,787	13.70%
24	34,925,755	4,772,460	13.66%
25	34,871,675	4,600,010	13.19%
26	34,398,000	4,150,999	12.07%
27	35,613,104	3,363,467	9.44%
28	37,963,558	4,092,219	10.78%
29	36,560,257	3,986,279	10.90%

※決算書より



5 児童・生徒一人当たりの教育費

(単位：円)

区分\年度	22	23	24	25	26	27	28	29
小学校費	225,865	375,145	380,988	358,387	225,543	135,326	229,310	142,177
中学校費	529,023	330,728	203,451	166,605	132,581	98,716	114,255	123,151
幼稚園費	417,168	454,021	433,406	538,934	485,052	637,171	844,670	1,035,043

※決算書より

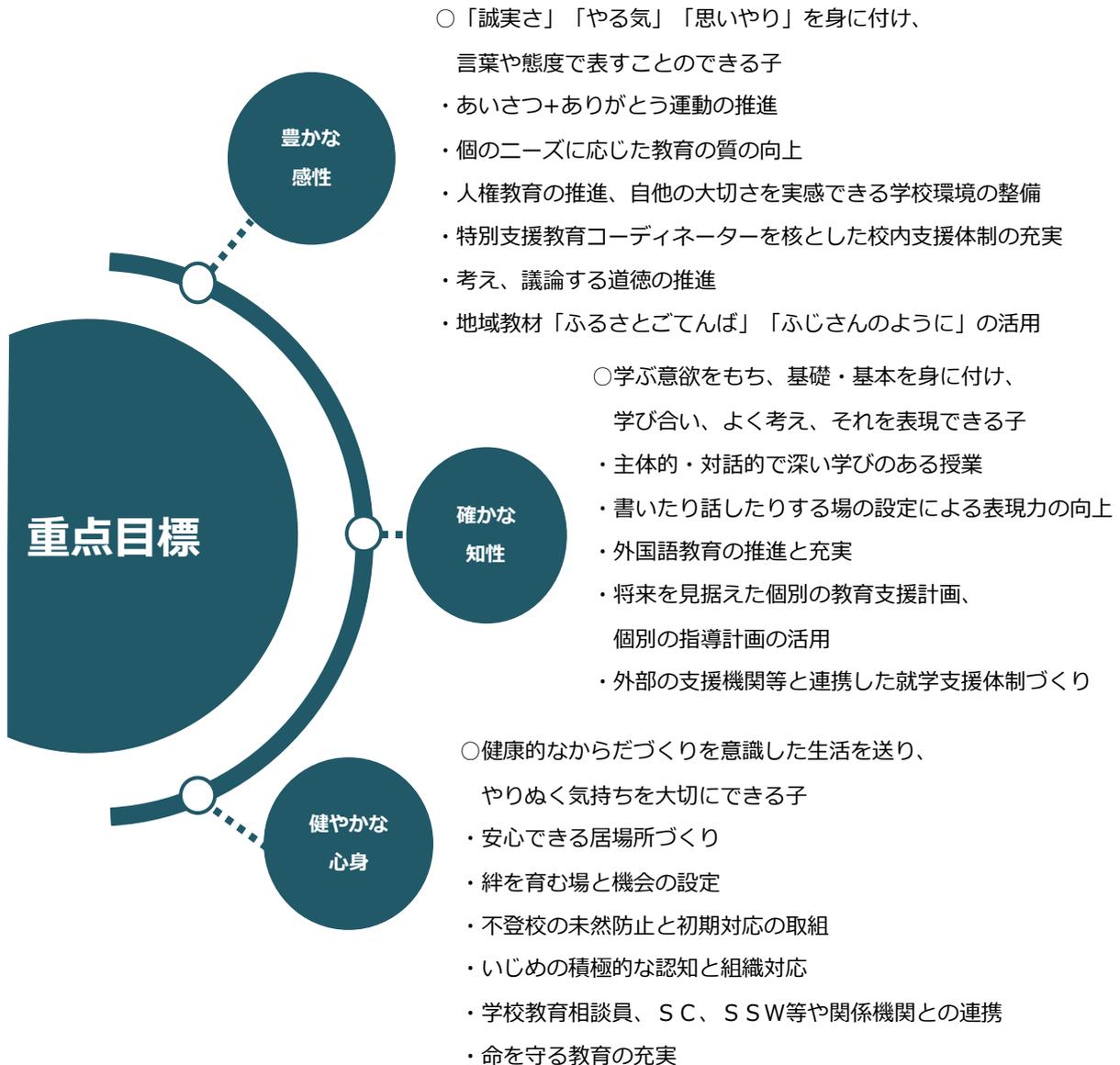
学校教育

1 学校教育

① 平成 30 年度御殿場市教育委員会学校教育課教育構想

◆目指す教育

人間力と社会力を核とする心の教育を基本に、確かな学力の定着を図り、安心安全で魅力ある教育を推進する。



◆重点目標達成率（平成30年度目標値）





平成30年度御殿場市学校教育課グランドデザイン

基本目標

人間力と社会力を核とする心の教育を基本に、確かな学力の定着を図り、
安心安全で魅力ある教育を推進する。

重点目標

豊かな感性

「誠実さ」「やる気」「思いやり」
を身に付け、言葉や態度で表す
ことのできる子

確かな知性

学ぶ意欲をもち、基礎・
基本を身に付け、学び合
い、よく考え、それを表
現できる子

健やかな心身

健康的なからだづくりを意
識した生活を送り、やりぬ
く気持ちを大切にできる子

気持ちのよい挨拶ができる	90%	授業がわかる	90%	学校が楽しい	95%
進んでありがとうが言える	93%	学び合う経験ができた	85%	信頼できる先生がいる	90%
目標に向かって努力する	90%	思いや主張を文章に表す	80%	不登校率	1%以下

目標達成のための重点

特別支援教育

- ・個のニーズに応じた教育の質の向上
- ・特別支援教育コーディネーターを核にした校内支援体制の充実
- ・将来を見据えた個別の教育支援計画、個別の指導計画の活用
- ・外部の支援機関等と連携した就学支援体制づくり

授業づくり

- ・主体的・対話的で深い学びのある授業
- ・書いたり話したりする場の設定による表現力の向上
- ・外国語教育の推進と充実
- ・考え、議論する道徳の推進
- ・地域教材「ふるさとごてんば」「ふじさんのように」の活用

生徒指導

- ・安心できる居場所づくり
- ・絆を育む場と機会の設定
- ・不登校の未然防止と初期対応の取組
- ・いじめの積極的な認知と組織対応
- ・あいさつ+ありがとう運動の推進
- ・学校教育相談員、SC、SSW等や関係機関との連携
- ・命を守る教育の充実

教職員の資質向上

- ◇教育指導センター事業の充実と効果的な運営
- ◇キャリアに応じた研修の充実
 - ・御殿場市教育フォーラム
 - ・教育論文への計画的な取組
 - ・教師力向上講座
 - ・学年主任研修会
 - ・教育情報講習会
 - ・若手・臨時講師研修会
- ◇市教育刊行物の充実
 - ・ブックレット
 - ・学校教育課だより

連携・一貫教育の推進

- ◇教育指導センターの訪問指導の充実
- ◇幼保こ中教職員合同研修会等による幼児教育と義務教育の接続
- ◇中学校区ごとの特色ある教育課程の編成
- ◇教職員・子ども同士の積極的な交流や情報の共有

保護者・地域との連携

- ◇社会に開かれた教育課程の推進と積極的な情報発信
 - ・学校と地域の目標の共有
 - ・地域人材の有効活用
 - ・学校だより
 - ・ホームページ
 - ・オープンスクール
- ◇御殿場市子ども条例行動計画の実行
- ◇読書や学びの時間の確保
- ◇御殿場型コミュニティ・スクールの推進

③ 平成 30 年度 事業一覧表

事業名	内容	予算 (千円)
健康管理事業	学校教育法及び学校保健安全法による園児・児童・生徒定期健診、次年度の入園・入学予定者に入園児・就学時健康診断を実施する。並びに、教職員を対象とした生活習慣病健診・指定年齢健診・人間ドックを実施する。	28,699
教育相談事業	いじめ問題や不登校児童・生徒の解消を図るため、中学校区ごとに相談員を配置し、児童・生徒の悩み等を聞いて励ます体制を整え、元気に登校できるよう支援活動を実施する。また、子どもを取り巻く環境に着目し、問題解決に向かう方策を立てるスクールソーシャルワーカーを配置する。	13,285
外国人児童生徒 適応指導事業	小・中学校に在籍する外国人を対象に日本語指導、日常生活への適応指導・相談活動等のできる指導員を 3 名派遣し、学校生活への円滑な適応を図る。	5,458
学校教育充実事業	特別支援学級・情緒通級指導教室・保健室・学校図書館補助者を各小中学校に配置し、学校教育充実を図る。	72,885
特別支援教育 推進事業	通常の学級に在籍する発達障害の児童生徒の把握と支援のための一環として、教育委員会に専門家チームを組織し、特別支援巡回指導員を交え、各学校の個別支援計画をより精度の高いものにするための指導助言をする。	1,141
発達障害児支援事業	通常の学級に在籍する発達障害児の中で、特別な支援を必要とする児童生徒の多い学級に支援員を派遣し、個別の支援を行う。	37,761
魅力ある学びづくり 推進事業	多忙化する教職員が児童生徒一人ひとりと向き合う時間を確保できるよう、事務的な業務を支援する臨時職員を大規模校中心に配置する。	10,220
教育指導センター事業	教職員の授業力や指導力の更なる向上のため、教育指導員が学校を訪問し、個人への指導・支援を行う。また、当市の教育力向上のための調査分析等を行う。(学校教育課内に設置)	13,022

事業名	内容	予算(千円)	
夢創造事業	心豊かな人づくりを目的とし、講演会や鑑賞会、体験活動等、各学校が子どもの実態に基づき特色ある事業を実施し、情操教育や生き方教育の有効な手立てとする。	2,720	
教育研究指定校交付金交付事業	英語教育 研究指定校	平成 32 年度からの次期学習指導要領全面实施を見据え、御殿場小学校と御殿場中学校を外国語教育の指定校とし、小中学校の学びの接続を目指し、効果的な教育課程、指導方法を研究する。	82
	魅力ある 学校づくり 研究指定校	印野小学校・玉穂小学校・西中学校を指定校とし、幼・小・中一貫教育の視点に立った魅力ある学校づくりについて研究する。	246
	特別の教科道徳 研究指定校	高根小学校と高根中学校を指定校とし、考え、議論する道徳に向けた指導や評価について研究を行う。	82
外国人英語指導者（ALT） 配置事業	市内 6 中学校・10 小学校に、外国人指導者（ALT）9 名をそれぞれ派遣し、英語教育の充実を図るとともに、いろいろな場面で身近に外国人と接し、コミュニケーション能力を高め、国際感覚を養成する。	40,647	
多人数学級支援事業	多人数学級（36 人以上）に教科指導・生活指導を行う支援員を派遣し、児童生徒にきめ細やかな指導と支援をする。	2,501	
幼児教育支援事業	幼児教育の充実、幼稚園・保育園・小学校との連携、家庭教育の在り方についての推進を図る。	202	

④ 学校・園一覧（平成 30 年 5 月 1 日現在）

【幼稚園】

御殿場幼稚園				
住所	〒412-0042 二枚橋 260-1	3 歳児	男子 31 人	女子 33 人
電話	82-0037	4 歳児	男子 44 人	女子 39 人
園長	岩澤 弘子	5 歳児	男子 41 人	女子 41 人
教頭	勝又 しのぶ	職員数	24 人	

園教育目標

心も体も元気いっぱい！

重点目標

友達と一緒にやってみよう

具体策

- 人とかかわる力を育てる保育
 - ・挨拶でかかわりの基礎を身に付ける
 - ・聞く力 話す力を育てる
 - ・園児同士の交流の充実
- 主体的に遊ぶ姿を育てる保育
 - ・ひとりひとりの良さを活かす
 - ・遊びの続きを楽しみにできる環境
 - ・一斉の活動の工夫
- たくましさを育てる保育
 - ・生活習慣の確立
 - ・夢中になって友達と体を動かす体験

研究主題

やってみようとする意欲を育む保育の工夫

原里幼稚園

住所	〒412-0045 川島田 1917-2	3 歳児	男子 14 人 女子 11 人
電話	89-0766	4 歳児	男子 8 人 女子 7 人
園長	望月 尚美	5 歳児	男子 18 人 女子 16 人
教頭	—	職員数	12 人

園教育目標

やってみようとする子

重点目標

本気で遊ぼう！ ～よく見て よく聴いて よく考えよう～

具体策

- たくましさを育てる豊かな体験
- 主体性を育む豊かな環境
- 人とかかわりを通して育てる豊かな心

研究主題

自分の良さを知り、互いの良さを認め合う子を育てる保育の工夫

原里西幼稚園

住所	〒412-0048 板妻 101-6	3 歳児	男子 4 人 女子 5 人
電話	89-2118	4 歳児	男子 3 人 女子 3 人
園長	大津 裕美	5 歳児	男子 6 人 女子 5 人
教頭	—	職員数	8 人

園教育目標

心も体も元気な子

重点目標

幼児自ら意欲をもってやってみる子

具体策

- 生きる力につながる基礎の確立
 - ・あいさつ、基本的な生活習慣
 - ・健康的な体作り
 - ・集団生活のルール
- 意欲を育む遊びや活動の充実
 - ・自然環境を生かした遊びの工夫
 - ・夢中になって遊べる環境の工夫
 - ・栽培体験
 - ・四季を感じる園外保育
 - ・異年齢交流
- 家庭や地域との連携
 - ・家庭との連携
 - ・地域の人たちとの交流
 - ・保護者の教育活動への参加
 - ・幼保小中の交流

研究主題

一人ひとりの「やってみよう」を認め、育む保育の工夫

玉穂幼稚園

住所	〒412-0006 中畑 426-1	3 歳児	男子 16 人 女子 16 人
電話	89-2226	4 歳児	男子 12 人 女子 19 人
園長	渡邊 公美	5 歳児	男子 24 人 女子 24 人
教頭	芹澤 由美子	職員数	13 人

園教育目標

意欲をもってやってみる子

重点目標

のびのびと表現できる子

具体策

○自己発揮体験

- ・一人一人が自分の良さや得意なことを感じながら、自信をもって自己発揮できる子を育てる

○人とかかわる豊かな体験

- ・色々な人とかかわる体験をし、認め合える喜びや充実感を感じたり、思い通りにいかないもどかしさを感じたりしながらも、互いに刺激し合える関係作りをする

○元気アップ体験

- ・基本的な生活習慣の確立や遊びに必要な技能の習得をし、体力を向上できるように積み重ねていくことで、一人一人の力を伸ばし、じっくり活動できる子を育てる

研究主題

のびのびと表現できる子を育てるための保育の工夫

富士岡幼稚園

住所	〒412-0037 中清水 119	3 歳児	男子 7 人 女子 9 人
電話	87-0642	4 歳児	男子 11 人 女子 8 人
園長	水口 美絵	5 歳児	男子 14 人 女子 12 人
教頭	山根 ゆきの	職員数	8 人

園教育目標

心身ともにたくましい子

重点目標

自ら興味をもち、やってみようとする子

具体策

- 学び合える遊びの体験
 - ・ 試行錯誤する遊び
 - ・ ともだちタイム
 - ・ 聞く、話す力の育成
- 感性を豊かにする体験
 - ・ 園外保育や自然を活かした活動
 - ・ 挨拶、ありがとう運動
 - ・ 家族ふれあいデイ
 - ・ 絵本読み聞かせ
- たくましさ育てる体験
 - ・ チャレンジタイム
 - ・ たくましい体作り（運動、食育）
 - ・ 基本的生活習慣の確立
 - ・ 黙働への基礎作り（当番、お手伝い）

研究主題

たくましい体と心を育む保育の工夫

森之腰幼稚園

住所	〒412-0045 川島田 451-3	3 歳児	男子 10 人 女子 18 人
電話	82-2593	4 歳児	男子 20 人 女子 18 人
園長	田代 一美	5 歳児	男子 20 人 女子 20 人
教頭	滝口 美香	職員数	13 人

園教育目標

心も体も元気な子

重点目標

かんじよう！かんがえよう！やってみよう！

具体策

- 学びを育む
 - ・認め合いの場
 - ・発達段階に応じた遊びの工夫
 - ・考える場作り
- ものや人とかかわる
 - ・身近な自然環境をいかす
 - ・地域とのかかわり
 - ・異年齢交流
- 体をつくる
 - ・発達に応じた生活習慣の習得
 - ・体力向上
 - ・親子共に育ち合う工夫

研究主題

感じ、考え、やってみようとする子が育つ保育の工夫

竈幼稚園

住所	〒412-0039 竈 154-1	3 歳児	男子 4 人 女子 10 人
電話	83-4144	4 歳児	男子 7 人 女子 5 人
園長	大屋 美佐	5 歳児	男子 0 人 女子 8 人
教頭	—	職員数	8 人

園教育目標

瞳きらきら かまどの子

重点目標

心豊かな意欲のある子を育てる

具体策

- 感性を豊かにする体験
 - ・身近な自然との触れ合い
 - ・花や野菜の栽培
 - ・道徳心を養う手立ての工夫
 - ・挨拶の向上
- 意欲を育む遊びの充実
 - ・遊びや体験、友達をつなぐための見通しをもった保育の推進
 - ・一人ひとりのよさを活かす保育の工夫
 - ・体を動かす遊びの充実
 - ・異年齢交流の工夫
 - ・聞く力、話す力の育成
- 家庭・地域との連携
 - ・家庭との連携
 - ・地域との交流

研究主題

遊びがつながる保育の工夫

神山幼稚園

住所	〒412-0033 神山 416-2	3 歳児	男子 1 人 女子 1 人
電話	87-1199	4 歳児	男子 2 人 女子 2 人
園長	伊藤 昭子	5 歳児	男子 4 人 女子 3 人
教頭	浅井 淳	職員数	7 人

園教育目標

心豊かな元気な子

重点目標

いっぱい遊ぼう

具体策

- 遊びこめる環境をつくろう
- 人の力を活かそう
- 生きる力を伸ばそう

研究主題

心豊かな元気な子を育てるための保育の工夫

【小学校】

御殿場小学校

住所	〒412-0042 萩原 361-1	1年	182人	6学級
電話	82-0100	2年	182人	6学級
校長	鳥越 雅幸	3年	184人	6学級
教頭	勝村 由香利	4年	150人	5学級
県費教職員数	48人	5年	163人	5学級
市費教職員数	7人	6年	156人	5学級
		特別支援学級	14人	2学級

学校教育目標

進んで学び 高め合う 御小の子

重点目標

自ら伝える 御小の子

経営目標

学び合うなかで、心を磨き、学力と体力を伸ばす学校

- ①子どもが自分の考えを持ち、伝え合いを大切にしたい授業が実践される学校
- ②秩序と落ち着きの中で、子どもたちの良さを認め励ます学校
- ③教師自らが自己研鑽に努め、子どもとともに汗をかける学校

経営の重点

教科指導

- 分かる授業の追求と学力の定着
- 道徳・外国語活動の研究
- 特別支援教育の推進

教科外指導

- 心を育てる実践活動
- 自分から挨拶
- 温かで活気のある学級・学年づくり
- 黙動清掃
- 読書活動の質の向上

学校運営

- 学年を縦軸、3部会を横軸にした学校運営
- 「報連相報」の徹底
- 積極的に学校を開き、保護者・地域との連携を進める
- 個に応じた支援の実施

研究分野・教科等

外国語活動

研究主題

自他のよさや違いを認め、自らつながり合おうとする子の育成

御殿場南小学校

住所	〒412-0045 川島田 580	1年	119人	4学級
電話	82-0911	2年	119人	4学級
校長	横川 幸次郎	3年	120人	4学級
教頭	小山 志保	4年	144人	5学級
県費教職員数	43人	5年	160人	5学級
市費教職員数	9人	6年	116人	4学級
		特別支援学級	23人	4学級

学校教育目標

共に学び 進んで挑戦 思いやりいっぱい 南っ子

重点目標

「自分のよさを発揮する子」 合言葉「みんなでキラリ わたしもキラリ」

経営目標

- ・確かな学力を育む学びづくり
- ・仲間とともに育む思いやりの心づくり
- ・考え行動する力を育む活動づくり

経営の重点

集団の力を高め 個の力を伸ばす	○夢中になって学ぶ子「授業がよく分かる」93% <確かな学力の育成>
	・子どもたちが考えをつなぐ授業、ユニバーサルデザイン ・地域のひと、もの、ことに学ぶ ・家庭学習の習慣化
	○気持ちを込めてあいさつする子「進んであいさつ」90% <自他を大切にする心の育成>
	・南っ子あいさつ運動 ・道徳教育推進 ・よいこと活動 ・いじめ早期発見、早期解消
	○進んで行動する子「みんなで協力」90% <集団の力の育成>
	・協働、感動の活動づくり ・黙働清掃、黙働行動の展開 ・人間関係づくりプログラム ・個が生きる児童会活動

研究分野・教科等

授業と環境のユニバーサルデザイン 国語科・算数科

研究主題

思いや考えを伝え合い、進んで学びを深める子の育成

富士岡小学校

住所	〒412-0035 中山 161	1 年	96 人	3 学級
電話	87-1006	2 年	92 人	3 学級
校長	小川 益弘	3 年	110 人	4 学級
教頭	柴田 勝好	4 年	92 人	3 学級
県費教職員数	37 人	5 年	80 人	3 学級
市費教職員数	7 人	6 年	93 人	3 学級
		特別支援学級	17 人	3 学級

学校教育目標

共に伸びる子

重点目標

みがく「みんなで **がんばる** **くみあげる**」

経営目標

「子どもが来たくなる学校」～子どもが主役で活力ある学校～
 ①学習をみがく学校 ②生活をみがく学校 ③感性（気づき）をみがく学校

経営の重点

- 知性をみがく子（授業が楽しい 95%、授業がわかる 95%）
 - ・基礎学力を確実に身に付ける ・「学年×10分」集中して家庭学習
 - ・友達の考えを受け止め、自分も話をするとき、理由や根拠を示して分かりやすく伝える
 - ・電子黒板、タブレットを活用して「聴いて 考えて つなげる」授業ができる
- 心身をみがく子（黙働すると気持ちよい 95%、挨拶をすると気持ちよい 95%）
 - ・元気な声で「あいさつ」や「ありがとう」が言える ・「みがく貯金」で自他の良さに気付く
 - ・黙働、ボランティアに進んで取り組み、人の役に立つことをする
 - ・読書に親しみ、豊かな心情を育む
 - ・朝運動に進んで取り組み、心肺機能を高めて基礎体力をつける
- 感性をみがく子（自分のみがきがわかる 95%、自分のよさがわかる 95%）
 - ・「ありがとうの日」の取組により他者の言動、心情に気付く
 - ・「学習」「生活」の定期的な振り返りと自己評価により、「何ができるようになったか」「何をみがいてきたか」を実感する

研究分野・教科等

学習指導 幼保こ小中連携・一貫教育

研究主題

共に学び合い、思いや考えを豊かにする子の育成～聴き合い、伝え合うことを通して～

神山小学校

住所	〒412-0033 神山 478-2	1年	44人 2学級
電話	87-0030	2年	55人 2学級
校長	小林 博之	3年	67人 2学級
教頭	佐藤 きよ恵	4年	85人 3学級
県費教職員数	22人	5年	68人 2学級
市費教職員数	3人	6年	77人 3学級
		特別支援学級	5人 1学級

学校教育目標

温かく たくましく 磨き合う 神山の子

重点目標

いつもえがおで

経営目標

新たな自分に出会う教育活動の推進

経営の重点

重点目標「学びの充実」

- ◇ 温かく明るく元気にあいさつする子
- ◇ あきらめずに学び続ける子
- ◇ アイデアを出し合う子
- ◇ 教職員・家庭・地域が心をつなげて学び合う学校

研究分野・教科等

道徳

研究主題

「自己を見つめ、思いを伝え合う子ども」

原里小学校

住所	〒412-0045 川島田 1902	1年	83人 3学級
電話	89-0458	2年	85人 3学級
校長	福島 英子	3年	95人 3学級
教頭	小見山 浩二	4年	113人 4学級
県費教職員数	35人	5年	98人 3学級
市費教職員数	6人	6年	103人 3学級
		特別支援学級	11人 2学級

学校教育目標

「自分を創る原里の子」自分で考えて動く

重点目標

- 「やる気」 ～自分で考えて動く・自分を表現する
- 「思いやり」 ～自分と友を大切にする・積極的に人と関わる
- 「元気」 ～進んで体を鍛える・健康安全の自己管理ができる

経営目標

学び合い、育ち合う学校

- 【1】自ら学びに向き合い、学ぶ意欲を持ち、確かな学力の定着を図る学校づくり
- 【2】自己肯定感と社会性を育む学校づくり
- 【3】開かれた学校づくり

経営の重点

- 【第1学期】関わり合う（温かな集団を作る）
- 【第2学期】磨き合う（励まし合い、努力する）
- 【第3学期】高まり合う（自分や友の良さを認める）

研究分野・教科等

学習指導 窓口「国語」

研究主題

自ら考え共に追求し学び続ける子の育成

～学び合いを生む授業を目指して～

玉穂小学校

住所	〒412-0006 中畑 441	1年	86人 3学級
電話	89-0545	2年	80人 3学級
校長	勝又 浩	3年	79人 3学級
教頭	小越 隆則	4年	90人 3学級
県費教職員数	30人	5年	78人 3学級
市費教職員数	6人	6年	69人 2学級
		特別支援学級	26人 4学級

学校教育目標

富士に学ぶ玉穂の子

- ・富士のように、高い目標を持って学習する子
- ・富士の裾野のように、心の広い子
- ・富士のように、たくましく健康な子

重点目標

『BEST』な玉穂っ子

学ぶ：進んで表現する

関わる：温かな人間関係を作る

鍛える：目標にチャレンジする

経営の重点

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| ①楽しい学校 | * 学校が楽しい子 (90%) |
| ②授業が分かる学校 | * 授業が分かる子 (90%) |
| ③居場所のある学校 | * 先生は相談に対応し自分のことを考えてくれる (90%) |
| ④信頼される学校 | * 相談に対応し、適切な指導をしている (90%) |

研究分野・教科等

学習指導

研究主題

「たいの生まれる授業」～課題設定と振り返りの工夫～

印野小学校

住所	〒412-0008 印野 1710	1年	22人	1学級
電話	89-2533	2年	20人	1学級
校長	青木 元広	3年	16人	1学級
教頭	鎌野 幸治	4年	24人	1学級
県費教職員数	12人	5年	24人	1学級
市費教職員数	3人	6年	17人	1学級
		特別支援学級	3人	1学級

学校教育目標

大地に生きる印野の子

重点目標

自分から もっと カいっぱい

経営目標

かかわり合ってわくわくする学校づくり

- ①伝え合い：自ら思いを伝え、聞き、高め合う学習活動
- ②思いやり：相手より先にあいさつ、ありがとうを言える子
- ③きたえ合う：めあてに向かって挑戦し、やり抜く子

経営の重点

- (1)生活安全指導部：人のために、自分のために、もっとカいっぱい行動できる子の育成
 - ・元気なあいさつ、ありがとうが言える子 93%
 - ・自分のことが好きだと言える子 83%
- (2)学習指導部：自分を伸ばそうと、もっとカいっぱい学ぶ子の育成
 - ・授業がわかる子 92%
 - ・自分の考えを伝える子 90%
 - ・読書を進んでする子 96%
- (3)特別活動指導部：目標に向かい、自分からもっとカいっぱい活動し、みがき合う子
 - ・学校が楽しいと思う子 92%
 - ・自分からカいっぱい挑戦している子 93%

研究分野・教科等

学習指導

研究主題

「すすんで思いを伝え合える子」
 ～かかわり合いを大切にした学習活動の工夫を通して～

高根小学校

住所	〒412-0017 塚原 38-5	1年	(本校) 42人 2学級 (分校) 8人 1学級
電話	(本校) 82-1003 (分校) 89-3632	2年	(本校) 29人 1学級 (分校) 2人 1学級
校長	新澤 まり	3年	38人 2学級
教頭	中根 洋一	4年	46人 2学級
県費教職員数	19人	5年	41人 2学級
市費教職員数	3人	6年	46人 2学級
		特別支援学級	4人 1学級

学校教育目標

よい子 学ぶ子 じょうぶな子

重点目標

みつつのじまん高根の子 あいさつじまん・まなびじまん・やりぬくじまん

経営目標

気づき、考え、自ら行動する子

- (1)あいさつと思いやりあふれる学校づくり
- (2)共に学び合う授業づくり
- (3)めあてに向かって最後までやりぬく子どもの育成

経営の重点

- | | |
|--|--|
| <p>①気持ちの良い挨拶をする。「ありがとう」を伝える (95%)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 学級・学年であいさつ運動 <p>②互いに思いやり、高め合う (95%)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 道徳科の授業を中心に実践力につなげる * 友達からの褒め言葉のシャワーで自分の良さを知る * 毎月の生活アンケート、全員面談、高根っ子を語る会等で子ども理解を深め、寄り添う <p>③自分の考えを伝える (90%)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 話しやすい学級づくり * 授業改善 (発問の吟味、板書・指導法の工夫、振り返りの時間の確保) | <p>④共に学び合う (90%)</p> <ul style="list-style-type: none"> * ペアやグループで話し合いの仕方を指導し、場を設定する <p>⑤読書に親しむ (80%)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「おすすめ十選」の薦め、授業での図書室活用、読書月間、ぼかぼかタイム <p>⑥基本的な生活習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> * 早寝早起き朝ごはん (90%) * もったいない精神 <p>⑦めあてを持って運動する (90%)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 目標と見通しを持った授業と朝運動 <p>⑧課題を発見し、解決しようとする (90%)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 計画的な学級話し合い活動、全員が議長団を経験する |
|--|--|

研究分野・教科等

道徳教育・保小中連携一貫教育

研究主題

自信を持って、自分の思いや考えを表現し、共に学び合う子どもの育成を目指して
～道徳科を窓口にして～

朝日小学校

住所	〒412-0045 川島田 84-1	1年	65人	2学級
電話	84-0188	2年	74人	3学級
校長	内藤 成彦	3年	63人	2学級
教頭	大胡田 かおり	4年	68人	2学級
県費教職員数	26人	5年	71人	3学級
市費教職員数	4人	6年	68人	2学級
		特別支援学級	4人	1学級

学校教育目標

あさひの花を咲かせよう

重点目標

「ねばって つづけて やりぬこう」

【確かな学力】自分を伸ばそうと粘り強く学ぶ子

【豊かな心】人のために一生けんめいになれる子

【健やかな体】すすんで動き、働き、粘り強く体をきたえる子

経営目標

「心のふるさと朝日」づくりの充実

- (1)特別支援教育の考えを土台に、個に応じた授業の充実を図りながら、付けたい力が身に付く魅力あふれる授業づくりをする。
- (2)地域の教育力を最大限に生かしながら、一貫・連携した教育活動を行う。
- (3)各自が自分の立場を自覚し、信頼関係を基盤に協働する学校（チーム朝日）づくりをする。

経営の重点

- ◇自分を伸ばそうと粘り強く学ぶ子「ひまわり授業・ひまわり読書」
 - *習得と活用 *地域を生かした主体的な学習 *研修（頼もしい教師・授業で勝負）
 - *小・中一教育研修（キャリア教育・生きる力を育む教育の推進）
- ◇人のために一生けんめいになれる子「さくら清掃・さくらボランティア」
 - *温かな心の教育 *一人ひとりが存在感をもてる学級づくり *学級生活の活性化
 - *児童会活動の活性化
- ◇すすんで動き、働き、粘り強く体をきたえる子「あさがおあいさつ・あさがおマラソン」
 - *あいさつ、返事の励行 *運動や遊びを大切にする
- ◇その他
 - *特別支援教育の充実 *開かれた学校づくり *3学期制の活用
 - *克麗ある教職員集団・頼もしい教師～元気で笑顔で *小・中一貫教育の推進

研究分野・教科等

国語

研究主題

「聴いて 考えて 伝えよう」 国語科を中心とした授業改善

東小学校

住所	〒412-0027 西田中 310	1年	56人	2学級
電話	83-0415	2年	61人	2学級
校長	百々 由美	3年	63人	2学級
教頭	長澤 広志	4年	59人	2学級
県費教職員数	25人	5年	91人	3学級
市費教職員数	6人	6年	63人	2学級
		特別支援学級	13人	3学級

学校教育目標

人にやさしく ものにやさしく 自分にきびしく

重点目標

やる気いっぱい やさしさいっぱい

～笑顔あふれる 明るい学校を目指して～

経営目標

- 子どもが主体的に追求し、学び合う楽しさを実感できる授業づくりに取り組む。
- 笑顔で挨拶・言葉遣いを東小の伝統となるよう、より良い人間関係を身に付けるとともに「良いところ見つけ」の実践を通して、自己有用感を高め、お互いを大切に作る心を育てる。
- 活力があり何でも言い合えるチームとして、組織力と同僚性を大いに高め「教師力の向上」と「学校力の強化」を図る。

経営の重点

- (1)安心安全で楽しい学校づくり
- (2)地域、保護者とともに子どもを育てる信頼される学校づくり
- (3)学び合う楽しさを実感できる授業づくり
- (4)特別支援教育の充実

研究分野・教科等

学習指導 道徳

研究主題

みんなで学び、深め合う授業を目指して

【中学校】

御殿場中学校

住所	〒412-0042 萩原 364	1 年	203 人	6 学級
電話	82-0356	2 年	206 人	6 学級
校長	滝口 盛治	3 年	220 人	7 学級
教頭	北条 和広	特別支援学級	3 人	1 学級
県費教職員数	40 人	市費教職員数	3 人	

学校教育目標

「志をもち、心豊かでたくましい御中生」の育成

重点目標

目指す生徒像 『凛とした御中生』

経営目標

凛とした生活をする御中生の育成

「耳を傾けよう 考えよう 表現しよう」【確かな学力】

「みんなが主役 みんなで創ろう みんなで行動」【豊かな心】

「元気にあいさつ 進んで行動 最後までやり遂げよう」【健やかな心身】

「環境を整えよう（生徒の学ぶ環境・職員の働く環境・家庭や地域と連携する環境）」（事業部）

経営の重点

ア 校訓、学校教育目標、目指す生徒像、学校経営目標、研究主題の明確化、一貫性

- ・校訓、学校教育目標、目指す生徒像、学校経営目標、研究主題の職員、生徒、家庭、地域間での共有
- ・P D C A（評価→改善→計画→実行）サイクルの機能化⇒5ステージ制の導入

イ 頼もしい職員の育成

- ・学校経営方針及びキャリアステージを意識し、同僚性を高め、共通実践を目指して切磋琢磨できる温かな職員集団づくり
- ・「生徒一人一人に学びの実感、関わり合うことの意義を味わわせる授業力」や「生徒一人一人に自信を持たせ、自尊感情を育む生徒指導力」の向上

ウ 「耳を傾けよう 考えよう 表現しよう」（確かな学力）

- ・学校の教育活動のあらゆる場面で、生徒一人一人に「自身」「自尊感情」を育むことを意識していく。

エ 「みんなが主役 みんなで創ろう みんなで行動」（豊かな心）

- ・生徒の活動にもP D C Aサイクルを位置付ける。
- ・「生徒の付けたい力」を明確にした上で、各行事や活動等を展開する。

オ 「元気にあいさつ 進んで行動 最後までやり遂げよう」（健やかな心身）

- ・「目標を立てる」「計画的に実践する」「努力を積み重ねる」「やり遂げた達成感を味わう」活動を大切に、「主体的にやり遂げる力」を育む。

- ・生徒一人一人に集団生活のルールや学習のルール、マナーを育むとともに、規範意識・人権意識を高める指導を進める。

研究分野・教科等

市指定研究 英語教育

研究主題

学びの実感を積み重ねる授業・活動づくり

～「主体的にやり遂げる力」「豊かな表現力」「協働する力」を育む～

富士岡中学校

住所	〒412-0035 中山 825-1	1年	223人 7学級
電話	87-1122	2年	214人 7学級
校長	勝俣 久功	3年	191人 6学級
教頭	横溝 千都生	特別支援学級	13人 2学級
県費教職員数	39人	市費教職員数	6人

学校教育目標

心豊かで活力のある生徒の育成

重点目標

「相互信頼」を築き、ともに「感動」ある学校づくり

経営目標

- (1)自ら考え、ともに学び合う授業づくり
- (2)安心・安全で、笑顔溢れる環境づくり
- (3)「チーム富士岡」学校・保護者・地域の連携による ともに感動ある学校づくり

経営の重点

- (1)自ら考え、ともに学び合う授業づくり
 - ◎確かな学力を身につけさせるように、授業改善を進めるとともに、補充学習の充実を図る。
 - 課題を明確にし、グループ活動を取り入れ、思考を深める授業づくりを実践する。
 - 教材・教具及び板書の工夫、ICTの活用等、視覚に訴える授業を実践する。
 - 補充学習などを計画的に進める。(長期休業中、テスト前等)
- (2)安心・安全で、笑顔溢れる環境づくり
 - ◎環境づくり、人間関係づくりを意識した、安全・安心な学級づくりを進める。
 - 整えられた環境で学校生活をするこゝで、安全を保証する。
 - さわやかなあいさつ、積極的な関わり合いで笑顔溢れる学校生活を築く。
 - 特別支援学級、道徳教育を充実させ、豊かな心を育成する。
- (3)「チーム富士岡」学校・保護者・地域の連携による ともに感動ある学校づくり
 - ◎「チーム富士岡」学校・保護者・地域と連携し、富士岡地区の子どもたちの健全育成を図る。

研究分野・教科等

・富士岡中学校区 幼小中連携・一貫教育研究のその後

研究主題

生徒の主体的な学びを生み出す授業課題の探求

原里中学校

住所	〒412-0045 川島田 1363-1	1年	126人	4学級
電話	89-0338	2年	168人	5学級
校長	鈴木 弓子	3年	159人	5学級
教頭	飯塚 誠	特別支援学級	4人	1学級
県費教職員数	29人	市費教職員数	3人	

学校教育目標

たくましく 心やさしい 原里中生徒

重点目標

「信頼され、活力ある学校」づくり

経営の重点

『生徒も教師も志をもって生活する学校づくり』のために

- ①「確かな学力の定着」を目指し、魅力ある授業を実践するための協働的な校内研修
- ②「人間力」の育成を目指し、話し合い活動を通じた学級・学年づくり
- ③幼・小・中の系統的、組織的連携
- ④キャリア教育の推進
- ⑤安全・安心な教育環境づくり
- ⑥特別支援教育の確かな推進・実践

研究分野・教科等

授業改善 魅力ある授業の実践

研究主題

「自分の考えを持ち、仲間と共に（協働的）課題を追求できる生徒」

西中学校

住所	〒412-0006 中畑 662-2	1年	92人 3学級
電話	89-0543	2年	81人 3学級
校長	土屋 行広	3年	92人 3学級
教頭	本田 章	特別支援学級	13人 2学級
県費教職員数	23人	市費教職員数	5人

学校教育目標

品性を高め 気力の充実に努める生徒の育成

重点目標

認め合い 良さを発揮する生徒

経営の目標

- 1, 生徒の「主体的に学ぶ力」を育てる授業づくり
- 2, 生徒相互の「仲間意識」「相手意識」を育てる学級・学校づくり
- 3, 「魅力ある学校」に向けた家庭・地域との信頼関係づくり

【合言葉】

㊦いさつ ㊧のちをはぐくむ ㊨えをめざす ㊩がお

経営の重点

- ・「信頼される学校」づくりの更なる推進
- ・生徒の規範意識やマナーの向上
- ・「当たり前活動」継承・推進

研究分野・教科等

地域一体となった
「園・学校一貫教育」
「魅力ある学校づくり」

「心やさしく たくましい子の育成」

- ・共通指導項目「あいさつ・返事」「聞く・話す」
- ・「相手意識」「郷土愛」「主体性」を磨く
- ・授業公開と授業研究会の試み
- ・小中交流の授業

研究主題

生徒とともにつくる授業

～より深く主体的に学ぶ生徒を育てる、教師もより主体的に仕掛ける授業づくり～

高根中学校

住所	〒412-0017 塚原 4-1	1 年	45 人	2 学級
電話	82-1029	2 年	46 人	2 学級
校長	小宮 隆	3 年	43 人	2 学級
教頭	遠藤 浩紀	特別支援学級	—	
県費教職員数	13 人	市費教職員数	2 人	

学校教育目標

感受豊かに 学びを深め 未来を拓く

重点目標

多様な価値に触れ、自ら表現する

経営目標

自分のよさを見出し創り上げることができる学校

・授業の充実 ・道徳教育の推進 ・キャリア教育の推進 ・チーム高根中

経営の重点

校訓「守徳」の読み解き…自分のよさ（徳）に気づき、自信をもって発信し、周囲をよりよい状態に変えていくこと。

学校経営構想「豊かな体験」「確かな学び」「健やかな心身」を柱として、「地域との連携」「保小中連携」を重視し、PDCA サイクルが機能した学校経営を推進する。

- | | |
|---------------|----------|
| ①校訓「守徳」への共感 | [生徒] 95% |
| ②学校（学級）は楽しい | [生徒] 95% |
| ③学習に対する意欲の向上 | [生徒] 90% |
| ④学び合う経験ができた | [生徒] 90% |
| ⑤授業がわかる | [生徒] 90% |
| ⑥信頼できる先生がいる | [生徒] 90% |
| ⑦将来について考えを深めた | [生徒] 90% |

研究分野・教科等

道徳教育 保小中連携・一貫教育

研究主題

多様な価値に触れ、自尊感情を高め、よりよく生きようとする子どもの育成

南中学校

住所	〒412-0042 萩原 1327	1 年	143 人	5 学級
電話	83-8434	2 年	139 人	4 学級
校長	芹澤 照平	3 年	168 人	5 学級
教頭	秋岡 智子	特別支援学級	5 人	1 学級
県費教職員数	28 人	市費教職員数	4 人	

学校教育目標

仲間と共にたくましく伸びる

重点目標・経営目標

- 【確かな学びづくり】 「根拠を明確にして考える・説明する」
- 【豊かな感性づくり】 「仲間と共に目標に向けて協力する」
- 【健やかな心身づくり】 「一歩前に踏み出し粘り強く取り組む」

経営の重点

- (1) 学校生活が楽しい (生徒) 95%
- (2) 学校には信頼のできる先生がいる (生徒) 95%
- (3) 学校は保護者や地域に情報提供を積極的に行っている (保護者) 95%
- (4) 学校の授業の内容が分かる (生徒) 90%
- (5) 学校のきまりを守って生活する (生徒) 100%

研究分野・教科等

・ユニバーサルデザインを意識した授業

研究主題

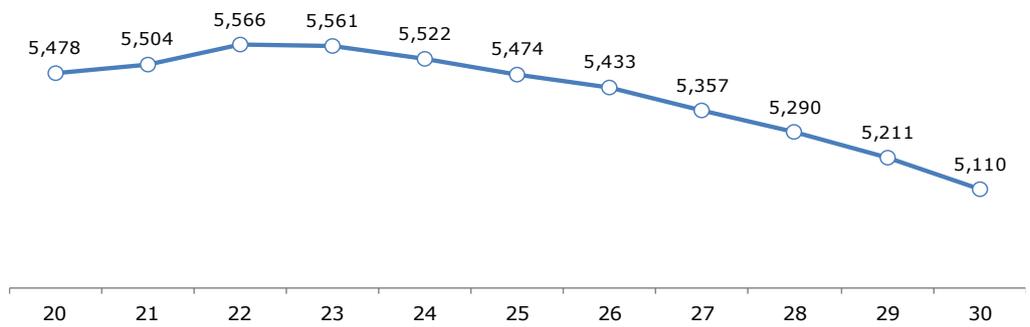
自尊感情の高まりと、確かな学びのある授業づくり

～生徒の自己実現を目指して～

⑤ 児童・生徒・園児数の推移

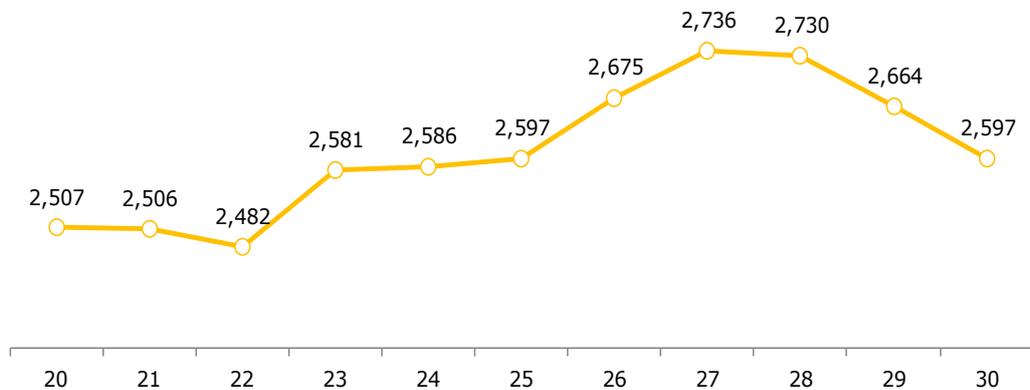
【小学校】

校名\年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
御殿場	948	928	954	949	923	954	938	926	961	987	1031
御殿場南	918	913	923	873	887	832	862	856	825	818	801
富士岡	545	526	514	529	555	570	564	582	605	603	580
神山	652	701	701	678	679	628	580	544	524	478	401
原里	651	664	691	740	732	723	699	662	634	587	588
玉穂	484	489	499	497	513	499	495	519	497	517	508
印野	123	132	131	137	127	126	132	134	130	123	126
高根	230	230	231	224	231	236	248	258	253	248	246
分校	20	18	14	20	23	23	17	13	20	15	10
朝日	461	470	466	488	457	468	461	431	417	409	413
東	446	433	442	426	395	415	437	432	424	426	406
合計	5,478	5,504	5,566	5,561	5,522	5,474	5,433	5,357	5,290	5,211	5,110



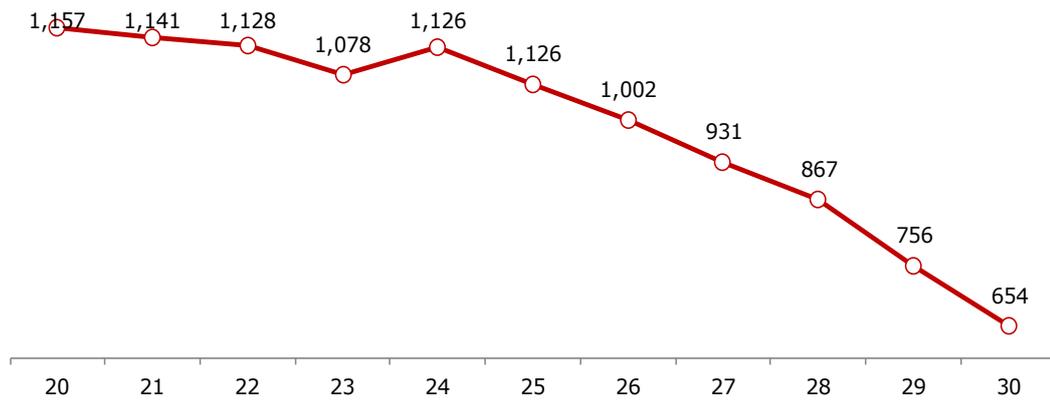
【中学校】

校名\年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
御殿場	622	610	623	643	658	627	639	624	662	643	632
富士岡	518	523	542	630	651	676	679	707	656	648	641
原里	401	432	416	413	395	407	466	508	515	506	457
西	316	306	287	272	285	282	305	291	287	267	278
高根	162	148	133	124	119	119	120	126	125	130	134
南	488	487	481	499	478	486	466	480	485	470	455
合計	2,507	2,506	2,482	2,581	2,586	2,597	2,675	2,736	2,730	2,664	2,597



【幼稚園】

園名\年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
御殿場	306	282	304	300	311	292	299	282	278	251	229
原里	191	183	173	171	182	177	145	119	106	77	74
原里西	47	50	51	45	50	44	43	53	41	36	26
玉穂	165	168	160	165	174	167	159	146	154	137	111
富士岡	171	173	160	146	137	125	118	120	98	84	61
森之腰	136	138	126	109	121	119	106	106	109	110	106
竈	45	51	56	48	55	53	57	49	37	34	34
神山	96	96	98	94	96	85	75	56	44	27	13
合計	1,157	1,141	1,128	1,078	1,126	1,062	1,002	931	867	756	654



⑥ 中学校卒業者の進路状況

【年度別卒業生進路状況一覧】

年度\区分	進学者						就職者 (その他含む)			卒業生総数		
	高等学校進学者			専修学校等進学者			男	女	計	男	女	計
	男	女	計	男	女	計						
18	432	434	866	0	1	1	6	4	10	438	439	877
19	416	398	814	2	0	2	15	7	22	433	405	838
20	425	381	806	0	1	1	8	4	12	433	386	819
21	453	398	851	0	0	0	8	7	15	461	405	866
22	393	391	784	0	0	0	8	5	13	401	396	797
23	443	397	840	1	0	1	3	11	14	447	408	855
24	436	407	843	1	1	2	6	3	9	443	411	854
25	440	390	830	1	0	1	6	4	10	447	394	841
26	437	421	858	0	1	1	11	2	13	448	424	872
27	455	414	869	0	0	0	7	4	11	462	418	880
28	467	449	916	0	1	1	1	4	5	468	454	922
29	469	433	902	0	0	0	1	8	9	470	441	911

【平成29年度学校別卒業生進路状況一覧】

学校\区分	高等学校進学者			専修学校等進学者			就職者(その他含む)			卒業生総数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
御殿場	106	110	216	0	0	0	0	2	2	106	112	218
富士岡	124	107	231	0	0	0	0	2	2	124	109	233
原里	92	85	177	0	0	0	0	0	0	92	85	177
西	47	35	82	0	0	0	0	2	2	47	37	84
高根	17	22	39	0	0	0	1	0	1	18	22	40
南	83	74	157	0	0	0	0	2	2	83	76	159
計	469	433	902	0	0	0	1	8	9	470	441	911

【平成29年度学校別卒業生進路状況一覧】

学校\区分	県公立高校等		県内私立高校		県外高校		高専		進学者総数		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
御殿場	76	76	24	32	2	2	4	0	106	110	216
富士岡	57	55	41	49	22	3	4	0	124	107	231
原里	53	54	37	30	1	1	1	0	92	85	177
西	35	25	11	7	1	3	0	0	47	35	82
高根	9	15	7	7	1	0	0	0	17	22	39
南	46	42	30	29	2	1	5	2	83	74	157
計	276	267	150	154	29	10	14	2	469	433	902

⑦ 日本スポーツ振興センター

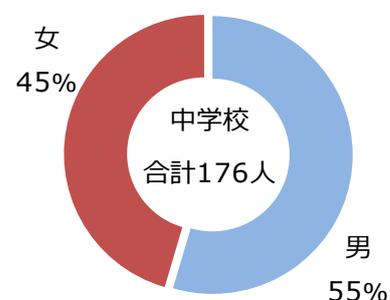
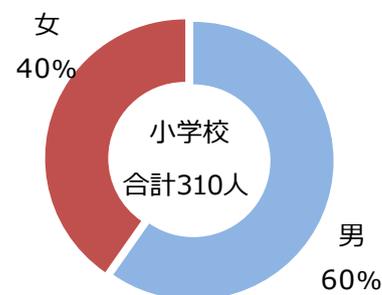
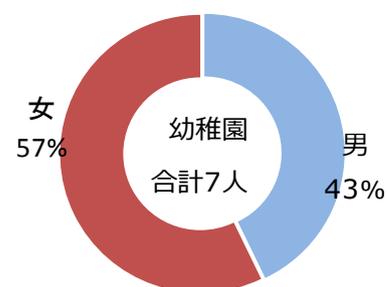
【平成29年度 月別災害発生状況】

(件)

校種\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
幼	1	0	3	1	0	0	0	0	1	1	0	0	7
小	20	36	34	17	8	38	39	38	20	17	23	20	310
中	17	13	16	20	13	23	16	14	10	13	10	11	176

【平成29年度 性別・学年別災害発生状況】

校種	学年	男	女	計
幼稚園	3歳	1	0	1
	4歳	1	0	1
	5歳	1	3	4
	6歳	0	1	1
	計	3	4	7
小学校	1年	22	17	39
	2年	28	22	50
	3年	26	21	47
	4年	33	26	59
	5年	35	21	56
	6年	41	18	59
計	185	125	310	
中学校	1年	26	23	49
	2年	47	35	82
	3年	23	22	45
計	96	80	176	
合計	284	209	493	



⑧ 育英奨学金

【育英奨学金貸与返還状況】

年度\区分	貸与金額 決算 (円)	当該年度新規採用者			当該年度奨学生数			返還状況	
		高校	専修	大学	高校	専修	大学	人員	金額 (円)
18	16,848,000	0	-	10	2	-	46	60	11,192,400
19	15,306,000	3	-	8	1	-	33	58	13,177,000
20	13,752,000	0	-	6	3	-	31	51	11,982,400
21	13,392,000	0	-	14	3	-	36	65	13,390,000
22	15,024,000	1	-	14	1	-	42	58	14,489,200
23	18,504,000	0	-	18	1	-	51	53	9,331,200
24	17,892,000	2	-	8	3	-	49	60	10,784,200
25	15,768,000	1	-	14	2	-	44	61	11,967,200
26	18,576,000	2	-	16	4	-	50	67	9,563,400
27	17,712,000	0	1	14	3	1	47	69	16,872,800
28	19,098,000	0	2	10	2	3	50	73	12,267,600
29	14,460,000	0	1	5	0	4	37	80	14,212,200

※専修学校は平成27年度より貸与対象となった

⑨ 平成 29 年度就学奨励援助

経済的理由により就学困難な児童・生徒の保護者に対して、学用品等の購入に要する経費の一部を援助費として支給している。また、特別支援学級への就学の特殊事情を鑑み、その就学に係る保護者の経済的負担を軽減し、さらに特別支援教育の振興に努めている。

種別	小学校		中学校		合計	
	人員 (人)	金額 (円)	人員 (人)	金額 (円)	人員 (人)	金額 (円)
要保護及び準要保護支給実績	262	17,005,622	175	20,651,160	437	37,656,782
学用品費・校外活動費等	262	3,546,000	175	5,581,823	437	9,127,823
新入学児童生徒学用品費	34	1,380,400	43	2,038,200	77	3,418,600
給食費	262	10,772,361	175	9,067,909	437	19,840,270
修学旅行費	42	1,179,361	43	3,709,028	85	4,888,389
医療費・眼鏡購入費	7	127,500	13	254,200	20	381,700
特別支援教育就学奨励費支給実績	86	2,850,772	28	1,455,728	114	4,306,500

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
小学校 (人)	184	197	207	231	223	262
割合	3.4%	3.6%	3.8%	4.3%	4.3%	5.1%
中学校 (人)	127	126	140	158	174	175
割合	4.9%	4.8%	5.2%	5.7%	6.5%	6.7%
合計 (人)	311	323	347	389	397	437
割合	3.9%	4.0%	4.3%	4.8%	5.0%	5.7%

⑩ 小・中学校の入学状況

年度	小学校入学者						中学校入学者					
	市内公立入学者数			私立入学者数			市内公立入学者数			私立入学者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
21	518	467	985	2	4	6	399	433	832	15	13	28
22	519	446	965	2	4	6	446	396	842	9	15	24
23	484	441	925	1	2	3	451	410	861	5	18	23
24	469	431	900	1	0	1	449	427	876	5	14	19
25	451	454	905	0	0	0	467	418	885	4	8	12
26	466	469	935	2	0	2	468	461	929	4	13	17
27	462	447	909	2	2	4	475	446	921	12	10	22
28	434	437	871	1	3	4	495	406	901	11	11	22
29	419	419	838	1	4	5	464	397	861	5	12	17
30	429	396	825	3	2	5	456	388	844	11	12	23

⑪ 施設の整備状況

【小学校】

学校名	建物面積 (㎡)						合計	校地面積 (㎡)			教室数			プール
	校舎			屋内運動場				運動場	校舎敷地 その他	合計	普通 教室	特別 教室	合計	
	木造	非木造	計	木造	非木造	計								
御殿場	0	8,785	8,785	0	(1,386)	(1,386)	(1,386) 8,785	15,238	9,257	24,495	31	16	47	25m×15m ※15m×10m
東	89	5,350	5,439	0	1,724	1,724	7,163	10,523	12,982	23,505	15	9	24	25m×13m ※10m×5.5m
御殿場南	16	6,573	6,589	0	1,225	1,225	7,814	10,246	11,526	21,772	28	10	38	25m×15m ※10m×6m
富士岡	101	5,785	5,886	0	938	938	6,824	10,329	8,961	19,290	22	10	32	25m×15m ※15m×10m
神山	40	4,441	4,481	(70)	(905)	(975)	(975) 5,186	9,664	7,341	17,005	18	8	26	25m×13m ※10m×6m
原里	50	8,057	8,107	0	1,346	1,346	9,453	11,185	13,088	24,273	22	18	40	25m×15m ※10m×6m
朝日	18	5,678	5,696	0	1,024	1,024	6,720	13,554	16,685	30,239	15	11	26	25m×15m ※10m×6m
玉穂	10	5,997	6,007	0	(1,922)	(1,922)	(1,922) 6,007	17,325	13,195	30,520	21	10	31	—
印野	0	4,498	4,498	0	(1,415)	(1,415)	(1,415) 4,498	8,216	10,639	18,855	7	9	16	25m×13m ※8m×5m
高根	0	4,916	4,916	0	1,345	1,345	6,261	11,676	9,763	21,439	14	10	24	25m×13m ※10m×10m
上小林 分校	0	375	375	0	0	0	375	1,871	1,088	2,959	2	1	3	※10m×4m
計	324	60,455	60,779	(70) 0	(5,628) 7,602	(5,698) 7,602	(5,698) 68,381	119,827	114,525	234,352	195	112	307	

注) () は地区体育館
注) ※は低学年用プール

【中学校】

学校名	建物面積 (㎡)							合計	校地面積 (㎡)			教室数			プール
	校舎			屋内運動場			格技室		運動場	校舎敷地 その他	合計	普通 教室	特別 教室	合計	
	木造	非木造	計	木造	非木造	計									
御殿場	33	6,783	6,816	0	2,187	2,187	356	9,359	17,693	11,400	29,093	22	15	37	—
南	0	5,389	5,389	0	2,260	2,260	231	7,880	15,809	13,904	29,713	16	13	29	—
富士岡	0	5,959	5,959	0	1,592	1,592	312	7,863	13,068	13,546	26,614	22	13	35	—
原里	17	5,376	5,393	0	1,798	1,798	342	7,533	12,517	14,732	27,249	17	14	31	—
西	75	6,294	6,369	0	1,798	1,798	301	8,468	11,985	25,903	37,888	11	14	25	—
高根	0	4,322	4,322	0	(1,726)	(1,726)	170	(1,726) 4,492	14,043	11,695	25,738	6	13	19	—
計	125	34,123	34,248	0	(1,726) 9,635	(1,726) 9,635	1,712	(1,726) 45,595	85,115	91,180	176,295	94	82	176	—

注) () は地区体育館

【幼稚園】

園名	建物面積 (㎡)						合計	園地面積 (㎡)			保育室数			プール
	園舎			屋内運動場				園庭	園舎敷地 その他	合計	保育室	遊戯室	合計	
	木造	非木造	計	木造	非木造	計								
御殿場	26	1,487	1,513	—	—	—	1,513	3,037	2,043	5,080	10	1	11	—
富士岡	20	813	833	—	—	—	833	1,639	2,655	4,294	6	1	7	—
竈	142	319	461	—	—	—	461	1,681	1,236	2,917	3	1	4	—
神山	26	525	551	—	—	—	551	1,310	1,693	3,003	3	1	4	—
原里	23	852	875	—	—	—	875	2,883	4,449	7,332	6	1	7	—
玉穂	0	860	860	—	—	—	860	2,747	4,337	7,084	6	1	7	—
原里西	20	584	604	—	—	—	604	2,297	2,653	4,950	3	1	4	—
森之腰	0	1,025	1,025	—	—	—	1,025	1,495	2,420	3,915	6	1	7	—
計	257	6,465	6,722	—	—	—	6,722	17,089	21,486	38,575	43	8	51	—

2 所管外学校等

【幼稚園】

園名	創立年月	所在地	電話	理事長 園長氏名	園児数（人）			教員数 （人）
					男	女	計	
聖マリア 幼稚園	昭和35年 4月	御殿場市新橋 1591番地	84-1215	梅村 昌弘 吉田 公美子	36	62	98	8
みなみ 幼稚園	昭和49年 4月	御殿場市萩原 1193番地の13	83-5373	山崎 元則	135	163	298	18

平成30年度学校基本調査より

【御殿場特別支援学校】

学校名	創立年月	所在地	電話	校長名	生徒数（人）			教員数 （人）	職員数 （人）	
					男	女	計			
静岡県立 御殿場 特別支援学校	平成12年 4月	御殿場市神山 1553番3	87-8200	秋山 弓	小	64	31	95	124	13
					中	35	22	57		
					高	47	22	69		
					計	146	75	221		

平成30年5月1日現在

【高等学校】

学校名	創立年月日	所在地	電話	校長名	学科	生徒数（人）			教員数 （人）	職員数 （人）
						男	女	計		
静岡県立 御殿場 高等学校	明治34年 12月7日	御殿場市 御殿場 192番地の1	82-0111	齊藤 篤	創造工学科 創造ビジネス科 生活創造デザイン科	294	271	565	61	8
静岡県立 御殿場南 高等学校	昭和38年 4月1日	御殿場市 新橋 1450番地	82-1272	有馬 祥哲	普通科	340	262	602	37	5
学校法人 東駿学園 御殿場西 高等学校	昭和42年 4月1日	御殿場市 茱萸沢 644番地の1	89-2466	菊池 基	普通科	487	279	766	63	12

平成30年5月1日現在

【各種学校】

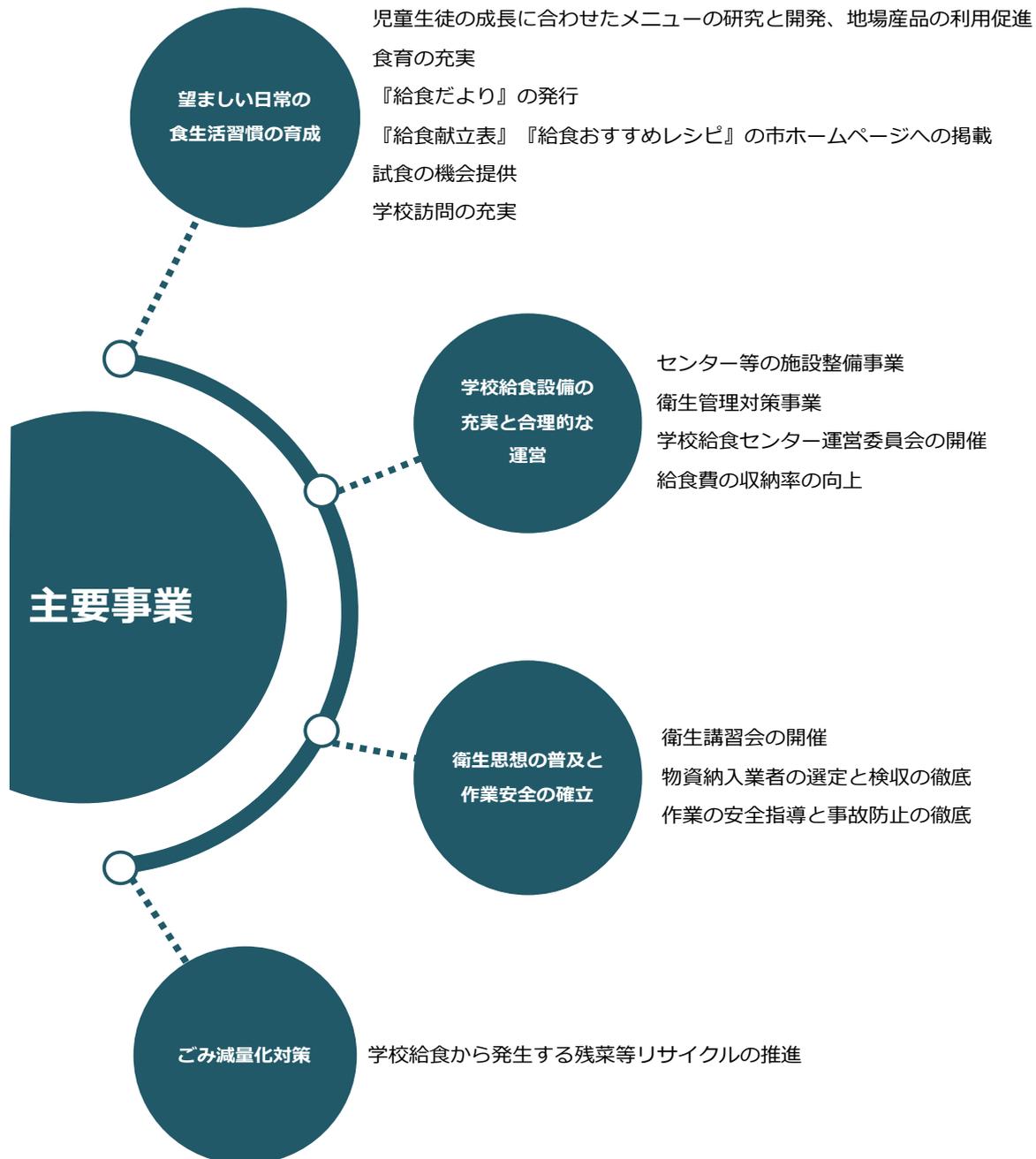
学校名	創立年月	所在地	電話	理事長 園長氏名	生徒数（人）			教員数 （人）
					男	女	計	
御殿場 看護学校	平成17年 4月	御殿場市 川島田 198番地の3	84-5200	齋藤 昌一	16	75	91	11

平成30年度学校基本調査より

学校給食

1 学校給食

① 主要事業



② 学校給食配食校変遷一覧表

年 月	西学校給食センター (第一学校給食センター)	第二学校給食センター	第三学校給食センター	南学校給食センター	高根学校給食センター	単 独 校
30~39						原里小 33年 御殿場南小 35年 御殿場小 30年 玉穂小 34年 富士岡小 31年 神山小 32年 高根小 39年 高根中 39年 印野小 34年 9校 (原里小、御殿場南小→第一へ) 7校
S45年11月	原里小(新) 御殿場南小(新) 養護学校(新)3校					
S46年4月	御殿場中(新) 原里中(新)5校					
S52年4月	南中(新) 6校					
S53年4月	上小林分校(新) 7校					
S54年10月	(御殿場中、御殿場南小、南中→第二へ)	御殿場南小 南中 御殿場中 御殿場小(新)4校				(御殿場小→第二へ) 6校
S55年5月	玉穂小(新) 西中(新) 富士岡中(新)7校					(玉穂小→第一へ) 5校
S56年4月	上小林分校 6校					上小林分校 (→高根小へ併設)
S58年3月	朝日小(新)6校 (富士岡中→第二へ)	富士岡中 5校 (富士岡中→第三へ)				
S61年4月			富士岡小(新) 神山小(新) 富士岡中 3校			(富士岡小、神山小→第三へ) 3校
S62年4月	(養護学校→第三へ)		養護学校 4校			
H 2年9月	改築竣工稼働					
H 3年4月	南中 6校	(南中→第一へ) 東小(新)4校				
H 6年4月		高根小(新) 高根中(新) 上小林分校(新)7校				(高根小、高根中、上小林分校→第二へ) 単独校 1校
H 7年4月		(高根小、高根中、上小林分校→高根へ)			高根小 上小林分校 高根中 3校	
H 8年4月	印野小(新)7校					(印野小→第一へ) 単独校 0校
H12年4月			(養護学校→県立へ)			
H22年8月	原里小 玉穂小 朝日小 印野小 原里中 西中 南中 7校	御殿場小 御殿場南小 東小 御殿場中 4校 H22年8月31日廃止	富士岡小 神山小 富士岡中 3校 H22年8月31日廃止			
H22年9月~	御殿場小 原里小 玉穂小 印野小 原里中 西中 6校			御殿場南小 東小 富士岡小 神山小 朝日小 御殿場中 南中 富士岡中 8校	高根小 上小林分校 高根中 3校	

※ 平成22年9月1日から南学校給食センターの稼働に伴い、第1学校給食センターを西学校給食センターに名称変更

③ 施設の概要

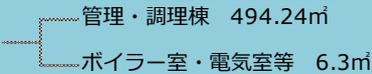
(1)西学校給食センター（平成30年4月1日現在）

所在地	御殿場市川島田1910番地の9			
敷地	4,530.32㎡			
建物面積	1,609.07㎡	<ul style="list-style-type: none"> 管理・調理棟 1,515.57㎡ ポンプ、ブローア、プロパン庫 35.00㎡ 生ごみ処理棟 58.50㎡ 		
構造	鉄骨造一部2階建（地下ピット鉄筋コンクリート造）			
工期	着工	平成元年8月5日		
	竣工	平成2年6月9日		
建設費	建築工事費	305,910,000円		
	厨房設備費	258,530,000円		
	その他	59,213,670円		
	計	623,653,670円		
給食開始	平成2年9月4日			
調理能力	4,500食			
配食校	6校（小学校4、中学校2）	107学級		
給食対象人員	2,988人			
職員数	23人 所長1、県栄養士2、主幹（給食統括）1、調理職員6、調理臨時職員等13			
配送の状況	方法	コンテナ（1コンテナ6学級分）		
	配送車	3台（委託）…1台は高根センターと兼務		
	配送時間	午前10時30分から正午まで		
	回収時間	午後1時から午後2時30分まで		
厨房設備	蒸気ボイラー	2,000kg/h 2基	冷蔵庫	3台
	蒸気回転釜	480ℓ 4基	貯湯槽	3,000ℓ 1基
	トラックイン式食缶消毒保管庫	3基	ガス回転釜	150ℓ 3基
	球根皮むき機	1台	器具消毒保管庫	8基
	連続式揚物機	1台	真空冷却機	2台
	スチームコンベクション	2台	さいの目切機	1台
	フードスライサー	2台	高速ミキサー	2台
	食缶洗浄機	1台	食器洗浄機	1台
	コンテナ洗浄機	1台	スプーン洗浄機	1台
	果物洗浄機	1台	コンテナ保管庫	
	コンテナ	28台	冷凍庫	3台
	冷蔵室	1室	包丁まな板殺菌保管庫	4台
	特 性	学校給食法に基づいた指導、集中管理により施設整備の近代化、労務、衛生、栄養調理技術の向上に努め、諸経費節約、合理化の推進を図る。		

(2)南学校給食センター（平成30年4月1日現在）

所在地	御殿場市電534番地の1		
敷地	7,388.08㎡		
建物面積	2,419.31㎡	管理・調理棟1階 1,962.05㎡ 管理・調理棟2階 457.26㎡ 駐輪場 8.82㎡ ゴミ置き場 3.35㎡	
構造	鉄骨造2階建		
工期	着工：平成21年9月1日 竣工：平成22年6月30日		
建設費	PFI事業費：1,867,035千円 内) 施設整備費：1,197,494千円 維持管理・運営費：496,271千円 その他：173,270千円		
給食開始	平成22年9月1日		
調理能力	5,000食		
配食校	8校（小学校5、中学校3）		151学級
給食対象人員	4,329人		
職員数	36人 課長（所長）1、管理スタッフ統括（副参事）1、主任1、県栄養士2、 主幹（給食統括）1、調理職員8、調理臨時職員等22		
配送の状況	方法：コンテナ（1コンテナ6学級分） 配送車：4台（委託） 配送時間：午前10時30分から正午まで 回収時間：午後1時から午後2時30分まで		
厨房設備	電気式連続フライヤー114.88kw 1台 スチームコンベクションオープン56kw 2台 コンテナ消毒保管庫27kw 19台 電気式食器消毒保管庫8.75kw 3台 電気式食器消毒保管庫13.5kw 2台 トラックイン電気式消毒保管庫54kw 3台 トラックイン電気式消毒保管庫27kw 4台 トラックイン電気式消毒保管庫13.5kw 2台 真空冷却機56kg/h 2.4kw 1台 蒸気回転釜76kg/h 310L 9台 IH調理器1.3kw 1台 IH調理器7.85kw 2台 コンテナ洗浄機169.65kw 食器トレー洗浄機100kg/h 63.2kw 1台 食缶洗浄機100kg/h 77.7kw 1台		
特性	学校給食法に基づいた指導、集中管理により施設整備の近代化、労務、衛生、栄養調理技術の向上に努め、諸経費節約、合理化の推進を図る。		

(3)高根学校給食センター（平成30年4月1日現在）

所在地	御殿場市塚原41番地の3			
敷地	815㎡			
建物面積	500.54㎡			
構造	鉄骨造平屋建（地下ピット鉄筋コンクリート造）			
工期	着工	平成6年3月30日		
	竣工	平成7年3月20日		
建設費	建築工事費	:	126,817千円	
	電気工事費	:	28,753千円	
	機械設備工事費	:	101,276千円	
	計	:	256,846千円	
給食開始	平成7年4月1日			
調理能力	1,000食			
配食校	3校（小学校2、中学校1）		20学級	
給食対象人員	390人			
職員数	9人	所長（西と兼務）1、主幹（給食統括）1、県栄養士1、調理職員2、調理臨時職員等4		
配送の状況	方法	コンテナ（1コンテナ6学級分）		
	配送車	1台（委託）…西学校給食センター兼務		
	配送時間	午前11時20分から午前11時45分まで		
	回収時間	午後1時45分から午後2時5分まで		
厨房設備	給湯ボイラー	1,170ℓ 1基	ガス回転釜	110ℓ 4基
	揚物機	1台	球根皮むき機	1台
	果物洗浄機	1台	食器消毒保管庫	3基
	真空冷却機	1台	フードスライサー	1台
	さいの目カッター	1台	焼物機	1台
	スプーン洗浄機	1台	蒸器	1台
	食器・食缶洗浄機	1台	超音波洗浄機	1台
	食缶消毒保管庫	2基	器具消毒保管庫	2基
	箸洗浄機		高速ミキサー	1台
	冷凍庫	1台	冷蔵庫	1台
	冷凍冷蔵庫	1台		
	特	性	学校給食法に基づいた指導、集中管理により施設整備の近代化、労務、衛生、栄養調理技術の向上に努め、諸経費節約、合理化の推進を図る。	

④ 学校給食の実施状況

平成 30 年 5 月 1 日現在

センター名	学校名	クラス数	対象人員	給食型
西学校給食センター	御殿場小学校	35	1031	完全
	原里小学校	21	588	〃
	玉穂小学校	19	508	〃
	印野小学校	7	126	〃
	原里中学校	15	457	〃
	西中学校	10	278	〃
	小計	107	2,988	
南学校給食センター	御殿場南小学校	30	801	完全
	東小学校	15	406	〃
	富士岡小学校	20	580	〃
	神山小学校	15	401	〃
	朝日小学校	15	413	〃
	御殿場中学校	20	632	〃
	南中学校	15	455	〃
	富士岡中学校	21	641	〃
小計	151	4,329		
高根学校給食センター	高根小学校	12	246	完全
	上小林分校	2	10	〃
	高根中学校	6	134	〃
小計	20	390		
合計		278	7,707	

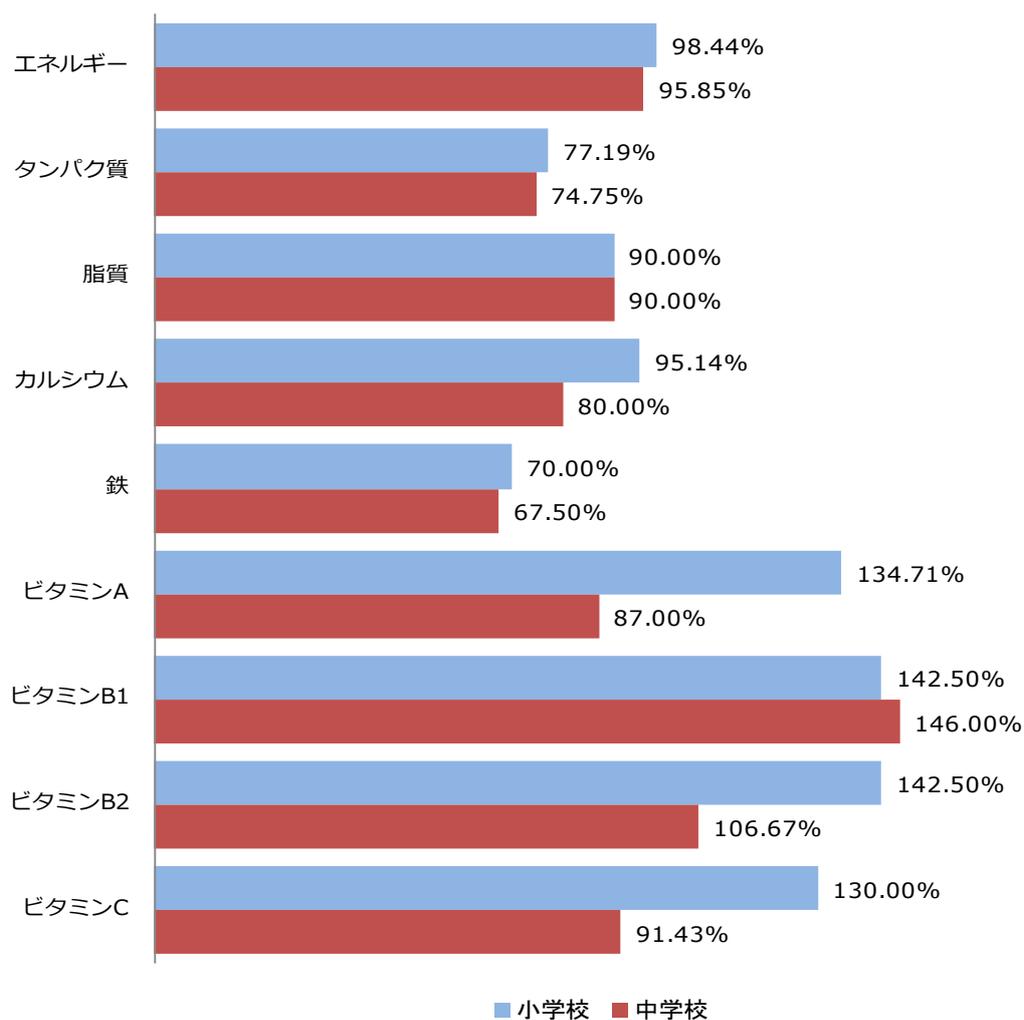
【給食費】 小学校：月額 4,300 円
 中学校：月額 5,200 円
 (11 ヶ月分徴収)

【人数】 小学校：5,110 人
 中学校：2,597 人

⑤ 児童・生徒一人当たり栄養摂取状況

区分	単位	小学校				中学校			
		規準量	摂取量			規準量	摂取量		
			5月	11月	年平均		5月	11月	年平均
エネルギー	Kcal	640	628	630	630	820	788	784	786
タンパク質	g	18~32	25.0	24.7	24.7	25~40	30.4	29.8	29.9
脂質	%	25~30	27	28	27	25~30	27	27	27
カルシウム	mg	350	346	326	333	450	377	351	360
鉄	mg	3	2.3	2.0	2.1	4	2.9	2.5	2.7
ビタミンA	μgRE	170	223	229	229	300	252	259	261
ビタミンB1	mg	0.4	0.54	0.56	0.57	0.5	0.70	0.72	0.73
ビタミンB2	ng	0.4	0.57	0.55	0.57	0.6	0.64	0.63	0.64
ビタミンC	mg	20	28	23	26	35	33	28	32

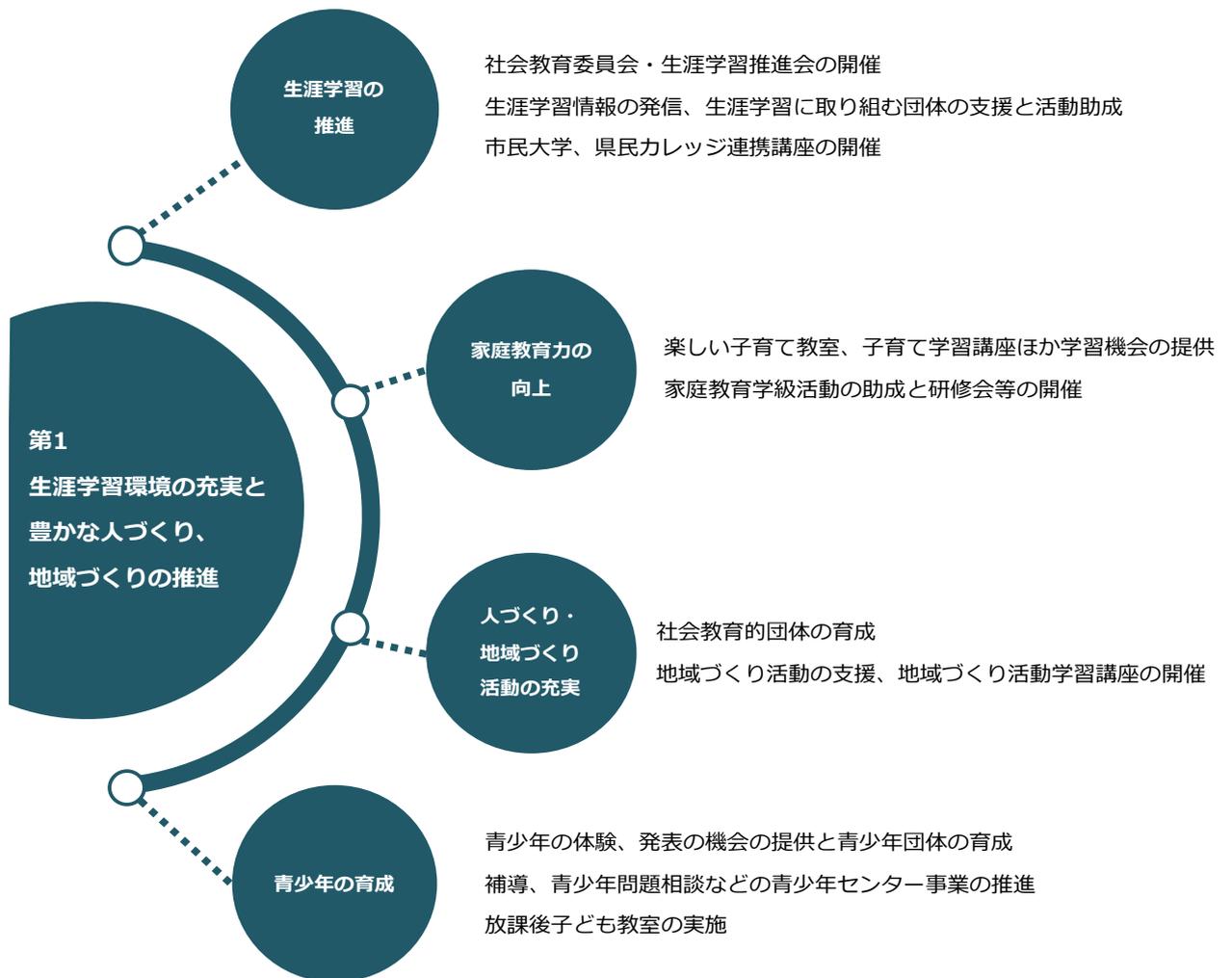
栄養充足率（年間平均）



社会教育

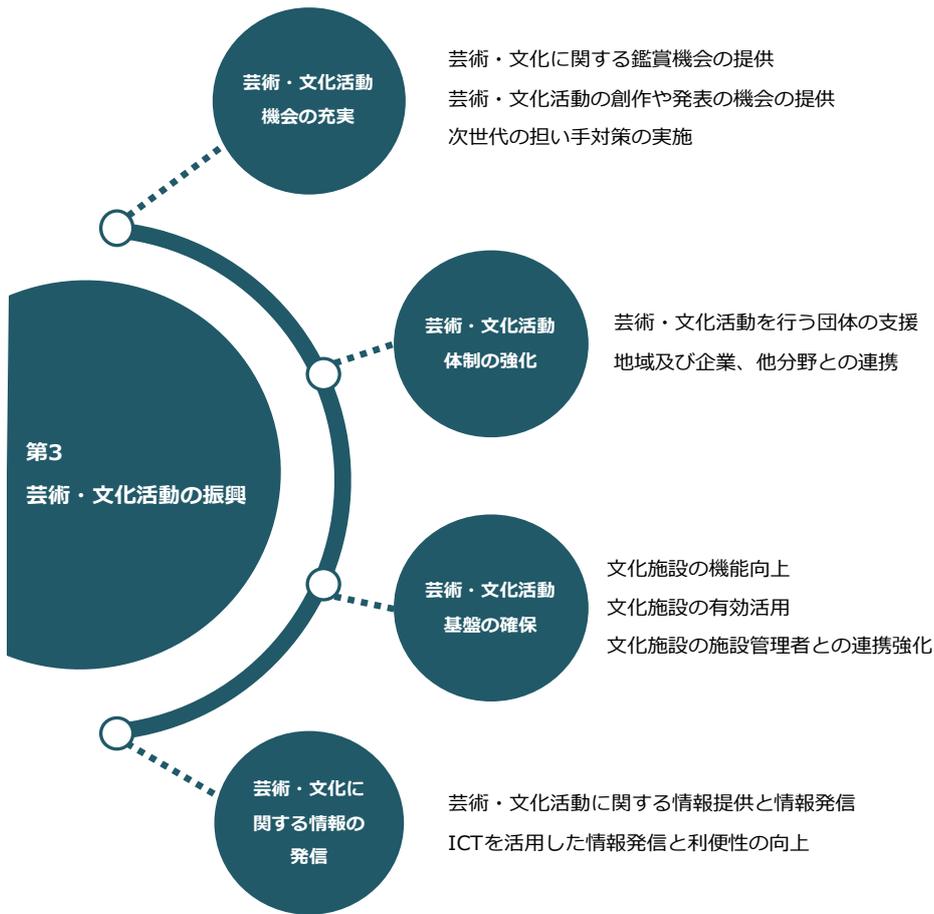
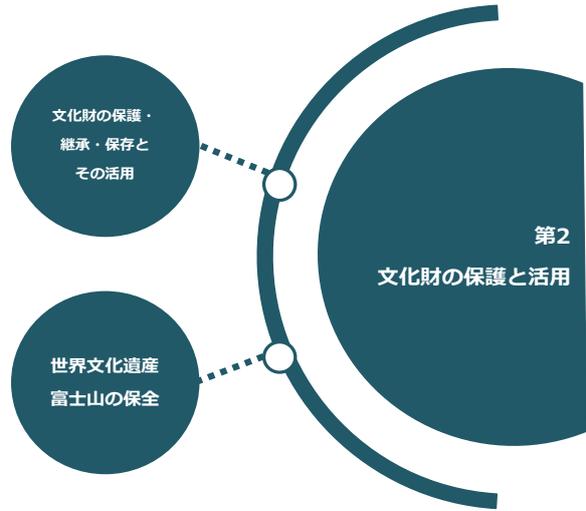
1 社会教育

① 主要事業



- ・文化財審議会の開催、指定文化財の保護・整備・活用、埋蔵文化財の発掘調査、出土品の保存、調査研究成果のまとめ（調査報告書等の発行）
- ・民俗資料の整理及び収蔵庫管理、富士山測候所関係資料の活用、阿部雲気流博物館資料の調査・活用
- ・郷土資料館の検討

- ・世界遺産富士山の保全を確固たるものにする活動・支援の充実



② 平成 30 年度事業一覧表

社会教育体制整備

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
社会教育委員会	豊かな人づくり地域づくりのための社会教育の施策を研究調査する。	4回		会議 研修	392
社会教育指導員の設置	社会教育の特定分野（相談・家庭教育・補導活動・団体育成など）について指導・支援にあたる。		年間	4人	5,208
社会教育担当者研修	社会教育担当者の資質向上を図る。		年間	研修 講習	-
社会教育調査	社会教育行政に必要な参考資料を整備し、調査体制を確立する。		年間		-

生涯学習推進の推進

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
生涯学習推進会等運営事業	推進会で生涯学習の推進を図る。生涯学習ボランティアセンターの育成。		年間	会議 研修	880
生涯学習啓発情報提供事業・学習相談事業	市民が生涯にわたり自主的に学習に取り組む気運を醸成するため、啓発活動を行う。		年間	みちしるべ 発行	-
みくりやの五×五（J'-J'-）活動事業	生涯学習の定着・みくりやの五×五活動の拡大を図るため、市内各機関団体への助成を行う。		年間	生涯学習 奨励事業	90
視聴覚器材の管理・運営	多くの市民が視聴覚器材（ビデオ・DVD等）を学習活動等に利用しやすいように整備管理する。		年間	管理	-
市民大学講座	教養を高め豊かな精神を養うために、生涯にわたって学ぶ心を育てる。	6回	9月 ～ 2月	講座	490

家庭教育力の向上

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
家庭教育学級活動の推進	家庭で果たすべき役割を明確にし、問題意識をもった家庭教育学級の開設の奨励と意識の高揚を図る。	24学級	年間	指導 助言	1,080
家庭教育学級の手引き発行 (ふじざくら)	家庭教育学級の記録を作成し学級振興の手引きとする。		6月	発行配布	129
家庭教育学級運営委員研修会	望ましい運営のあり方の研修を行うと同時に、学級間の連絡調整を目的とする。	7回	4月 ～ 1月	研修	-
楽しい子育て教室	幼児の教育を中心に学習を進め、家庭教育の一助とする。	12回	5月 ～ 12月	学習	561
子育て学習講座	小中学校の新入学児童生徒の保護者を対象に、その時期の子どもの特徴等を学習し家庭教育を見直す機会にする。	各校 1回	1月 ～ 2月	講座	60

人づくり・地域づくり

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
地域づくり活動学習講座	地域づくり活動の指導者、あるいは実践者としての幅広い学習活動を支援するための研修を行う。	3回 程度	年間	講義	60
地域づくり活動主事連絡会	地区公民館の主事の情報交換と、地域づくり活動を活発にするための研修活動を行う。		年間	座談研修	252
地域の文化・体育振興団体及び地域団体の育成	地域の文化・体育団体及び地域づくり関係団体の支援を行う。		年間	補助金 指導助言	69,471
女性団体育成	助成団体活動への指導助言と各種の研修会や大会への参加。		年間	指導 参加 助言	714

青少年の育成

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
青少年活動推進 委員活動	次代を担う青少年を育むために推進委員を置き、青少年健全育成のための活動等の支援を行う。 また、青年活動の活性化を図るための活動を実施する。	定例12回 ほか臨時	年間	会議 実践活動 支援活動	748
青少年チャレンジ体験 事業	青年スタッフの指導者としての資質向上を図り、また小学生に体験活動を通じ、出会った仲間と協力し合い一つのことをやりとげる体験をする機会を提供する。		8月	宿泊研修 ほか	800
青少年活動事業	青少年や青少年団体が資質の向上に努める研修会等の活動を支援する。		年間	研修会	122
青少年団体育成	青少年の健全育成を図るため、団体活動を支援する。		年間	指導 育成	341
わたしの主張 発表大会	小中学生が、日頃の生活の中で思っている事や体験したことなどについて、発表する場を設ける。	1回	6月	発表大会	28
成人式	新成人を祝い励まし、成人としての自覚と御殿場市民としての誇りを高める。	1回	1月	式典	655

青少年の対策

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
青少年問題協議会	青少年の指導、健全育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立に必要な事項を調査・審議する。	年2回		会議 調査	201
青少年センター運営懇話会等	青少年センター事業（補導・相談・環境浄化事業等）について総合的かつ効果的に推進できるように、運営に関し専門的意見を聴取する。	年1回		会議 研修	219
青少年相談事業	青少年や保護者から相談を受け助言等を行う。		年間	電話 ・面接 ・相談	47
補導事業	学区・学校・PTA等から推薦された補導委員により不良行為等の早期発見と青少年への声掛けを行い、非行防止・事故防止を図る。		年間	街頭・一斉 校区・ センター補導	932
環境浄化事業	青少年のための良好な環境づくりのため、地域や事業所の協力のもとパトロール・立入調査等を実施する。		年間	立入調査 パトロール	-
放課後子ども教室推進事業	放課後等の子どもの安全・安心な居場所づくりのため、運営委員会を設置、放課後子ども教室を実施する。		年間	会議調査 教室実施	3,486
青少年のための科学の祭典 富士山大会inごてんば	青少年に実験や工作を通して科学の面白さ、不思議さを体験してもらい科学への興味を高める。		11月	体験事業	2,200
健全育成啓発活動	青少年健全育成のための啓発活動を推進し、家庭や地域等での教育機能を高める。		年間	キャンペーン 広報掲載	10
青少年健全育成会 連絡協議会	市内6地区の青少年健全育成組織が相互に連絡調整を図り、青少年の健全育成活動を全市的に展開する。		年間	会議研修 共催事業	166
市PTA連合会事業 補助金	PTA活動の支援及び育成を図る。		年間	活動費助成	145

文化財の保護と活用

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
文化財審議会	文化財に対する調査研究及び審議を すると共に、委員の資質向上を図 る。神社棟札調査を実施する。	5回	年間	会議 調査	405
埋蔵文化財調査	埋蔵文化財包蔵地等の確認調査及び 本発掘調査を必要により実施。		随時	調査	154
神社棟札調査	市内各地区を順に調査し、神社や村 の歴史を記した棟札を調査し、報告 書を作成。		年間	調査	-
文化財の保護と活用	指定及び国登録文化財（国5・県9・市 13・国登録2・国選択1）の保存公開・ 啓発活動並びに賞賜金の交付。市教 育委員会所蔵資料等の保存公開。		年間	保存 管理	1,677
民俗資料収蔵庫 管理・運営事業	民俗資料収蔵庫の管理及び資料整理 委託。隔年で燻蒸作業を実施。		年間	保存 管理	1,342
世界遺産富士山の 保全	保全のための活動、支援事業 登録5周年記念展の開催		年間	調査ほか	241
印野の熔岩隧道 (丸尾苑) 管理事業	丸尾苑の維持管理業務委託など		年間	保全整備 管理	757

芸術・文化活動の振興

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
市民芸術祭	市民の芸術・文化に対する意識を高めることを目的に、ステージ部門9部門、展示部門10部門、その他7部門において、ごてんば市民芸術祭を開催する。	26部門	年間	発表 展示 その他	1,700
文化芸術賞賜金	次世代の担い手である高校生世代の芸術・文化活動の振興を図るため、全国大会に出場した生徒に賞賜金を交付する。		年間	賞賜金	140
文化団体補助事業	自由で自発的な芸術・文化の振興と、芸術・文化活動のすそ野の拡大を図るため、文化協会への補助・助言等を行う。		年間	補助 助言	1,866
富士山の麓で歌う 第九演奏会事業	一般公募した市民による合唱団を結成し、市内で活躍するオーケストラの演奏による第九演奏会を開催する。		12月	演奏会	2,500
市民会館施設指定管理 事業	御殿場市民会館の管理・運営に御殿場総合サービスグループを指定管理者とし、施設の効率的な利用を促進する。		年間	指定管理	111,031
東山旧岸邸指定管理 事業	東山旧岸邸の管理・運営に株式会社虎玄を指定管理者とし、施設の効率的な利用を促進する。		年間	指定管理	24,720

指定管理施設の概要

①御殿場市民会館

所在地	御殿場市萩原183-1 TEL:0550-83-8000 FAX:0550-83-8003
敷地面積	18,027㎡
建築面積	4,283㎡ ホール棟：3,567㎡ / 会議棟：716㎡
建物の構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 ホール棟：地下1階・地上5階 / 会議棟：地下1階・地上3階
延床面積	7,795㎡ ホール棟：5,478㎡ / 会議棟：2,317㎡
着工	ホール棟：昭和51年1月12日 / 会議棟：昭和52年10月1日
竣工	ホール棟：昭和52年3月20日 / 会議棟：昭和53年3月25日
指定管理者	御殿場総合サービスグループ
平成29年度の利用状況	入館者 計166,079人 大ホール：48,937人 小ホール：35,788人 会議棟：81,354人

②東山旧岸邸

所在地	御殿場市東山1082-1 TEL:0550-83-0747 FAX:0550-83-0778
設計	吉田 五十八
施工	水澤工務店
敷地面積	5,669.17㎡
建物の構造	本館 木造及び一部RC 地上2階 展示研修棟 木造平屋建て
延床面積	本館 567.66㎡ (1階406.17㎡ / 2階161.49㎡) 展示研修棟 207.53㎡
指定管理者	株式会社 虎玄
平成29年度の利用状況	入館者 27,082人

③ 文化財・史跡

国指定

指定区分	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
天然記念物	駒門風穴	T11.3.8	駒門	駒門風穴保存会
天然記念物	印野の熔岩隧道	S2.4.8	印野(古印野) 印野(丸尾)	(一社) 印野郷土振興協会 御殿場市
特別名勝	富士山	S27.11.22	富士山	
史跡	富士山	H23.2.7	富士山	御殿場市(管理団体)
重要文化財	手焙形土器	S48.6.6	市役所	御殿場市

県指定

指定区分	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
天然記念物	二枚橋の柏	S32.12.25	二枚橋	個人
史跡	深沢城跡	S35.2.23	深沢	御殿場市 (管理団体)
天然記念物	永塚の大スギ	S35.2.23	永塚	永塚浅間神社
工芸品	刀銘(葵文) 主水正藤原正清	S37.6.15	新橋	個人
天然記念物	宝永のスギ	S38.2.19	柴怒田	子之神社
天然記念物	川柳浅間神社のスギ	S38.12.27	川柳	川柳浅間神社
天然記念物	東山のサイカチ	S40.3.19	東山	御殿場市
工芸品	刀銘備州長船家重	S41.3.22	神場	個人
無形民俗文化財	沼田の湯立神楽	S42.10.11	沼田	沼田の湯立神楽 保存会

市指定

指定区分	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
工芸品	善龍寺の喚鐘	S47.9.11	中畑	善龍寺
工芸品	二岡神社の灯籠	S47.9.11	二の岡	二岡神社
無形民俗文化財	鮎沢の祈祷三番	S48.12.24	鮎沢	鮎沢の祈祷三番 保存会
天然記念物	永塚のカシワ	S55.5.27	永塚	個人
天然記念物	駒門の大公孫樹	S55.5.27	駒門	駒門浅間神社
天然記念物	二岡神社の社叢	S62.3.3	二の岡	二岡神社
天然記念物	神山のタブノキ	H2.12.1	神山	個人
工芸品	光真寺の三十三体仏	H5.1.5	印野	印野区
建造物	林氏の長屋門	H5.1.5	上小林	個人
天然記念物	印野内山のヒノキ	H6.2.1	印野	小木原区
建造物	旧石田家住宅	H11.3.18	印野	御殿場市（農政課）
建造物	旧秩父宮御殿場御別邸	H12.3.27	東山 二の岡	御殿場市（公園緑地課）
工芸品	久成寺の鰐口	H12.8.1	清後	久成寺

国登録

指定区分	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
建造物	神山復生病院事務所棟	H18.3.2	神山	一般財団法人神山復生会 神山復生病院
建造物	富士カントリー倶楽部 クラブハウス	H24.2.23	東山	株式会社 富士カントリー倶楽部

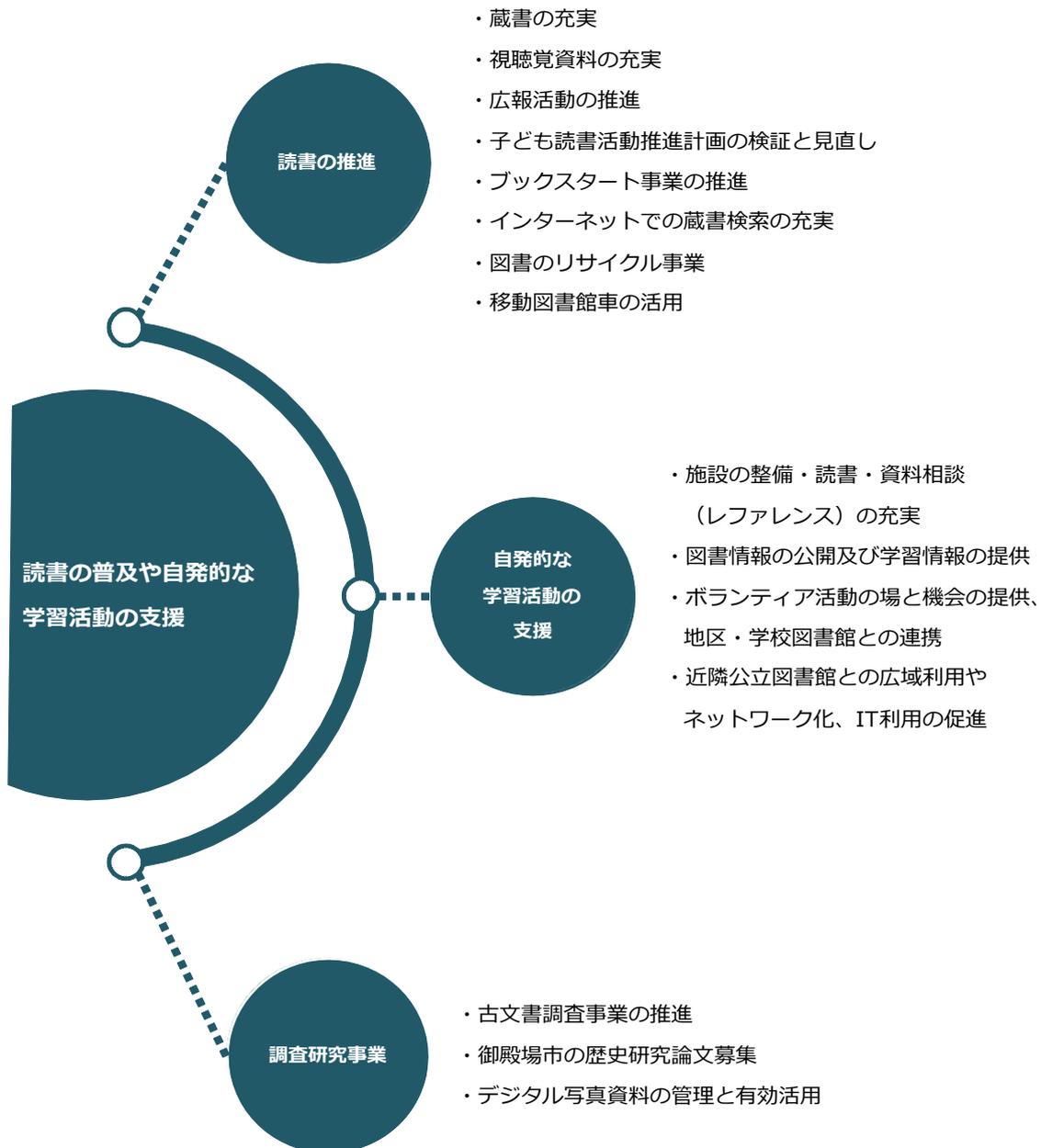
国選択

指定区分	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
無形民俗文化財	沼田の湯立神楽	H19.3.7	沼田	沼田の湯立神楽 保存会

2 図書館

あらゆる種類の知識や情報を利用者が入手できるよう「図書館の自由に関する宣言」と「ユネスコ公共図書館宣言 1994」を尊重し、主要事業を進めていきます

① 主要事業



② 平成 30 年度事業一覧表

事業名	内容	予算 (千円)
読書推進及び利用の充実	<p>図書の企画展示開催等、様々な機会をとらえて読書に親しむよう PR する。特に 5 月のこども読書週間と 11 月の読書推進月間中は特別に PR する。</p> <p>また、健康福祉部等と連携し、親子読書普及事業を推進する。図書の広域利用を近隣他市町と協力し推進する。</p>	
社会教育指導員の設置	<p>社会教育の特定分野（中学生ボランティア・地方史研究等）について指導・支援にあたる。</p>	1,302
ブックスタート事業	<p>子育て支援、子どもの読書推進活動の一環として、保健センターの 6 か月児健診の受診者に絵本等を提供し、親子のふれあいと絵本へ親しみを深める。</p>	1,059
子ども読書活動推進計画事業	<p>「御殿場市子ども読書活動推進計画」の更新を行うとともに、各推進事業を実施する。</p>	80
親子おはなしの会	<p>幼児とその親を対象に絵本の読み聞かせ・紙芝居などを行い、本の楽しさを伝え、親子の読書週間を培う。</p>	
文学講座	<p>文学を学ぶことにより、広く文化への理解を深め、より高度な学習や読書へ誘う。近代文学講座を開催。</p>	40
文学散歩	<p>文学作品に関する文学碑、史跡、資料館などを探訪する。</p>	81
地方史研究の審査・表彰	<p>図書館で収集した郷土資料等を活用し、御殿場市の歴史を調査研究した論文を募集・審査し、佳作以上の作品を「地方史研究」に掲載し発表する。</p> <p>審査員は横浜国立大学名誉教授の松元宏先生。</p>	182
統計グラフ教室	<p>夏休み宿題相談コーナーの一環として、小学生が統計グラフのテーマの選択や資料収集の仕方、グラフの書き方などを学ぶ。</p>	20
夏休み宿題相談コーナー	<p>レファレンス業務の一環として、小中学生の宿題や総合的学習の相談にのり、適切な資料を紹介し援助する。</p>	
図書館資料等のリサイクル	<p>除籍資料や市民からリサイクルを依頼された資料を希望者に無料で提供する。図書館まつりや生活フェアにもリサイクルブックスコーナーを設けて参加。</p>	

事業名	内容	予算(千円)
中高生ボランティア 及び体験学習	中高生が図書館業務を体験することにより、図書館サービスの理解を深める。	
(※) 図書館ボランティアの会	図書館で子どもを対象に「おはなし広場」を開催し、絵本等の読み聞かせを行っている。 また、ブックスタート事業の運営に全面的に協力している。	150
(※) くろつぐみの会	視覚障害者に対する奉仕活動として、広報ごてんば・市議会だよりや図書の録音 CD 作成のほか、対面朗読も行っている。	50
(※) 古文書を読む会	御殿場市内に所在する古文書を整理・解読し地域の歴史を学び、その研究成果を発表する。	

(※)図書館関係団体による自主運営事業

③ 施設の概要

(1)本館

所在地	御殿場市萩原 580 番地の 2 TEL:82-0391 FAX:82-0382		
敷地面積	7,718.81 m ²		
建物面積	1,901.38 m ²		
建物の構造	鉄筋コンクリート（一部鉄骨造） 2 階建		
延床面積	2,382.86 m ² 1 階:1,829.92 m ² 2 階:518.63 m ² 3 階:34.31 m ²		
着工	昭和 55 年 9 月 14 日		
竣工	昭和 56 年 8 月 31 日		

(2)富士岡地区図書館

所在地	御殿場市中山 435 番地の 1（市役所富士岡支所内） TEL:87-0976 FAX:87-0977		
床面積	42.12 m ²		

(3)移動図書館

名称	移動図書館車ライオンズ号			
車両の概要	車幅 216cm	車高 267cm	車長 618cm	排気量 4,000cc
積載冊数	約 3,600 冊			
巡回場所	市内 40 箇所（2 週間毎に巡回）			

(4)図書館の歩み

市立図書館は、市民の献本運動による寄贈図書をもとにして、昭和 45 年 11 月 10 日に社会教育会館（現在の保健センター所在地）の一部を改造し開館した。

蔵書の増加等により施設が手狭になり、老朽化もあって、昭和 56 年 11 月 3 日に新館を現在地に開館し、市民の資料・情報の場として幅広い分野の資料を収集し、サービスに努めている。富士岡地区図書館は、昭和 62 年 7 月より図書館サービスを開始した。

平成 12 年に視聴覚資料の館内視聴と貸出サービスを開始。平成 13 年に成人書架を増設し、蔵書能力の向上と資料を探しやすい・使いやすい図書館を目指した。

平成 19 年 3 月に「子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもたちの読書の機会の増加に努めている。

移動図書館車による巡回サービスは、昭和 46 年 4 月 26 日に開始し、図書館の全域サービスを図ってきた。現在の移動図書館車は 5 台目、平成 23 年 12 月に更新し、市内 40 箇所を 2 週間かけて巡回している。

④ 所蔵資料

(1) 図書		(2) その他の資料	
種類	所蔵冊数	種類	点数
(a)一般図書	183,664	雑誌	133種
0総記	9,465	新聞	20紙
1哲学	7,735	CD	1063枚
2歴史	18,771	ビデオテープ	22巻
3社会科学	27,735	カセットテープ	1巻
4自然科学	11,559	DVD	1152本
5工学	8,070	点字図書	113タイトル
(59)家事	5,945	視覚障害者用録音図書	229タイトル
6産業	5,071		1,224巻
7芸術	15,112		
8言語	3,611		
9文学	70,590		
(b)児童図書	65,811		
児童図書	39,442		
絵本	24,810		
紙芝居	1,559		
(c)郷土資料	22,272		
(d)外国語図書	1,456		
合計(a)+(b)+(c)+(d)	273,203		

平成30年3月末現在

⑤ 平成 29 年度の利用状況

(1) 利用者数・貸出冊数

区分	開館日数	入館者	利用者
本館	344	258,600	97,449
地区図書館	229	-	3,028
移動図書館	195	-	2,742
合計		258,600	103,219

区分	貸出冊数 (冊)					計
	一般図書等	児童図書	外国語図書	雑誌	視聴覚	
本館	229,993	233,659	421	18,391	9,799	492,263
地区図書館	4,135	8,968	2	700	1	13,806
移動図書館	3,607	14,920	0	757	0	19,284
合計	237,735	257,547	423	19,848	9,800	525,353

(2) 貸出冊数の資料種別の比率

(%)

区分	一般図書等	児童図書	外国語図書	雑誌	視聴覚	計
本館	46.72	47.47	0.08	3.74	1.99	100
地区図書館	29.95	64.96	0.02	5.07	0	100
移動図書館	18.70	77.37	0	3.93	0	100
合計	45.25	49.02	0.08	3.78	1.87	100

(3) 1日平均入館者・利用者・貸出冊数

区分	入館者(人)	利用者(人)	貸出冊数(冊)
本館	752	283	1,431
地区図書館	-	13	60
移動図書館	-	14	99

(4) 年代別登録者数及び比率

区分	登録者数(人)	比率(%)
0～12歳	4,276	9.0
13～15歳	2,137	4.5
16～18歳	2,253	4.7
19～29歳	7,846	16.4
30～39歳	8,022	16.8
40～49歳	9,480	19.9
50～59歳	5,667	11.9
60歳以上	8,037	16.8
合計	47,718	100.0

(5) その他の利用者統計

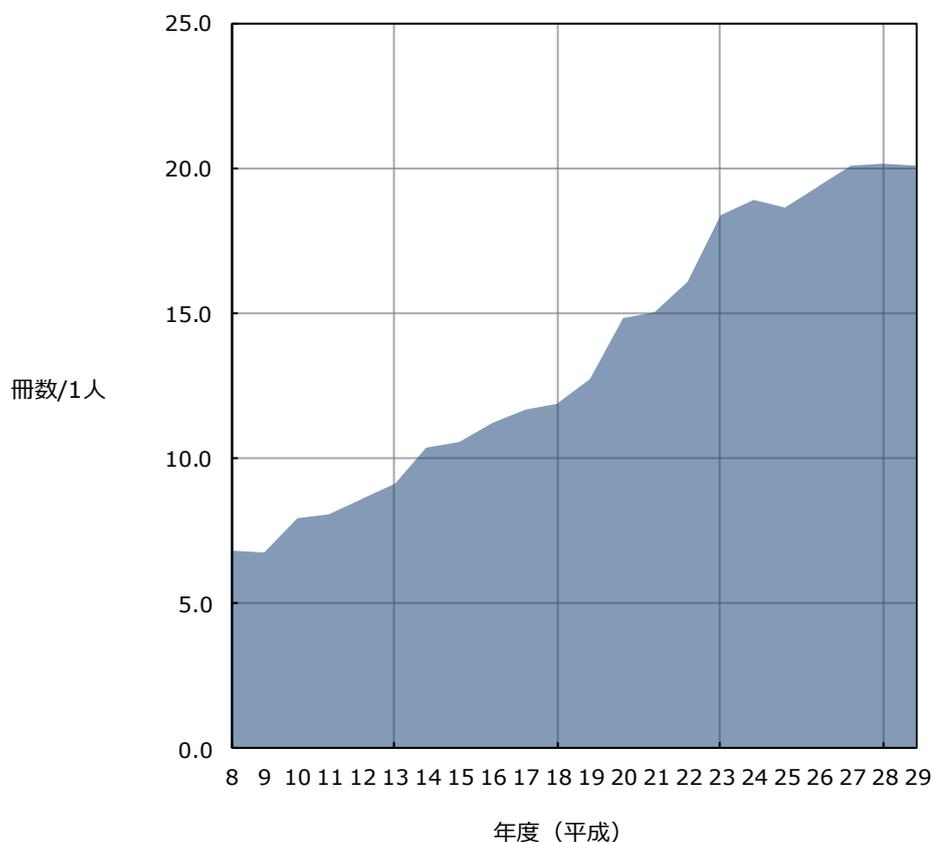
事業名称	利用実績等	実施月日	参加人数
親子おはなしの会	32回開催	毎月第2・4水曜日他	550人
おはなし広場	52回開催	毎週土曜日	845人
文学散歩	伊豆市方面へ	5月26日	31人
近代文学講座	講師 菊地 治彦 氏 現代文無責任講座 「韻文を勉強してみよう！」	2月3日	13人
		2月10日	
		2月17日	
		2月24日	
統計グラフ教室	講師 (小学生対象)		
	和久田 朋希 氏 杉村 美和子 氏	7月22日	21人
図書館まつり	パネル展、おはなし会、手作り絵本教室、児童図書のリサイクル等	11月3日	1,760人
複写サービス	受付件数 800件/4,121枚	年間	-
予約・リクエスト件数	受付件数 10,290件	年間	-
レファレンス質問 受付件数	受付件数 6,940件 (対面6,379件・電話561件)	年間	-
視聴覚コーナー利用件数	受付件数629件	年間	-
リサイクルブックステーション回数と実績	16回開催/提供冊数7,093冊	毎月第3日曜日外	-
視覚障害者用朗読テープ作成	広報ごてんば、市議会だより外 (録音テープ作成)	年間	23人 (提供者)
ブックスタート	24回 (6か月健診時に実施)	毎月第1・3水曜日	750組

(6) 他図書館との相互貸借利用冊数

区分	国立国会 図書館	県立中央 図書館	他市町村 図書館	大学・専門 図書館	キャンブ富士 図書館	合計
借受冊数	1	56	702	0	0	759
貸出冊数	0	1	654	0	0	655
合計	1	57	1,356	0	0	1,414

(7) 児童書貸出冊数の年次推移

年度 (平成)	児童図書 貸出冊数	0-14歳人口 (10月1日時点)	冊数/1人
8	98,054	14,345	6.8
9	95,392	14,106	6.8
10	109,862	13,867	7.9
11	109,960	13,628	8.1
12	115,210	13,388	8.6
13	122,605	13,438	9.1
14	140,072	13,488	10.4
15	143,121	13,538	10.6
16	151,935	13,588	11.2
17	159,049	13,640	11.7
18	161,903	13,665	11.8
19	174,448	13,689	12.7
20	203,550	13,714	14.8
21	206,021	13,738	15.0
22	221,207	13,763	16.1
23	251,224	13,670	18.4
24	256,587	13,576	18.9
25	250,984	13,483	18.6
26	259,132	13,389	19.4
27	266,587	13,296	20.1
28	263,008	13,078	20.1
29	257,547	12,816	20.1



資料

1 事業年譜

昭和 29 年度		32.	4.1	高根小学校に特殊学級を設置
30.	2.11		5.10	玉穂幼稚園開園
	2.11		5.22	富士岡小学校給食室竣工
	2.		6.22	玉穂幼稚園園舎竣工
	2.		9.11	古沢地区編入により地区小・中学生は高根小学校に入学する
	3.13		9.20	市の紋章制定される
昭和 30 年度			9.27	全国一斉学力調査を実施
30.	4.1		11.28	美乃和、西田中、二の岡公民館竣工
	4.16		12.25	二枚橋のカシワ、県指定天然記念物となる
	5.5		33.	1.22 神山小学校給食室竣工
	6.20			2.11 新学制発足 10 周年記念講演開催 原田三夫氏「人工衛星と宇宙旅行」
	7.14		昭和 33 年度	
	8.27		33.	6.18 御殿場市文化団体連絡協議会発足
	9.5			6.30 市立青少年会館増築竣工（永原剥離病舎移築）
	10.10			9.16 原里小学校給食室竣工
	10.17			10.1 教職員勤務評定実施
	12.			10.1 学習指導要領全面改訂
31.	1.1			11.3 第 1 回市民文化祭開催
	2.			12.15 御殿場南小学校（新設）工程整地工事完了
	2.12		34.	3.3 神山小学校増築校舎竣工
	3.31			3.10 深沢城跡に乃木希典の碑建立
昭和 31 年度				3.31 文化財のしおり第 1 集「御殿場古代文化」刊行
31.	4.1		昭和 34 年度	
	4.		34.	4.1 御殿場南小学校開校
	5.24			4.14 富士岡幼稚園、同竈分園、同神山分園開園
	10.1			5.26 富士岡中学校長高杉博学校葬執行
	10.1			5.30 御殿場南小学校第 1 期工事竣工
	10.13			5.31 印野小学校給食室竣工
	10.13			6.8 玉穂小学校給食室竣工
32.	1.11			
	1.31			
昭和 32 年度				

6.9	御殿場南小学校 1 年生、5 年生入校			うける
8.31	市立青少年会館増築工事竣工		12.24	原里中学校増築校舎竣工
9.19	国立中央青年の家開所式	37.	2.18	川島田公民館竣工
12.18	アメリカ合衆国チェンバースバーグ市との都市提携の件、市議会で議決		3.6	御殿場幼稚園県幼稚園研究会東部支部指定研究会発表
35. 2.23	永塚の大スギ県指定天然記念物となる		3.20	中畑南公民館竣工
2.23	深沢城跡県指定史跡となる		3.31	文化財のしおり第 3 集「御殿場市の名所史跡案内」刊行
3.26	高根中学校改築校舎竣工		3.31	神山小学校駿河分校を休校する
3.30	御殿場南小学校第 2 期工事竣工	昭和 37 年度		
3.30	文化財のしおり第 2 集「御殿場の道祖神」刊行	37.	4.1	高根小学校特殊学級を御殿場小中学校特殊学級（御殿場学園）に統合する
昭和 35 年度				
35. 4.1	私立聖マリア幼稚園開園		6.15	刀銘（葵紋）主水正藤原正清 県指定（工芸）文化財となる
5.1	御殿場小・中学校に特殊学級設置		6.23	御殿場市子ども会連合会発足
5.25	御殿場南小学校給食室竣工		8.3	滝ヶ原でアジアジャンボリー開催（8 日まで）皇太子、同妃殿下御臨席
7.16	原里中学校技術科室竣工		11.13	印野中央公民館竣工
7.25	御殿場市歌制定		12.26	鈴木県教育長御殿場南高等学校敷地及び御殿場学園視察
8.22	市制施行 5 周年式典並びにアメリカ合衆国チェンバースバーグ市と都市連携祝典挙行	38.	2.1	板妻区立幼稚園竣工
8.31	森之腰公民館竣工		2.15	宝永のスギ県指定天然記念物となる
10.1	教育長勝又秀丸再任		3.15	文化財のしおり第 4 集「富士宝永の噴火と長坂遺跡」刊行
10.18	校舎を新設し特殊学級（御殿場学園）開園 秩父宮妃御臨席		3.29	富士岡幼稚園舎竣工
10.31	原里小学校用務員住宅竣工	昭和 38 年度		
10.31	ぐみ沢上公民館竣工	38.	4.1	市立養護学校認可、開校
11.6	原里中学校県教委指定技術家庭教育研究発表会開催		4.1	県立御殿場南高等学校開校
36. 1.20	永塚公民館竣工		4.14	市立養護学校開校式挙行
1.31	川柳公民館竣工		5.14	御殿場南小学校屋内運動場竣工
昭和 36 年度				
36. 4.1	玉穂中学校と印野中学校を統合して市立西中学校開校		8.13	御殿場小学校 3 号校舎竣工
5.26	御殿場中学校増築校舎竣工		9.1	ボーイスカウト御殿場小山地区発足
6.18	ボーイスカウト御殿場 1・2 団発足		9.18	湯沢公民館竣工
7.20	県立御殿場南高等学校（新設）敷地まとまる		10.2	玉穂小学校 70 周年記念式典挙行
9.30	富士岡中学校増築工事竣工		10.3	原里小学校貯金率優良校として文部大臣表彰をうける
10.1	原里小学校給食施設優良校につき文部大臣表彰をうける		11.1	市立養護学校マイクロバスによる送迎を始める
12.12	西中学校の敷地決定		11.15	市立養護学校校舎落成式挙行
12.14	原里小学校給食優良校につき県教育長表彰をうける		12.27	川柳浅間神社のスギ、県指定天然記念物となる
12.22	原里中学校子ども銀行大蔵大臣表彰を	39.	2.1	神山小学校創立 10 周年記念式典挙行
			2.10	印野本村公民館竣工
			3.20	文化財のしおり第 5 集「御殿場の文化

		財」刊行		3.22	刀銘備州長船家重、県指定文化財（工芸）となる
	3.28	ガールスカウト集 33・34 団発足			
昭和 39 年度			昭和 41 年度		
39.	4.1	板妻区幼稚園を市に移管し、原里西幼稚園として発足	41.	7.3	玉穂小学校プール竣工
	6.10	御殿場南小学校集団赤痢発生		7.20	御殿場小学校プール竣工
	7.2	時之栖公民館竣工		8.19	駒門風穴へ電灯設備（文部省認可）
	7.11	高根小・中学校給食室竣工		9.10	御殿場小学校 80 周年記念式典挙行
	7.21	玉穂幼稚園増築工事竣工		10.25	養護学校特殊教育学習指導法研究発表会開催
	8.1	御殿場南小学校プール竣工		10.26	原里幼稚園県幼稚園研究会指定研究発表会開催
	9.12	高根中学校運動場造成工事完了		10.27	市営東運動場竣工
	9.25	「教育十年の歩み」刊行		12.15	富士岡中学校屋内運動場竣工
	10.1	教育長勝又秀丸任期満了により退任、土屋一夫新教育長就任	42.	1.19	原里幼稚園園舎増築
	10.29	玉穂小学校給食優良校により文部大臣表彰をうける		2.11	文化財のしおり第 8 集「鮎沢の祈禱三番」刊行
	11.5	西中学校県教委指定理科教育課程研究発表会開催		3.20	東運動場バックネット竣工
	11.14	原里小学校文部省指定、道徳教育研究発表会開催	昭和 42 年度		
	12.15	玉穂小学校給食優良校により県教育長表彰を受ける	42.	4.1	東駿学園私立御殿場西高等学校開校
40.	3.10	御殿場南小学校増築校舎竣工		4.24	新橋東公民館竣工
	3.19	東山のサイカチ、県指定天然記念物となる		5.30	御殿場市歌市民の歌レコード作成
	3.20	文化財のしおり第 6 集「御殿場の仏像」刊行		6.24	富士岡小学校教員住宅竣工
	3.20	神山小学校、御殿場南小学校教員住宅竣工		8.22	養護学校は新築中の新敷地に移転
	3.25	西中学校屋内運動場竣工		9.30	富士岡小学校災害復旧校舎及び危険校舎改築工事竣工
	3.31	富士岡中学校駿河分校を休校する		10.11	沼田の湯立神楽、県指定無形民俗文化財となる
				11.20	西中学校県知事より子ども銀行表彰をうける
				11.25	養護学校新校舎竣工
				12.19	養護学校に関する裾野市並びに小山町との協定成立
			43.	1.19	原里幼稚園園舎増築竣工
				2.9	市営南運動場竣工
				3.15	原里小学校増改築工事（北校舎）竣工
				3.28	御殿場中学校屋内運動場竣工
				3.31	文化財のしおり第 9 集「御殿場の文化財案内」刊行
昭和 40 年度			昭和 43 年度		
40.	4.1	森之腰区立幼稚園を市に移管する	43.	5.10	市の鳥（くろつぐみ）きまる
	8.25	森之腰幼稚園増築園舎竣工		7.1	学習指導要領全面改訂
	9.1	子ども会事務を児童館に移管する		8.5	阿部雲気流博物館資料の貸与をうける
	11.8	御殿場幼稚園県教委指定音楽リズム研究発表会開催		10.1	教育長土屋一夫再任
	11.30	西中学校創立 5 周年記念式挙行		10.21	市営南運動場バックネット竣工
41.	2.1	市立幼稚園連絡協議会結成			
	2.15	高根小・中学校屋内運動場竣工			
	3.20	養護恰好教員住宅竣工			
	3.20	文化財のしおり第 7 集「御殿場の古文書」刊行			
	3.20	ライオンズスポーツセンター竣工（高根学園保育所建物移築）			

	11.13	御殿場中学校県教委指定保健体育研究発表会開催
	11.27	富士岡幼稚園県幼稚園研究会指定研究発表会開催
44.	2.7	養護学校増築竣工
	2.10	御殿場南小学校県教委指定学校給食研究発表会開催
	3.30	高根中学校用地取得
	3.30	高根小学校プール竣工
	3.31	文化財のしおり第10集「御殿場のれいめい」刊行
	3.31	市立高等家政学校を休校とする

昭和44年度

44.	4.14	御殿場小学校科学技術庁長官賞（創意工夫）をうける
	5.1	市立高等家政学校休校により、社会教育会館と名称変更し、社会教育課が使用を開始する
	7.14	御殿場南小学校低学年用プール完成
	8.15	養護学校スクールバス更新
	8.21	印野小学校野鳥愛護林15ha設置
	9.1	町屋公民館竣工
	9.1	養護学校実習地拡張
	9.1	市史編さん準備委員会設置
	10.7	学校開放事業始まる（御中屋体3日間）
	10.23	森之腰幼稚園県幼稚園研究会指定研究発表会開催
45.	1.15	養護学校職員住宅竣工
	3.10	文化財のしおり第11集「老樹と名木」刊行
	3.20	御殿場小学校増改築5号校舎竣工
	3.20	富士岡小学校プール竣工（地区プール）

昭和45年度

45.	7.7	御殿場南小学校、学校給食優良校として県教育長より表彰をうける
	9.15	第一学校給食センター竣工
	9.20	萩原公民館竣工
	10.5	第一学校給食センター事業開始
	10.18	印野小学校創立80周年記念式典挙行
	11.2	原里中学校校舎の一部焼失
	11.10	市立図書館開館（社会教育会館の一部使用）
	11.12	玉穂小学校県教委指定音楽研究発表会開催

46.	1.31	御殿場南小学校増築工事竣工
	3.15	文化財のしおり第12集「沼田の湯立神楽」刊行
	3.25	印野小学校プール竣工（地区プール）
	3.31	原里中学校災害校舎復旧

昭和46年度

46.	4.26	移動図書館車「ライオンズ号」の寄贈を受ける
	8.6	第13回世界ジャンボリー富士宮市朝霧で開催、暴風により市内各学校を避難所に使用
	9.	原里中学校用地拡張
	10.25	市立養護学校屋内運動場竣工
	10.31	原里小学校増改築校舎（南校舎）竣工
	11.10	図書館主催講演会児童文学作家清水達也氏
	12.8	足長おじさんこと、佐藤徳栄氏死亡
	12.20	高根中学校新築校舎竣工（新敷地）
47.	1.2	札幌冬季オリンピック聖火通過
	3.20	深沢城跡案内板作製
	3.21	玉穂小学校用地拡張

昭和47年度

47.	4.1	社会教育指導員設置
	4.11	市役所新庁舎開庁式 教育委員会は5階を使用
	5.20	原里中学校増築（2教室）竣工
	6.27	市の木（けやき）市の花（富士桜）決まる
	9.1	小・中・養護学校防災施設（火災報知器）整備完了
	9.11	善龍寺の喚鐘、二岡神社の灯籠、市指定文化財となる
	10.1	教育長土屋一夫任期満了につき退任、新教育長土屋隆就任
	10.1	学習指導要領一部改訂
	10.7	第1回市民スポーツ祭挙行
	10.17	西中学校子ども銀行大蔵大臣表彰を受ける
	11.3	文化財のしおり第13集「御殿場のあゆみ」刊行
	12.17	富士岡幼稚園県幼稚園研究会指定、研究発表会開催
	12.27	南中学校（新設）用地取得
48.	3.26	玉穂小学校増改築校舎竣工

昭和48年度

48.	4.28	大坂公民館竣工	11.1	第一学校給食センター排水処理施設施行
	6.6	手焙形土器が国指定重要文化財となる	11.13	玉穂小学校県教委指定視聴覚教育研究発表会開催
	7.1	神山小学校敷地取得（移転）	11.28	南中学校（新設校）用地取得
	10.1	森之腰幼稚園園舎増築竣工	12.25	富士岡小学校増改築校舎竣工
	11.2	原里幼稚園園舎増築竣工	12.29	図書館主催講演会作家井上靖氏
	11.10	図書館主催講演会児童文学作家浜野卓也氏	51. 1.24	高根小学校学校給食優良校により県教育長表彰をうける
	12.24	鮎沢の祈祷三番が市指定無形民俗文化財となる	1.31	印野小学校内務員住宅竣工
49.	3.1	高根小学校内務員宿舎竣工	2.26	NHK 委嘱養護学校放送教育研究会開催
	3.15	文化財のしおり第 14 集「古民家をたずねて」刊行	3.1	文化財のしおり第 16 集「御殿場の文学碑」刊行
	3.25	富士岡小学校増改築校舎竣工	3.29	南中学校（新設）校地造成完了
	3.31	玉穂小学校敷地内に民俗資料館設置	3.31	永原追分遺跡発掘調査
昭和 49 年度				
49.	4.1	教育次長制を設ける	3.31	御殿場小学校基本調査優良により文部大臣表彰をうける
	4.1	派遣社会教育主事設置	3.31	市立高等家政学校を廃校とする
	4.1	私立「みなみ幼稚園」開園	昭和 51 年度	
	4.1	市少年活動指導員制始まる	51. 4.17	移動図書館車「ライオンズ 2 世号」寄贈を受ける
	4.30	原里小学校増改築校舎竣工	6.10	高根小学校渡廊下竣工
	5.15	青少年センター設置	8.15	富士登山マラソン復活第 1 回大会開催
	6.22	東運動場野球場整備（芝生）	8.20	玉穂小学校学校給食調理コンクールに出場 奨励賞を受ける
	6.26	高根小学校増改築校舎竣工	10.1	教育長土屋隆再任
	7.1	各地区（支所）に社会教育担当職員（併任）をおく	10.15	学校給食米飯給食開始（月 2 回）
	8.28	玉穂幼稚園移転（旧玉穂中学校改造）	10.15	御殿場中学校文部省指定教育課程国語漢字指導研究発表会開催
	10.29	高根小学校県教委指定学校給食研究発表会開催	11.12	高根中学校文部省指定社会福祉教育研究発表会開催
	11.3	高根小学校創立 100 周年記念式典挙行	12.7	高根小学校給食優良校により文部大臣表彰をうける
	11.22	印野小学校増改築校舎竣工（防音校舎）	52. 1.20	南中学校（新設）新築校舎（第 1 期工事）竣工
50.	1.17	神場公民館竣工	3.1	文化財のしおり第 17 集「御殿場の民話伝説」刊行
	1.24	高根中学校学校給食優良校により県教育長表彰をうける	3.11	原里中学校 30 周年記念としてプラスバンドを編成する
	2.28	神山小学校新築校舎竣工（新敷地）	3.24	美乃和、保土沢地区コミュニティ供用施設竣工
	3.10	神山小学校新築校舎入校式	昭和 52 年度	
	3.27	オリエンテーリング御殿場東山コース公認決定 県公認 No.9 Jocl 公認 No.303	52. 4.1	南中学校開校
	3.28	文化財のしおり第 15 集「御殿場の供養塔と道標」刊行	4.1	スポーツ振興審議会発足
昭和 50 年度				
50.	4.22	留守家庭児童保育開始	4.1	御殿場市文化団体連絡協議会を発展解消し、御殿場市文化協会発足
	8.20	養護学校スクールバス更新		

5.1	社会教育職員の地区駐在制度（専任）設置	4.17	富士岡小学校創意工夫育成功労学校として科学技術庁長官賞をうける
7.1	学習指導要領全面改訂	8.2	栄養士小松静子学校給食功勞により文部大臣より表彰をうける
53. 1.1	富士岡幼稚園竈分校は独立して竈幼稚園となる	8.20	高根小学校給食調理コンクールに出場奨励賞をうける
2.12	印野小学校市教委指定視聴覚教育研究発表会開催	10.18	原里幼稚園並びに県幼稚園研究会東部文部指定研究発表会開催
2.13	竈幼稚園新園舎竣工	10.20	風穴公民館竣工
2.15	御殿場小学校増改築校舎（1号）竣工	10.24	第二学校給食センター竣工
3.16	杉名沢地区コミュニティ供用施設竣工	10.30	鮎沢公民館竣工
3.25	南中学校増築校舎（第2期工事）竣工	11.6	西中学校、富士岡中学校給食開始 市内各学校の全員給食が実現
3.30	東運動場夜間照明設置	11.16	御殿場小学校、県教委指定歯の保健指導研究発表会開催
3.31	文化財のしおり第18集「御殿場の神社・寺院案内」刊行	11.20	富士岡中学校市教委指定特別教育活動研究発表会開催
昭和53年度			
53. 4.1	総合体育施設建設室設置	55. 1.31	水土野地区コミュニティ供用施設竣工
4.1	上小林分校第一学校給食センターより給食配送となる	1.31	富士岡小学校屋内運動場竣工
4.10	学校給食米飯給食月3回実施	2.25	南運動場夜間照明施設竣工
7.27	関屋塚遺跡発掘調査	2.29	西中学校増築校舎竣工
8.3	第7回日本ジャンボリー土屋台にて開催	3.10	深沢地区コミュニティ供用施設竣工
8.20	第一学校給食センター兼主催調理コンクールに出場優秀賞をうける	3.25	ぐみ沢下区公民館竣工
10.11	養護学校増築校舎竣工	3.30	西中学校夜間照明施設竣工
11.1	西中学校、玉穂小学校、印野小学校、玉穂幼稚園県指定幼少中一貫教育研究発表会開催	3.30	東運動場観覧席竣工
11.1	富士岡幼稚園神山分園は独立して神山幼稚園となる	昭和55年度	
11.20	神山幼稚園新築園舎竣工（旧神山小学校跡地）	55. 4.	家庭教育学級（委託学級から自主学級へ）
11.21	原里小学校市教委指定視聴覚教育研究発表会開催	5.15～16	第1回青年国内研修（愛知県安城市）
54. 2.5	南中学校屋内運動場竣工	5.16	炊き込みご飯学校給食に取り入れる
2.6	森之腰幼稚園敷地拡張	5.27	永塚のカシワ、駒門の大公孫樹、市指定文化財となる
3.26	玉穂地区児童屋内体育施設竣工	10.1	教育長土屋隆任期満了につき退任、新教育長に芹沢榮一就任
3.30	高根中学校夜間照明施設竣工	11.22	市体育館竣工
3.31	印野小学校体育器具庫竣工	56. 2.10	西田中地区コミュニティ供用施設竣工
3.31	文化財のしおり第19集「御殿場の農作業」刊行	2.17～	第1回婦人国内研修（埼玉県所沢市）
昭和54年度			
54. 4.1	養護学校義務化実施	3.14	仁杉・北久原地区コミュニティ供用施設竣工
4.10	米飯給食集1回実施	3.20	南中学校夜間照明施設竣工
		3.26	御殿場中学校1号校舎改築竣工
		3.26	養護学校スクールバス増車（小山方面・裾野方面を分けて送迎）
		3.31	文化財のしおり第20集「御殿場の民俗

	資料」刊行	3.31	深沢城跡航空測量
		3.31	生涯教育基礎調査（第二次 600 人）
昭和 56 年度			
56.	4.1	上小林分校の給食高根小学校より配送になる	
	4.9	米飯給食週 2 回実施	
	8.13	文化財のしおり第 21 集「御殿場の養蚕」刊行	
	8.27	市立図書館建設工事竣工	
	8.31	新図書館へ移転のため、旧図書館を閉館、移動図書館車による巡回業務停止	
	10.1	体育課発足	
	10.23	生涯教育推進準備委員会	
	10.31	原里中学校校舎改築竣工	
	11.3	新図書館開館、図書館業務にコンピューターシステム導入稼働開始	
	11.10	移動図書館車ライオンズ号を大型車（3,000 冊積載）に更新 以後 1 台で巡回業務を再開	
	11.11	神山小学校プール竣工	
	12.12	上小林公民館竣工	
57.	1.22	第 1 回全国統一献立給食実施	
	1.30	永原地区コミュニティ供用施設竣工	
	2.22	小木原地区コミュニティ供用施設竣工	
	2.27	中畑南地区コミュニティ供用施設竣工	
	3.10	市民文芸「ごてんば」創刊号発行	
	3.13	御殿場小学校 2 号校舎改築竣工	
	3.31	「御殿場の発展につくした人々」刊行	
	3.31	生涯教育基礎調査（第一次 3,000 人）	
昭和 57 年度			
57.	4.1	高根小学校「ことばの教室」開級	
	7.1	社会教育課事務室を市民会館に移転（市民会館管理運営が教育委員会に委任される）	
	8.7	養護学校スクールバス更新	
	9.26	市第 2 体育館竣工	
	12.4	みんなのかるた御殿場発行（3,000 部）	
58.	1.15	文化財のしおり第 11 号改訂復刻	
	3.9	二枚橋地区コミュニティ供用施設竣工	
	3.14	神山小学校校舎増築竣工	
	3.14	新橋地区コミュニティ供用施設竣工	
	3.15	中畑東地区コミュニティ供用施設竣工	
	3.19	御殿場幼稚園園舎改築竣工	
	3.27	高根地区児童屋内体育施設竣工	
昭和 58 年度			
58.	4.1	市立幼稚園授業料口座振替開始	
	5.2	朝日小学校校舎建築竣工	
	7.6	生涯教育目標策定委員会発足（委員 99 名、事務局 29 名）	
	7.23	朝日小学校プール竣工	
	8.17	富士山御殿場口登山道開設 100 年史発行	
	10.1	萩原地区コミュニティ供用施設竣工	
	10.21	西中学校校舎耐震補強竣工	
	10.24	養護学校校舎増築竣工	
59.	1.30	富士岡小学校給食優良校として県教育長表彰を受ける	
	1.31	文化財のしおり第 22 集「御殿場の変わりゆく職業」刊行	
	2.24	玉穂幼稚園園舎移転改築竣工	
	3.1	朝日小学校屋内運動場竣工	
	3.1	御殿場地区児童屋内体育施設竣工	
	3.24	川島田地区コミュニティ供用施設竣工	
	3.24	川柳地区コミュニティ供用施設竣工	
	3.27	塚原地区コミュニティ供用施設竣工	
	3.31	「生活の知恵、御殿場」刊行	
昭和 59 年			
59.	4.～	静岡県地域学習推進モデル地区指定	
	4.1	青少年健全育成会各地区に結成（富士岡、玉穂県指定モデル地区）	
	4.1	文化振興会結成（富士岡、玉穂、印野）	
	6.15	原里中学校技術、格技室建設竣工	
	7.13	団体事務所（ふれあい会館）建設竣工	
	8.1	図書館駐車場舗装完成	
	8.1	「御殿場地区のことば」刊行	
	10.1	教育長芹沢榮一再任	
	11.9	玉穂幼稚園学校安全優良園として日本学校健康会静岡支部長表彰をうける	
	12.12	印野地区児童屋内体育施設竣工	
60.	1.22	富士岡小学校 3 年杉山道洋交通安全スローガン最優秀賞（内閣総理大臣表彰）を受ける	
	1.30	第一学校給食センター優良施設として県教育長表彰を受ける	
	1.31	「深沢城」刊行	

3.8	御殿場南小学校校舎特別教室棟改築竣工	62.	3.3	二岡神社の社叢が市指定記念物となる
3.8	原里中学校屋内運動場改築竣工		3.10	高根中学校パソコン教育設備機器ネットワークシステム導入
3.11	西中学校屋内運動場改築竣工		3.31	御殿場市立図書館叢書第1号「ぐみ沢村名主 江藤孫右衛門道中記」
3.16	栢ノ木地区コミュニティ供用施設竣工	昭和 62 年度		
3.17	印野地区コミュニティ供用施設竣工	62.	4.	生涯学習推進協議会発足
3.30	山之尻地区コミュニティ供用施設竣工		7.1	図書館コンピュータシステム更新
昭和 60 年度			7.17	御殿場中学校校舎改築竣工
60.	4.～		7.22	富士岡地区図書館開設
	7.19		8.15	文化財のしおり第24集「御殿場馬車鉄道」刊行
	9.6		8.23	サンデースポーツ第1回中央大会
	10.12		8.29	生涯学習シンポジウム開催
61.	1.15		9.12	御殿場南小学校校舎改築竣工
	1.31		9.12	I Love スポーツ章制定
	2.19		11.13	玉穂幼稚園倉庫竣工
	3.8		11.16	朝日小学校学校歯科優良学校として静岡県保健研究大会において表彰を受ける
	3.10	63.	3.3	御殿場小学校分離新設校用地取得
	3.14		3.7	御殿場中学校格技棟竣工
	3.15		3.15	御殿場南小学校プール改築竣工
	3.16		3.15	高根小学校屋内運動場竣工
	3.17		3.15	原里西幼稚園園舎敷地造成竣工
	3.20		3.27	時之栖地区コミュニティ供用施設竣工
	3.27		3.31	養護学校スクールバス更新
	3.31		3.31	南運動場（Bコート）ダッグアウト設置
			3.31	東・南運動場フラッグポール設置
昭和 61 年度		昭和 63 年度		
61.	4.～	63.	4.8	高根小学校屋内運動場落成式
	4.10		6.21	御殿場南小学校プールお浄め式
	5.19		7.12	御殿場小学校分離新設事業説明会
	9.19		8.3	原里小学校プール安全祈願祭
	10.9		9.26	玉穂小学校運動場拡張に係る墓地移転の閉眼式
	10.26		10.1	教育長芹沢榮一任期満了につき退任、新教育長鈴木賢治就任
	11.4		10.7	文部省格技（剣道）指定研究発表会 西中学校
	11.～		10.19	富士岡幼稚園敷地造成工事地鎮祭
		元	11.17	JRC 市指定研究発表会
			1.19	玉穂小学校運動場拡張事業地鎮祭

2.2	南中学校校舎増築棟落成披露	8.4	市制施行 35 周年記念式典挙行
2.18	中清水地区コミュニティ併用施設竣工	8.6	東小画工校舎建築工事竣工
3.2	御殿場小学校分離新設校、校名「東小学校」に決定	9.17	総合体育施設（屋外）グラウンド舗装工事起工式
3.3	御殿場小学校分離新設校用地取得	9.21	東部 9 市教育委員長会議開催
3.6	原里小学校屋内運動場落成式	10.1	高校総体準備室を体育課内に設置
3.11	富士岡中学校屋内運動場落成式	10.14	ビーバートン市教育使節団来庁
3.20	富士岡幼稚園敷地造成竣工	10.15	深沢城跡総合案内板設置
3.20	御殿場市立学校設置審議会答申	10.22	学校設置審議会（養護学校高等部）
3.20	東小学校通学区域の決定	11.23	市体育館開館 10 周年
3.31	深沢城跡案内標柱設置	12.1	神山のタブノキ、市指定天然記念物となる
3.31	御殿場市立図書館叢書第 2 号「土屋五東日記」刊行	3. 1.29	東小学校工事完成検査
平成元年		1.31	仁杉・北久原地区コミュニティ併用施設増改築工事竣工
元 4.25	東小学校建設地元説明会	2.	森之腰幼稚園園舎竣工
5.12	原里西幼稚園落成式	3.30	「女性の主張」（テーマ 女性の自立）刊行
5.16	東小学校建設委員会	3.30	萩蕪地区コミュニティ併用施設竣工
5.18	東小学校建設地埋蔵文化財調査	3.30	東小学校プール竣工
7.12	富士岡幼稚園建設（改築）建設委員会	3.30	玉穂地区西広場竣工
7.20	東小学校建設起工式	平成 3 年度	
8.12	富士岡幼稚園園舎改築起工式	3. 4.1	東小学校開校式
9.19	国立中央青年の家開設 30 周年記念式典 皇太子殿下の御臨席を賜る	5.24	東小学校グラウンド竣工
9.25	社会教育課市民会館から本庁 5 階へ移転	8.1~4	全国高校総体剣道大会
10.23	姉妹都市ビーバートン市教育使節団来訪	8.31	東小学校屋内運動場竣工
10.25	朝日小学校生活研究発表会	9.30	高校総体準備室の廃止
2. 2.9	高内地区コミュニティ併用施設竣工	4. 3.25	御殿場地区コミュニティ併用施設竣工
2.23	柴怒田地区コミュニティ併用施設竣工	3.25	中畑北地区コミュニティ併用施設竣工
3.15	永塚地区コミュニティ併用施設竣工	3.30	総合体育施設中央テニスコート竣工
3.23	女性の主張「女が変わる・男が変わる」刊行	3.30	印野地区スポーツ公園丸尾パーク竣工
3.31	文化財のしおり第 25 集「御殿場に伝わる藤の巻狩」刊行	3.31	文化財のしおり第 26 集「続・御殿場のあゆみ」刊行
3.31	生涯学習実践報告等「みんないきいき生涯学習」刊行	平成 4 年度	
平成 2 年度		4. 4.1	養護学校高等部開設
2. 4.1	体育課体育館から本庁現業棟へ移転	4.1	富士フェニックス短期大学開校
5.14	森之腰幼稚園起工式	10.1	教育長鈴木賢治再任
6.5	文部省会計検査	11.30	中山中央公民館竣工
6.9	第一学校給食センター改築工事竣工	5. 1.5	光真寺の三十三体仏、林氏の長屋門、市指定文化財となる
7.5	富士岡幼稚園落成式	3.10	竈幼稚園園舎増築工事竣工
7.27	東小学校屋体起工式	3.14	総合体育施設陸上競技場竣工

3.25	高根ふれあい広場竣工	平成 8 年度	
3.25	中畑西地区コミュニティ供用施設竣工	8. 7.6	パレット御殿場完成
3.30	東小学校体育器具庫兼屋外便所建築工事竣工	7.17	茱萸沢上地区コミュニティ供用施設起工式
平成 5 年度		7.17	図書館ボランティアの会発足
5. 4.1	ライオンズスポーツセンターを民俗資料収蔵庫として利用する	8.9	わたしの主張'96、平成 8 年度「少年の主張」静岡県大会開催
8.4	杉名沢区公民館竣工	10.1	教育長鈴木賢治任期満了につき退任、教育長吉川桂二就任
9.1	文化財のしおり第 27 集「御厨の巡礼」刊行	10.25	印野小学校給食受領室完成
10.23	高根中郷館竣工	12.25	竈幼稚園グラウンド改修工事完成
11.19	北久原区公民館竣工	12.26	御殿場中学校女子チーム全国中学校駅伝競走大会準優勝
6. 2.1	印野内山のヒノキ、市指定天然記念物となる	9. 3.8	生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」
3.25	総合体育施設陸上競技場夜間照明竣工	3.10	神山小学校駿河分校、富士岡中学校駿河分校廃止
平成 6 年度		3.30	茱萸沢上地区コミュニティ供用施設完成
6. 6.1	朝日小学校に放課後児童教室開設	平成 9 年度	
10.29	静岡女性ミリオソフォーラム御殿場地域大会開催	9. 4.1	近隣 4 市 3 町（御殿場市・裾野市・沼津市・三島市・小山町・長泉町・清水町）で図書館の広域利用を開始
12.20	はればれダイヤル（青壮年相談電話）設置	4.4	放課後児童教室を原里小学校に設置
7. 2.5	地域づくり活動「ごてんば DONDON」	6.27	芸術文化事業を統一した市民芸術祭始まる
2.13	印野小学校復旧温度保持工事竣工	8.12	原里地区広場（友愛パーク・原里）完成
3.1	養護学校県立移管が正式決定	11.16~	生涯学習ボランティアセンター自主講座
3.20	高根小学校 C 棟及び高根学校給食センター完成	11.29	青少年健全育成キャンペーン「市民のつどい」開催
平成 7 年度		12.15	玉穂地区プール建設工事起工式
7. 4.27	東運動場スコアボード落成式	12.23	御殿場中学校女子チーム全国中学校駅伝競走大会全国制覇
5.15	御殿場地区広場起工式	12.24	陸上競技場公認継続
5.20	教育講演会開催	10. 1.16	雪害により東小学校上屋付プール外被災
6.6	平成 15 年開催の国民体育大会馬術競技会場市に決定	1.30	高根地区体育館駐車場整備工事完成
8.6	95 富士山スポーツフェスティバル	1.30	御殿場中学校屋内運動場完成
9.16	男女共同参画社会づくり講演会開催	2.22	男女共同参画社会づくり「パートナーフォーラム」開催
11.3	図書館祝日特別開館(以後 5/3,5,11/3)	2.25	市内各所に分散保存していた歴史資料を一括保存し活用するために、茱萸沢に民俗資料収蔵庫を整備
11.23	体育館入場者 150 万人記念セレモニー	2.26	国体中央競技団体正規視察
12.13	御殿場中学校女子チーム全国中学校駅伝競走大会出場	2.27	県立養護学校関連水路改修工事完成
12.22	原里地区広場起工式	3.30	文化財のしおり第 29 集「御殿場の記念碑」刊行
8. 2.17	男女共同参画社会づくり「パートナーフォーラム」開催	平成 10 年度	
3.15	印野小学校最後の単独給食		
3.31	文化財のしおり第 28 集「御殿場の別荘」刊行		

10.	4.1	はればれ巡回相談開始	8.1	久成寺の鰐口、市指定文化財となる
	4.6	放課後児童教室を富士岡小学校に設置	9.29	原里中学校、高根中学校心の教室整備 工事完成
	6.10	市議会で第 58 回国民体育大会馬術競 技開催を決議	10.2	教育長吉川桂二任期満了につき退任、 教育長細谷旭就任
	7.21	第 58 回国民体育大会御殿場市準備委 員会設立	11.18	東小学校創立 10 周年記念式挙行
	8.28	富士岡小学校 1-1 号校舎改築工事着手	11.23	第 1 回静岡県市町村対抗駅伝競走大会 御殿場市チーム準優勝
	10.1	図書館コンピュータシステム更新、併 せて県中央図書館とのパソコン通信 (資料検索用) 開始、利用者開放端末 機を設置	12.16	第 6 回生涯学習のつどい「ごてんば ~17 DONDON」開催
	12.23	御殿場中学校女子チームが第 6 回全国 中学校駅伝競走大会 2 連覇	12.23	御殿場中学校女子チーム第 8 回全国中 学校駅伝競走大会準優勝
11.	1.23	第 5 回生涯学習のつどい「ごてんば ~24 DONDON」開催	13.	2.14 文化財のしおり第 30 集「新版御殿場の 文化財」刊行
	2.2	夢とゆとりの教育研究会提言書提出		2.28 富士岡幼稚園増築工事完成
	3.18	旧石田家住宅が市指定文化財となる		3.30 陸上競技場写真判定室設置工事完成
	3.23	西中学校心の教室整備工事完成		3.30 東運動場夜間照明改修工事完成
	3.25	深沢城跡保存管理計画策定報告書完成		3.31 (仮) 幼児教育センター調査研究書完成
	3.31	西中学校駐車場整備工事完成	平成 13 年度	
	3.31	玉穂地区屋内プール建設工事完成	13.	4.1 御殿場小学校、富士岡小学校に養護学 級開設
平成 11 年度				4.17~ 国体馬術競技場施設整備
11.	4.1	玉穂小学校・朝日小学校に養護学級開設		4.26~ 国体馬術競技実行委員会
	6.26	玉穂地区屋内プール落成式		5.18~ 国体馬術競技用具等整備
	8.20	富士岡小学校 1-1 号校舎改築工事完成		8.10 富士岡小学校校舎改築工事完成
	9.19	国立中央青年の家 40 周年記念事業		8.31 小学校インターネット導入
	11.5	夢とゆとりの教育モデル事業		9.8 幼稚園・保育園合同研修会開催
	12.23	御殿場中学校女子チームが第 7 回全国 中学校駅伝競走大会 3 連覇		10.7 市スポーツ祭 30 周年記念式典挙行
12.	1.31	高根ふれあい広場本部席建設工事完成		10.14 高根西部地区広場竣工
	3.27	旧秩父宮御殿場御別邸、市指定文化財 となる		10.22 南中学校、富士岡中学校心の教室整備 工事完成
	3.31	幼児教育振興計画策定書完成		11.8 図書館新館開館 20 周年記念式典挙行
	3.31	西中学校養護学級整備工事完成		11.10 第 7 回報徳サミット開催
	3.31	御殿場市立養護学校閉校		11.23 第 2 回静岡県市町村対抗駅伝競走大会 御殿場市チーム準優勝
平成 12 年度				12.23 御殿場中学校女子チーム第 9 回全国中 学校駅伝競走大会 7 位入賞
12.	4.1	県立御殿場養護学校開校	14.	1.15 玉穂地区屋内プール整備 (駐車場外整 備工事 4,500 m ² 他)
	4.1	西中学校に養護学級開設		3.13 中央テニスコート管理棟竣工 66 m ²
	4.1	幼児教育推進事業開催		3.25 西中学校夜間照明設備撤去工事
	5.31	第 58 回国体馬術競技場建設工事着工		3.25 陸上競技場放送設備改修工事完成
	5.31	市指定文化財旧石田家住宅を御殿場市 たくみの郷に移築完了		3.29 御殿場中学校テニスコート整備 (コ ート 2 面)
	7.15	高根西部地区広場起工式	平成 14 年度	

14.	4.1	原里小学校、御殿場中学校、富士岡中学校、原里中学校に養護学級開設
	5.17～5.26	ワールドカップサッカーウルグアイチームのキャンプ地受け入れ
	8.10	幼稚園・保育園・小学校合同研修会開催
	8.28	玉穂小学校心の教室整備完成
	9.30	原里小学校心の教室整備完成
	10.	国民体育大会馬術競技で川口雅美選手が3年連続優勝
	11.9	朝日小学校創立20周年記念式典挙行
	11.30	第3回静岡県市町村対抗駅伝競走大会御殿場市チーム優勝
	12.2～	深沢城跡第I郭確認調査
	12.8	陸上競技場2種公認継続申請に伴う改修
15.	2.1～	第7回生涯学習のつどい「ごてんば
	2.2	DONDON」開催
	2.5	富士岡幼稚園園舎増築工事完成
	2.12	原里幼稚園園舎増築工事完成
	2.12	高根小学校受水槽設置工事完成
	3.	御殿場市スポーツ振興基本計画を策定
	3.19	御殿場南小学校1-2号校舎改築工事完成
	3.21	深沢城跡馬伏川河川改修に伴う発掘調査報告書刊行
	3.25	「日野承認山中兵右衛門家文書目録」刊行
	3.31	御殿場南小学校1-2号校舎改築付帯外構工事完成
	3.31	西中学校技術科棟解体工事完了
	3.31	市民文芸ごてんば第19号刊行

平成15年度

15.	4.1	御殿場南小学校、東小学校に養護学級開設
	8.31	朝日小学校心の教室整備完成
	9.10	富士岡小学校・高根小学校心の教室整備完成
	10.26～30	第58回国民体育大会馬術競技会御殿場馬術競技場で開催
	11.16	親子読書普及促進事業「松谷みよ子講演会」開催
	12.2～	深沢城跡第II郭確認調査
	12.5	第4回静岡県市町村対抗駅伝競走大会御殿場市チーム準優勝
16.	3.10	神山幼稚園園舎増築工事完成
	3.15	西中学校特別教室棟改築工事完成
	3.26	西中学校特別教室棟付帯工事完成

平成16年度

16.	7.1	御殿場市馬術・スポーツセンターの管理運営にNPO法人御殿場市体育協会を指定管理者として協定書を締結
	7.20～24	第38回全国高等学校馬術競技会御殿場市馬術・スポーツセンターで開催
	9.21	印野小学校心の教室整備完成
	10.1	教育長細谷旭任期満了につき退任、教育長三井米木就任
	10.1	図書館コンピュータシステム更新
	10.29	御殿場中学校、西中学校テニスコート整備工事完成
	11.1	市民文芸ごてんば第20号刊行
	11.2	ブックスタート事業開始
	12.4	第5回静岡県市町村対抗駅伝競走大会御殿場市チーム準優勝
	12.6～	深沢城跡第III郭確認調査
17.	1.31	西中学校渡廊下建設工事完成
	2.9	東小学校心の教室整備完成
	2.9～13	市制施行50周年記念「目で見える御殿場市50年の歩み展」開催
	2.12～13	第8回生涯学習のつどい「ごてんばDONDON」開催
	3.15	神山小学校校舎増設工事完成
	3.15	御殿場幼稚園園舎増築工事完成
	3.15	印野地区体育館建設工事完成
	3.25	神山小学校屋上防水改修工事完成

平成17年度

17.	6.29	印野地区プール建設工事完成
	8.29	NHK夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会開催
	10.7	神山幼稚園耐震補強工事完成
	10.12～19	市制施行50周年記念「50年後の御殿場市絵画展」開催
	12.1	文化財のしおり第31集「御殿場の石仏」刊行
	12.3	第6回静岡県市町村対抗駅伝競走大会御殿場市チーム優勝
	12.18	第13回全国中学校駅伝競走大会御殿場中学校男子9位、富士岡中学校女子10位
18.	3.2	神山複生病院事務所棟、国登録文化財となる
	3.15～	「東山のサイカチ」保護増殖事業
	3.31	深沢城跡確認調査報告書刊行

平成 18 年度		20.	4.24	国民文化祭御殿場市実行委員会第 2 回会議		
18.	4.1			6.1	国民文化祭「富士の恵み 御殿場大茶会」第 1 期練習会	
	8.26			7.26	国民文化祭「富士山一人打ち太鼓まつり」ブレ大会	
	9.28			10.1	教育長三井米木再任	
	11.14			10.31	御殿場小学校 B 棟建設工事完成	
	12.2			11.3	図書館まつり	
				11.9	国民文化祭「富士の恵み 御殿場大茶会」第 2 期練習会	
	12.16			11.16	駿東地区レクスポ大会	
				12.6	第 9 回静岡県市町村対抗駅伝競走大会御殿場市チーム 準優勝	
	12.16			12.21	第 16 回全国中学校駅伝競走大会富士岡中学校女子チーム第 8 位、富士岡中学校男子チーム第 22 位	
19.	2.3~4			21.	2.7~8	第 10 回生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」開催
					2.14~15	青少年のための科学の祭典開催
				3.25	高根小学校耐震補強工事完成	
	2.10			3.25	原里中学校便所建築工事完成	
				3.31	二岡神社の社叢看板更新	
	3.12			平成 21 年度		
	3.30			21.	4.1	馬術・スポーツセンター指定管理者制度導入
平成 19 年度				4.16	国民文化祭御殿場市実行委員会第 3 回会議	
19.	6.9~10			6.5	御殿場小学校完成報告会	
	8.1			7.16	国民文化祭開催 100 日前記念イベントカウントダウンボード除幕式	
				7.29~31	第 43 回全日本高等学校馬術競技大会	
	11.3			8.1~	中田遺跡・松ノ木遺跡発掘調査	
	11.26			8.17~	市指定文化財「林氏の長屋門」屋根修繕	
	~1.31			9.17	国民文化祭御殿場市実行委員会第 4 回会議	
	12.1			10.25	国民文化祭「富士山一人打ち太鼓まつり」開催	
				10.31	国民文化祭「富士の恵み 御殿場大茶会開催」	
	12.11~16			11.3	図書館祭り	
	12.15			12.5	第 10 回記念静岡県市町村対抗駅伝競走大会 御殿場市チーム第 3 位	
				12.19	第 17 回全国中学校駅伝競走大会富士岡中学校女子チーム第 5 位	
20.	2.8~9			22.	2.8	国民文化祭御殿場市実行委員会第 5 回会議
	2.9~10					
	3.13					
	3.23					
	3.31					
	3.31					
	3.31					
平成 20 年度						

2.13~14	「青少年のための科学の祭典」開催	24.	10.1	教育長三井米木任期満了につき退任、 教育長勝又將雄就任	
3.2~24	市指定文化財「旧秩父宮御殿場御別邸」 母屋廊下修繕		10.10	玉穂小学校校舎完成報告会	
3.16	南中学校技術科棟完成		11.3	図書館まつり	
3.19	竈幼稚園 3 歳児保育室完成		11.16	第 18 回全国報徳サミット御殿場市大 会開催	
3.24	御殿場中学校部室棟完成		~17		
3.26	中田遺跡・松ノ木田遺跡発掘調査報告 書刊行	25.	2.8	原里小学校校舎改築工事完成	
3.31	国指定天然記念物「駒門風穴」及び「印 野の熔岩隧道」保存計画刊行		2.23	第 12 回生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」開催	
平成 22 年度					
6.30	南学校給食センター竣工		3.7	原里中学校校舎耐震補強・改修工事完成	
7.26	高根中学校校舎完成		3.20	阿部雲気流博物館資料寄贈される	
8.20	南学校給食センター完成披露式	平成 25 年度			
8.31	第二・第三学校給食センター閉鎖	25.	6.29~	富士山世界文化遺産登録記念企画展示 「富士山への街道と信仰」	
9.1	南学校給食センター稼働開始 第一学校給食センターを西学校給食セ ンターに名称変更		7.29		
9.1	文化財のしおり第 33 集「御殿場の人物 事典」刊行		7.1	印野の熔岩隧道「丸尾苑」供用開始	
11.3	図書館まつり		8.5	富士岡小学校 3 号棟耐震補強工事完成	
12.19	第 18 回全国中学校駅伝競走大会富士 岡中学校女子チーム優勝、富士岡中 学校男子チーム第 13 位		8.5	御殿場市教育フォーラム 2013 開催	
23.	2.5 ~		8.18	西中学校給食センター汚水浄化システ ム更新修繕	
6	第 11 回生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」開催		11.3	図書館まつり	
2.10	社会教育委員会提言「次世代に伝えたい 郷土資料館」提出		11.9	富士山世界文化遺産登録記念 第 7 回青少年のための科学の祭典 富士山大会 in ごてんば開催	
平成 23 年度					
23.	8.8		11.30	原里幼稚園園庭拡張工事完成	
	8.22		12.9	西学校給食センター回転蒸気釜更新	
	9.16		26.	1.15	原里西幼稚園園舎増築工事完成
	11.3		1.21	南中学校校舎耐震補強工事完成	
	11.26		2.10	印野小学校校舎改築工事完成	
	~27		2.20	原里小学校校舎改築事業完成報告会	
	11.29		3.17	原里西幼稚園園庭拡張工事完成	
24.	2.17		平成 26 年度		
	2.17		26.	5.28	高根小学校プール改築工事完成
	2.23		8.1	御殿場市教育フォーラム 2014 開催	
	3.15		8.10	御殿場市いじめ防止基本方針策定	
	3.21		10.8	「富士山世界遺産登録記念」舞台芸術 鑑賞事業実施	
	3.23		~10		
			11.3	図書館まつり	
			27.	2.18	富士岡小学校屋内運動場耐震補強工事完成
			2.20	玉穂地区体育館（えがお）建設工事完成	
			2.20	印野小学校校舎改築事業完成報告会	
			3.7	第 13 回生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」開催	
平成 24 年度					

平成 27 年度				
27.	5.2	玉穂地区体育館（えがお）外構工事完成		4.4 原里中学校グラウンド整備工事完成
	6.8	玉穂地区体育館（えがお）完成報告会		7.26 第 1 回総合教育会議
	8.10	御殿場市教育フォーラム 2015 開催		7.28 御殿場市教育フォーラム 2016 開催
8.11~22		親と子の文化財講座		11.3 図書館まつり
	11.3	図書館まつり		11.16 第 2 回総合教育会議
	12.1	図書館システム更新		12.3 阿部正直博士没後 50 年記念展
11.8		第 8 回青少年のための科学の祭典 富士山大会 in ごてんば開催	29.	~25 「雲の伯爵〜伯は博を志す〜」開催
	12.9	印野小学校記念館・資料館改修工事完成	29.	2.27 御殿場小学校プール改築工事完成
28.	1.28	食物アレルギー対応給食ごてんばこめ こカレー実施		3.16 印野小学校グラウンド拡張工事完成
	1.29	松ノ木田遺跡 IV 次調査報告書刊行		3.17 朝日小学校プール改築工事完成
	2.22	神山区児童屋内体育施設耐震補強工 事完成		3.21 御殿場市子ども条例行動計画策定
	3.15	中田遺跡 IV 次調査報告書刊行		3.28 東山青少年広場整備工事完成
	3.31	御殿場の神社棟札-印野編-刊行 沼田の湯立神楽調査報告書刊行 歴史の道富士山御殿場口登山道 MAP 刊行	30	4.17 東山青少年広場開所式
	3.31	勝又將雄教育長、新教育委員会制度へ の移行に伴い退任。	30	7.31 市民会館ホール棟改修工事完成
平成 28 年度				11.3 図書館まつり
28.	4.1	新教育委員会制度における新教育長と して勝又將雄教育長就任。		11.5 第 9 回青少年のための科学の祭典 富 士山大会 in ごてんば開催
	4.1	御殿場市子ども条例施行		2.18 第 14 回生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」開催
				3.30 御殿場の神社棟札〜原里編〜刊行

2 各種委員名簿

御殿場市立学校設置審議会委員 任期2年（平成30年4月1日～平成32年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	小林 博之	校長会	8	委員	中村 康雄	知識経験者
2	委員	内藤 成彦	校長会	9	委員	小澤 薫	知識経験者
3	委員	滝口 盛治	校長会	10	委員	三改木 英夫	知識経験者
4	委員	北川 健太郎	PTA連合会	11	委員	勝又 正敏	知識経験者
5	委員	井上 住枝	PTA連合会	12	委員	勝間田 喜輔	知識経験者
6	委員	芹澤 克己	区長会	13	委員	横山 初江	知識経験者
7	委員	増倉 俊助	知識経験者				

御殿場市就学支援委員会委員 任期2年（平成29年4月1日～平成31年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	田内 守之	医師会代表	9	委員	新澤 章彦	学校関係者
2	副委員長	小林 博之	学校関係者	10	委員	沓間 和彦	学校関係者
3	委員	江島 光彦	医師会代表	11	委員	岩澤 弘子	幼稚園保育園 関係者
4	委員	櫻井 淳子	知識と経験を 有する者	12	委員	勝又 康代	幼稚園保育園 関係者
5	委員	鹿島 満里子	学校関係者	13	委員	長田 つや子	家庭相談員
6	委員	鈴木 弓子	学校関係者	14	委員	井上 倫世	市職員
7	委員	勝村 由加利	学校関係者	15	委員	鈴木 可奈	市職員
8	委員	横溝 千都生	学校関係者				

御殿場市就園支援委員会委員 任期2年（平成29年4月1日～平成31年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	田内 守之	医師会代表	6	委員	渡邊 美穂	学校関係者
2	副委員長	岩澤 弘子	幼稚園保育園関係者	7	委員	円城寺 恵	家庭相談員
3	委員	百瀬 理美子	知識と経験を有する者	8	委員	加藤 貞子	市職員
4	委員	川口 恵子	幼稚園保育園関係者	9	委員	鈴木 可奈	市職員
5	委員	鹿島 満里子	学校関係者	10	委員	宮島 千知	市職員

御殿場市いじめの防止等対策推進委員会委員 任期2年（平成29年4月1日～平成31年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	太田 正義	大学教員	4	委員	菅沼 大祐	臨床心理士
2	副委員長	内海 雅秀	弁護士	5	委員	中村 仁美	社会福祉士
3	委員	齋藤 昌一	医師				

御殿場市いじめ問題対策連絡協議会委員 任期2年（平成29年4月1日～平成31年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	会長	芹澤 昭平	学校関係者	14	委員	眞東 成至	学校関係者
2	副会長	内海 隆治	保護司	15	委員	高森 大地	学校関係者
3	委員	横溝 千都生	学校関係者	16	委員	勝又 慎之輔	学校関係者
4	委員	勝又 規真	学校関係者	17	委員	杉山 史樹	学校関係者
5	委員	東 真剛	学校関係者	18	委員	柏 伸吾	学校関係者
6	委員	芹澤 速水	学校関係者	19	委員	狩野 亮	学校関係者
7	委員	杉山 知太郎	学校関係者	20	委員	鈴木 武	御殿場警察署 生活安全課
8	委員	井上 和	学校関係者	21	委員	小林 寿々代	家庭相談員
9	委員	岩田 秀之	学校関係者	22	委員	三津山 弘樹	東部児童相談所
10	委員	松井 永治	学校関係者	23	委員	瀬戸 進吾	御殿場市 青少年センター
11	委員	芹澤 幸一	学校関係者	24	委員	山下 清春	社会教育指導員
12	委員	大上 佐	学校関係者	25	委員	伴野 知恵	主任児童委員
13	委員	間 慎一	学校関係者	26	委員	石田 善正	指導主事

御殿場市学校結核対策委員会委員 任期2年（平成30年4月1日～平成32年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	齋藤 昌一	医師会代表	5	委員	永井 しづか	御殿場保健所
2	委員	岩田 祥吾	医師会代表	6	委員	内藤 成彦	学校関係者
3	委員	安田 敏男	医師会代表	7	委員	江口 由美	学校関係者
4	委員	中川 靖夫	医師会代表				

御殿場市立学校専門相談医制度運営懇話会構成員 任期2年（平成30年4月1日～平成32年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	構成員	岩田 祥吾	医師会代表	3	構成員	百々 由美	学校関係者
2	構成員	前田 隆寛	医師会代表	4	構成員	諏訪部 春菜	学校関係者

学校専門相談医一覧表

平成30年4月1日現在				
産婦人科	整形外科医	脳神経外科	皮膚科医	精神科 (心療内科)
五十嵐 辰博	足利 邦和	勝田 洋一	志水 達也	飛澤 彰
勝間田 實	渡辺 幸雄	前田 隆寛	富井 直子	
牧野 恒久				
宮下 明功				

学校名	内科医	耳鼻科医	眼科医	歯科医	薬剤師
御殿場小学校	勝又 厚 西田 四郎	斉藤 彰治	石川 友昭	豊山 篤 渡邊 栄一郎 杉山 良夫	原 久昌
東小学校	江島 経子	斉藤 彰治	石川 友昭	渡辺 孝 土屋 聡	芹澤 尚子
御殿場南小学校	西田 四郎 田内 守之	斉藤 彰治	石川 友昭	勝又 修 佐藤 栄樹	勝間田 あけみ
富士岡小学校	齋藤 昌一	斉藤 彰治	緒方 正史	斉藤 衛 三浦 文嗣	長田 進
神山小学校	安田 敏男	斉藤 彰治	緒方 正史	谷中 満 稲葉 一嘉	滝口 秀之
原里小学校	渡辺 幸雄	早間 隆	緒方 正史	梶本 弘 大庭 礼之	原田 義信
朝日小学校	石川 制二	斉藤 彰治	緒方 正史	長島 喜久 岩瀬 靖	永井 久雄
玉穂小学校	安田 敏男	早間 隆	緒方 正史	梶本 智子 石田 雅彦	原 久昌
印野小学校	石川 制二	早間 隆	緒方 正史	杉山 有一	勝間田 尚
高根小学校	勝又 厚	斉藤 彰治	石川 友昭	江本 月美	杉山 博昭
御殿場中学校	勝又 厚	斉藤 彰治	石川 友昭	野田 光子 鎌田 耕	芹澤 尚子
南中学校	安田 敏男	斉藤 彰治	高松 太	園田 正敏 瀧川 妙子	高橋 忠資
富士岡中学校	齋藤 昌一	斉藤 彰治	高松 太	矢後 博次 江塚 孝子	太田 祐治
原里中学校	渡辺 幸雄	早間 隆	高松 太	石川 春人	原田 義信
西中学校	渡辺 幸雄	早間 隆	高松 太	斉藤 保	原 久昌
高根中学校	江島 光彦	斉藤 彰治	石川 友昭	杉山 良夫	杉山 ゆかり
御殿場幼稚園	勝又 厚			渡辺 孝	
富士岡幼稚園	齋藤 昌一			斉藤 衛	
竈幼稚園	齋藤 昌一			大津 昌一	
神山幼稚園	齋藤 昌一			江塚 孝子	
原里幼稚園	石川 制二			矢後 博次	
玉穂幼稚園	西田 四郎			梶本 智子	
原里西幼稚園	石川 制二			岩瀬 靖	
森之腰幼稚園	田内 守之			勝又 邦明	

御殿場市立学校給食センター運営委員会委員名簿 任期1年（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	百々 由美	東小学校長	10	委員	勝呂 麻美	御殿場南小学校 PTA副会長
2	委員	新澤 まり	高根小学校長	11	委員	若松 里美	神山小学校 PTA副会長
3	委員	小宮 隆	高根中学校長	12	委員	中村 綾子	朝日小学校 PTA副会長
4	委員	勝俣 久功	富士岡中学校長	13	委員	野月 静香	富士岡小学校 PTA副会長
5	委員	勝又 厚	御殿場市医師会	14	委員	小谷 いずみ	東小学校 PTA副会長
6	委員	富井 明望	御殿場市医師会	15	委員	高橋 一雄	南中学校 PTA副会長
7	委員	豊山 篤	駿東歯科医師会	16	委員	大島 康彰	原里中学校 PTA副会長
8	委員	長田 進	北駿薬剤師会	17	委員	松浦 秀昭	御殿場保健所 衛生薬務課長
9	委員	田中 直美	原里小学校 PTA副会長	18	委員	本多 丞次	静岡県御殿場食品 衛生協会 副会長

御殿場市社会教育委員 任期2年（平成29年4月1日～平成31年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	滝口 兼光	NPO法人体育協会	8	委員	小野 智子	学識経験者 (御殿場)
2	副委員長	川口 修江	文化協会	9	委員	齋藤 治俊	学識経験者 (御殿場)
3	委員	青木 元広	小中学校	10	委員	御宿 和美	学識経験者 (富士岡)
4	委員	大塚 勇介	高等学校	11	委員	勝間田 清次	学識経験者 (原里)
5	委員	勝又 淳	市子ども会 世話人連合会	12	委員	芹澤 美智子	学識経験者 (玉穂)
6	委員	田代 みよ子	市婦人会 連絡協議会	13	委員	岩瀬 恵子	学識経験者 (印野)
7	委員	浜田 宏美	図書館活動	14	委員	杉山 葉子	学識経験者 (高根)

文化財審議会委員 任期2年（平成30年4月1日～平成32年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	渡辺 好洋	原里地区	8	委員	芹澤 義廣	原里地区
2	副委員長	勝間田 喜明	印野地区	9	委員	土屋 俊光	玉穂地区
3	委員	鮎澤 仁司	御殿場地区	10	委員	高村 典子	高根地区
4	委員	岩澤 良充	御殿場地区	11	委員	杉山 元治	高根地区
5	委員	藤方 慶子	御殿場地区	12	専門委員	柳井 康弘	平成24年4月1日～
6	委員	瀬戸 利満	富士岡地区	13	専門委員	池谷 岩夫	平成30年4月1日～
7	委員	土屋 共榮	富士岡地区				

生涯学習推進会委員 任期2年（平成29年4月1日～平成31年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	会長	巢瀬 武士	生涯学習 ボランティアセンター	10	委員	櫻井 教文	高等学校代表
2	副会長	小川 益弘	市校長会	11	委員	江口 純子	保育の会
3	副会長	秋田 裕美	文化協会	12	委員	土屋 廣実	商工会
4	委員	小野 健吾	市老人クラブ連合会	13	委員	中嶋 行雄	駒門工業団地 企業連絡協議会
5	委員	萩倉 雅子	市婦人会連絡協議会	14	委員	川口 修江	社会教育委員会
6	委員	勝間田ふみ子	市子ども会 世話人連合会	15	委員	勝又 莊平	社会福祉協議会
7	委員	岩田 佳代子	家庭教育学級	16	委員	北川 由美子	国際交流協会
8	委員	杉山 孝道	市区長会	17	委員	山下 達也	国立中央 青少年交流の家
9	委員	大胡田 幸子	地域づくり活動 主事連絡会	18	委員	新田 豊	NPO法人体育協会

青少年問題協議会会委員 任期2年（平成30年4月1日～平成32年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	会長	若林 洋平	市長	12	委員	山下 達也	国立中央青少年 交流の家
2	副会長	勝又 義文	商工会	13	委員	河合 竜司	御殿場警察署長
3	副会長	芹澤 みや子	市婦人会 連絡協議会	14	委員	永井 しづか	御殿場健康福祉 センター所長
4	委員	滝口 兼光	社会教育委員会	15	委員	根上 武久	ライオンズクラブ
5	委員	植松 明彦	青少年補導委員	16	委員	石田 英和	青少年健全育成会
6	委員	芹澤 照平	市校長会	17	委員	長田 晃浩	市PTA連合会
7	委員	藤巻 文雄	高等学校代表	18	委員	鈴木 孝治	市子ども会 世話人連合会
8	委員	土屋 光行	市議会 福祉文教委員会	19	委員	渡邊 泰史	青少年活動推進委員
9	委員	石田 昌彦	市区長会長	20	委員	藤曲 敏春	ボーイスカウト
10	委員	高村 秀幸	北駿地区保護司会	21	委員	長田 トミ子	ガールスカウト
11	委員	高木 義純	民生委員 児童委員協議会				

放課後子どもプラン運営委員会委員 任期2年（平成29年4月1日～平成31年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	池谷 洋子	放課後子ども教室	10	委員	勝間田 由美	放課後子ども教室
2	副委員長	新澤 まり	市校長会	11	委員	杉山 俊子	主任児童委員
3	委員	勝間田 實	コミュニティ活動	12	委員	本崎 肇	放課後児童クラブ
4	委員	林 典男	コミュニティ活動	13	委員	勝間田 清次	放課後子ども教室
5	委員	勝又 保彦	放課後児童育成会	14	委員	小越 隆則	市教頭会
6	委員	高橋 智子	放課後児童クラブ	15	委員	鎌野 武	教育委員会職員
7	委員	北川 健太郎	市PTA代表	16	委員	山本 宗慶	福祉事務所職員
8	委員	勝呂 麻美	市PTA代表	17	委員	丹澤 謹志	教育委員会職員
9	委員	櫻井 光子	市子ども会代表				

青少年活動推進委員 任期2年（平成30年4月1日～平成32年3月31日）

No.	職名	氏名	No.	職名	氏名
1	委員	米津 亮信	8	委員	藏元 勇人
2	委員	芹澤 良幸	9	委員	高松 遥
3	委員	渡邊 泰史	10	委員	勝又 奈津美
4	委員	齋藤 雅斗	11	委員	長田 美里
5	委員	矢口 雅士	12	委員	勝又 亮
6	委員	丸 宏樹	13	委員	黒羽 利宜
7	委員	山崎 夏未			

青少年センター運営懇話会委員 任期2年（平成29年4月1日～平成31年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	座長	勝又 將雄	教育長	8	構成員	芹澤 照平	市校長会
2	副座長	椎屋 誠	青少年補導委員長	9	構成員	東 真剛	市生徒指導部長
3	構成員	本多 丞次	青少年補導副委員長	10	構成員	柏 伸吾	市生徒指導副部長
4	構成員	鈴木 武	御殿場警察署 生活安全課長	11	構成員	山口 成人	高等学校代表
5	構成員	永井 久雄	北駿薬剤師会	12	構成員	石田 善正	学校教育課
6	構成員	山崎 博史	商業振興協同組合	13	構成員	鈴木 寿洋	子育て支援課
7	構成員	勝亦 敦志	市立図書館 図書納入組合				

図書館協議会委員 任期2年（平成29年4月1日～平成31年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	会長	生川 善司	学識経験者	6	委員	百々 由美	学識経験者
2	副会長	池谷 岩夫	学識経験者	7	委員	佐藤 亜希子	学校教育関係者
3	委員	勝又 昭雄	社会教育関係者	8	委員	勝又 明美	学校教育関係者
4	委員	勝間田 清次	社会教育関係者	9	委員	横山 時子	家庭教育の向上に 資する活動を行う者
5	委員	福島 英子	学識経験者	10	委員	古賀 啓子	家庭教育の向上に 資する活動を行う者

御殿場市子ども読書活動推進会議委員 任期2年（平成29年4月1日～平成31年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	加藤 千恵子	図書館 ボランティアの会	8	委員	佐藤 亜希子	小学校司書教諭
2	委員	鈴木 治子	一般公募	9	委員	澤木 厚司	中学校司書教諭
3	委員	稲葉 早苗	一般公募	10	委員	栗田 真和	特別支援学級 担当教諭
4	委員	松本 亜希	家庭教育学級	11	委員	杉澤 ゆみ	県立御殿場 特別支援学校教諭
5	委員	岩田 いつ子	民生委員 児童委員協議会	12	委員	勝又 厚	小中学校PTA
6	委員	長谷川 知子	家庭教育学級	13	委員	勝又 美仁	幼稚園保護者会
7	委員	浜田 宏美	図書館 ボランティアの会	14	委員	山田 育枝	保育園保護者会

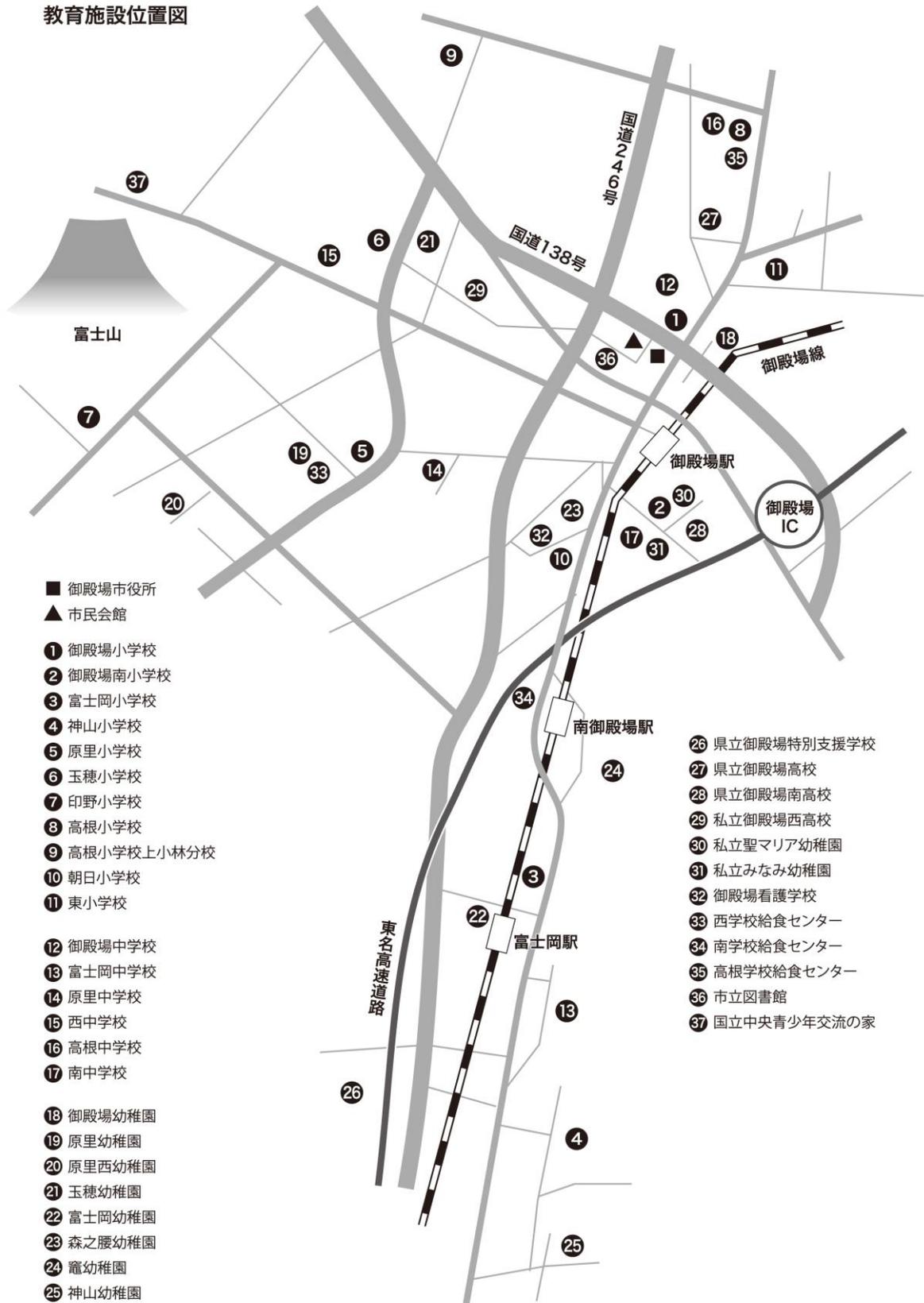
地域づくり活動主事

No.	区名	氏名	活動施設名	施設所在地	施設電話番号
1	御殿場	日比野 一義	御殿場コミセン	御殿場 190-2	82-9364
2	深沢	河野 通郎	深沢区公民館	深沢 843-2	83-5225
3	東山	横山 重夫	東山コミセン	東山 1016	83-3878
4	東田中	永田 雅夫	東田中区中央公民館	東田中三丁目 4-12	84-5151
5	二の岡	村上 浩	二の岡コミセン	二の岡一丁目 3-15	84-0134
6	鮎沢	勝又 博	鮎沢公民館	新橋 351	82-6685
7	新橋	勝又 保徳	新橋コミセン	新橋 2081-2	83-0604
8	湯沢	稲葉 光一	湯沢区公民館	萩原 719-3	なし
9	萩原	矢後 貞夫	萩原公民館	萩原 510-1	83-0897
10	二枚橋	勝又 秀彦	二枚橋コミセン	二枚橋 229-1	82-8956
11	西田中	砂山 信行 邦波 弘康	西田中コミセン	北久原 603-1	83-3901
12	北久原	勝又 邦雄 伊藤 政良	北久原公民館	北久原 483-1	78-6888
13	仁杉	勝又 博之	仁杉公民館	仁杉 320-1	89-0302
14	栢ノ木	内藤 昌純	栢ノ木コミセン	二枚橋 470	83-4866
15	永原	高橋 博	永原コミセン	萩原 1360-120	84-2485
16	竈	土井 章二 勝又 尚子	竈区公民館	竈 1190-1	83-6822
17	萩蕪	勝間田 義夫	萩蕪コミセン	萩蕪 152-6	82-7057
18	沼田	根上 正信	沼田区公民館	沼田 191	なし
19	二子	佐藤 憲司	二子公民館	二子 366-1	なし
20	中山上	長田 清一	中山上公民館	中山 281-1	87-0810
21	中山下	小澤 明	中山中央公民館	中山 624-5	87-5573
22	風穴	小澤 昭司	風穴区公民館	中山 996-8	なし
23	中清水	勝又 賢一	中清水コミセン	中清水 177	87-2252
24	駒門	小澤 仁志 小澤 由美子	駒門コミセン	駒門 471	87-0963
25	大坂	渡邊 英邦	大坂コミセン	大坂 249-1	87-0876
26	町屋	沓間 捷 加藤 勲	町屋中央公民館	神山 1686-8	87-1546
27	高内	坂井 修文	高内コミセン	神山 400-1	87-0833
28	尾尻	前田 尚喜	尾尻コミセン	神山 930-7	87-1523

No.	区名	氏名	活動施設名	施設所在地	施設電話番号
29	神山	佐々木 誠	神山区公民館	神山平 2-52	87-3285
30	富士見原	大久保 薫	富士見原集会所	富士見原一丁目 33	87-2452
31	川島田	滝口 行平	川島田コミセン	川島田 923	83-2831
32	森之腰	数山 幸一	森之腰中央公民館	川島田 512	83-7356
33	杉名沢	佐藤 よし子	杉名沢区公民館	杉名沢 270-3	なし
34	神場	堀内 修	神場公民館	神場 588-1	89-2013
35	板妻	松田 秀夫	板妻区公民館	板妻 131-1	89-2912
36	保土沢	加藤 数俊	保土沢区公民館	保土沢 18-18	89-0771
37	永塚	石田 明弘	永塚コミセン	永塚 692-1	89-0289
38	北畑	鈴木 秀夫	北畑区公民館	川島田 1792-1	89-0617
39	大沢	吉川 清和	大沢公民館	川島田 1898-3	89-1951
40	茱萸沢上	木下 輝章	茱萸沢上コミセン	茱萸沢 893-1	89-2120
41	茱萸沢下	勝呂 正彦 原 藤夫	茱萸沢下区公民館	茱萸沢 1209	88-1510
42	中畑東	岡田 克己	中畑東コミセン	中畑 268-10	89-5510
43	中畑北	西山 さゆり	中畑北コミセン	中畑 878-1	89-5515
44	中畑南	植松 竹彦	中畑南コミセン	中畑 1667-1	89-3789
45	中畑西	袴田 正廣	中畑西コミセン	中畑 1784	89-3948
46	川柳	大胡田 幸子	川柳コミセン	川柳 29	89-0954
47	小木原	岩田 祐二	小木原コミセン	印野 2209-1	89-4808
48	時之栖	山本 基喜	時之栖コミセン	印野 1757	89-5748
49	印野	石田 智一 勝間田 由美	印野コミセン	印野 866-1	89-1364
50	塚原	梶本 子郎	塚原コミセン	塚原 859-2	83-6459
51	六日市場	山口 陽一	六日市場公民館	塚原 30	83-6961
52	美乃和	斎藤 正好	美乃和区公民館	中丸 192	83-6432
53	清後	長谷川 守	清後区公民館	清後 130-4	83-5038
54	山之尻	小川 竜也	山之尻コミセン	山之尻 907-1	83-6177
55	柴怒田	瀬戸 正美	柴怒田コミセン	柴怒田 118-5	89-0343
56	上小林	高村 英幸	上小林公民館	上小林 897-3	89-0045
57	水土野	杉山 一好	水土野区公民館	水土野 145	なし
58	古沢	芹澤 良信	古沢区公民館	古沢 200	83-6148

3 教育施設位置図

教育施設位置図



4 防災計画

御殿場市地域防災計画は、災害対策基本法第 42 条の規定に基づき、市における災害対策全般に関し、市の処理すべき事務を中心として防災関係機関を含めた総合的な防災計画です。この計画では、市民の生命財産を災害から保護するとともに、積極的に災害の拡大防止と被害の軽減に努め、防災の万全を期することを目的としています。

